

マスノハ、諸君モ既ニ御承知ノ通り矢張裏日本海沿岸ノ中部ニ位シマシテ恰モ浦潮港トハ直面シテ居ルノデアリマス、往年ヨリ既ニ露領沿岸一帯ノ漁業ニ從事致シマスル漁夫ハ、此伏木港ヨリ其大半ノ出入ガアルノデアリマス、又日露ノ通商貿易ニ致シマシテモ、既ニ先年來相當ニ發展シツ、アルノデアリマス、殊ニ近來富山縣ニ於キマシテハ、此特有トモ申スベキ、最モ低價ニシテ且ツ豊富ナル水力ヲ利用致シマス所ノ諸種ノ工業ガ起リマシタ、其工業ノ材料ハ露西亞ニ仰グ所ノモノガ多クアルノデアリマス、例ヘバ製紙業ノ如キ、魚肥製造業ノ如キモノデアリマス、斯ノ如ク既ニ交通ノ上ニ於キマシテモ、又通商貿易ノ上カラ鑑ミマシテモ、此伏木港ニ於テモ今日日露通商ノ恢復致シマシタ此好機會ニ於テ、露國ノ領事館ヲ設置セラレマスル政府ノ交渉ノ場合ニ、此港モ亦其一ヲ加ヘラル、ヤウニ相當ノ交渉ヲ願ヒタイト云フノガ本案ノ趣旨デアリマス、ドウカ願クハ適當ノ御審議ヲ願ヒタイノデアリマス

次テ本案ハ山本厚三君外六名提出小樽港ニ露國領事館設置ニ關スル建議案(六三)外三件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十四日報告書ヲ議長ニ提出セリ

即日議事日程ニ追加シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一一四)參看)採用ノ結果委員長ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

- 一一三 廣尾港修築速成ニ關スル建議案
- 十勝國廣尾港ヲ速ニ修築セラレムコトヲ望ム

右建議ス

- 一二四 無線電信ノ裝置ニ關スル建議案

根室國花咲郡水晶、勇留、志勃、多樂及千島國擇捉、國後、色丹ノ各島ニ無線電信ノ裝置ヲ速ニ設備完成セラレムコトヲ望ム

右建議ス

- 一二五 根室港修築工事ニ關スル建議案

根室港修築工事第二期ノ設計ヲ定メ速ニ之ヲ完成セラレムコトヲ望ム

右建議ス

- 一二六 釧路港海陸連絡ニ關スル建議案

釧路港海陸ノ連絡設備ヲ速ニ完成セラレムコトヲ望ム

右建議ス

一二七 根北鐵道速成ニ關スル建議案

根室線厚床驛ヨリ標津ヲ經北見國斜里ニ至ル鐵道ヲ速成セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右五案ハ孰レモ十四年二月二十一日第一乃至第三案ハ小池仁郎君外一名、第四及第五案ハ小池仁郎君外六名之ヲ提出ス三月二十日之ヲ一括シテ院議ニ付シ提出者(小池仁郎君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

日程第三十一乃至三十五ハ東北海道ニ關スル建議案デアリマス、今日ノ日程全部八十二ノ中北海道ニ關スルモノガ十四件アリマス、北海道ノ建議案ガ多イト云フコトデ同僚諸君カラ屢御小言ヲ頂戴致シテ居リマスガ、北海道ノ面積ハ六千五百五十餘方里、之ヲ四國九州臺灣ヲ合シタモノヨリモ尙ホ百五十餘方里廣イト云フコトヲ御考ヘ下サルベシ、又一面ニハ九州四國ハ數千年ノ歴史ヲ有ツテ居リマスガ、北海道ハ拓殖ニ手ヲ染メマシテカラ一少部分ヲ除クノ外ハ、僅ニ六十年ニマダ滿タナイノデアリマス、隨テ開拓ニ要スル所ノ費用モ多大デアルト云フコトヲ御諒察ヲ願ヒタイノデアリマス、臺灣ハ明治二十八年領有以來既ニ數億圓ノ國費ヲ費シマシテ、今ヤ殆ド開發ノ案ガ成ツタノデアリマスガ、之ニ比較スルト北海道ニ國帑ノ費サレタル額ハ極メテ少額デアアル、隨テ爲スベキ澤山ノ事業ガマダ殘ツテ居ルト云フコトモ、亦御考ヲ願ハナケレバナラヌ、只今日程ニ上リマシタルモノハ東北海道約三千餘方里、九州一圓ヨリハ尙ホ三百餘方里ノ廣キ面積ヲ有シテ居リマスル地方ニ關スル問題デアリマス、港灣ニ關スルモノ三、通信機關ニ關スルモノガ一ツ、鐵道ニ關スルコトガ一ツ、斯様ナルコトデアリマス、詳シイ事ハ此建議案ノ理由書

ヲ御覽下サレバ御諒解ヲ得ルト存ジマス、先ヅ廣尾港ト申シマスルノハ襟裳岬ノ左側ニ在ル所ノ港灣デアリマシテ、是ハ太平洋ニ面シテ居リマス、而シテ其前面ニ在ル所ノ大海田ヲ開發シ、必要ナル漁港トシテ修築ヲ願ヒタイト云フ希望デアリマス、無線電信ハ主ニ千島ニ關スル事柄デアリマス、千島ハ僅ニ水底電信一本ニ依テ繋ツテ居ルノデアリマス、是ガ冬期間ノ暴風雨ノ風浪ノ爲ニ、若クハ故障ノ爲ニ、始終通信ノ機關ニ故障ヲ生ジマスカラ、其故障ヲ補ヒタイト云フ意味カラ無線電信ノ裝置ヲ欲スルト云フ建議案デアリマス、根室港ノ修築工事、是亦第一期工事ハ濟ミマシタガ、尙ホ第二期工事ヲ行フニアラザレバ、第一期工事ノ實ヲ舉ゲルコト能ハザル所以ニシテ、地方開發ノ爲ニ此港灣ノ修築ノ必要ヲ認メテ居ルノデアリマス、釧路港ノ海陸連絡、釧路港ハ此東北海道三千餘方里ノ物資集散ノ中心地トシテ、此處ニ各方面ニ鐵道ガ集中致シマス、隨テ海陸連絡ノ設備ト云フコトハ其必要ヲ感ジテ居ル次第デアリマス、鐵道省ハ今ヨリ六七年前ニ於キマシテ既ニ約六百餘萬圓ノ工費ヲ投ジ、三年繼續ノ事業ヲ以テ計畫セラレタルコトガアルノデアリマスガ、釧路港灣修築ノ其設計變更ニ伴ウテ、一時之ヲ中止セラレタルコトニナツテ居リマス、今ヤ此港灣修築モ追ヒテ竣工ヲ告グルノ場合ニナツテ居リマスカラ、茲ニ海陸連絡ノ設備ガ一層其必要ヲ感ジテ來タ次第デアリマス、仍テ此海陸連絡ニ關スル建議案ヲ提出致シタ次第デアリマス、次ハ根北鐵道速成ニ關スルコトデアリマス、是ハ既ニ鐵道敷設法ニ制定セラレマシタル法律ノ一ツデアリマシテ、根室原野二十萬町歩ノ開拓ハ此鐵道ノ敷設如何ニ依テ問題ヲ解決スル譯デアリマス、此拓殖ノ機運ヲ促成スル爲ニハ矢張開發ノ先驅トシテ、此鐵道ノ敷設ヲ要望致シテ、本建議案ヲ提出シタ次第デアリマス、何卒滿場諸君ノ御同情ヲ以テマシテ速ニ御決定アラシコトヲ希望シマス

次テ五案ヲ一括シテ議長指名(九名)ノ委員ニ付託スルニ決シ即日議長之ヲ指名ス委員ハ三月二十日委員會ヲ開キ委員長及理事ノ互選ヲ行ヒ審査ノ末各原案ヲ可決スヘキモノト決シ孰レモ即日翌二十三日報告書ヲ議長ニ提出セリ

議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一四)參看)採用ノ結果委員長ノ報告略ヲ省シテ各原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

一二八 園籐鐵道速成ニ關スル建議案

京都府園部ヨリ兵庫縣福住ヲ經テ篠山ニ至ル鐵道ハ第四十四回帝國議會ニ於テ政府ヨリ提出通過セル鐵道敷設法別表中ノ重要線路ニシテ昨秋全通セル播丹鐵道ヲ介由シテ京都姫路間ヲ直繋シ東海山陽ノ幹線ニ對シ軍備交通ノ安全辦タル緩急線路タリ仍テ率先之カ建設ニ著手セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十四年二月二十一日齋藤隆夫君外三名之ヲ提出ス三月二十日本案ヲ院議ニ付シ提出者不在ナルニ付其ノ趣旨辯明ヲ省略シ清水留三郎君外四名提出大間々長野原間鐵道建設ニ關スル建議案(一八)外二十一件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十三日報告書ヲ議長ニ提出セリ

即日議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一四)參看)採用ノ結果委員長ノ

報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出ヤリ

一二九 高田市ニ高等農林學校設置ニ關スル建議案

國富ノ増進ヲ圖リ民力ノ涵養ヲ策セムトセハ之ヲ農林業ノ發達ニ俟ツコト甚タ大ナリ而シテ農林業ノ發達ハ最新ノ學術技藝ニ負フ所多キコト言ヲ要セス北陸ノ地面積廣汎ニシテ地味亦頗ル豐饒興農植林ノ業ニ適ス若最新學術技藝ノ應用ニ於テ缺クル所ナキヲ得ムカ生産ヲ増加シテ國益ニ資スルコト大ナルヤ疑ヒヲ容レサルナリ不幸北陸四縣(新潟石川福井富山)ニ互リテ未タ之カ専門的學校ノ設立ヲ見ス之レ吾人ノ夙ニ甚タ遺憾トスル所ニシテ地方識者ノ間ニ高等農林學校設立ノ急務ヲ説ク者アル所以ナリ由來高田市ハ之ヲ歴史ニ徵シ周圍ノ狀況ニ鑑ミ教育地トシテ最適當ナルコト衆目ノ一致スル所ナリ輒チ此ノ地ニ高等農林學校ヲ設立シテ以テ直接ニハ農村ノ振興及地方ノ發展ニ資シ更ニ進ムテハ國力ノ増進ニ資スル所アラムトス依テ政府ハ速ニ高等農林學校ヲ高田市ニ設立セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十四年二月二十一日富永孝太郎君外一名之ヲ提出ス三月二十日本案ヲ院議ニ付シ提出者(富

永孝太郎君ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

只今上程ニナリマシタ高田市ニ高等農林學校設置ニ關スル建議案ニ付キ、極メテ簡單ニ提出ノ理由ヲ説明致シマス、凡ソ國家富力ノ増進ト、民力ノ涵養ヲ圖リマスニハ、農業ノ發達ニ俟ツコト甚ダ大ナルモノト信ジタ次第デアリマス、而シテ農林業ノ發達ヲ致シマスルニハ、最新ノ學術技藝ニ負フ所大ナルハ多言ヲ要セザルコト、信ジマス、吾々ハ農業教育機關ノ不足ヲ感ジテ居リマシテ、此際増設ヲ希望スル次第デアリマス、多數ノ學生ハ中等學校ヲ卒ヘ、尙ホ進ンデ高等ノ學科ヲ修メント希望スル者ガ多クアルノデゴザイマスケレドモ、收容スル學校ノ少キ爲ニ入學難ヲ懇フルノデアリマス、サウシテ入學ガ出來ナイガ爲ニ一身上ノ頓挫ヲ來シ、將來ノ方針ヲ誤ル者ガ往々アルノデアリマシテ、遺憾ト存ズル次第デアリマス、不幸ニシテ北陸四縣ヲ通ジテ未ダ高等農林學校ノ設置シアラザルハ、吾々ガ甚ダ遺憾トシテ居ルノデゴザイマス、北陸ノ地面積ト云ヒ、人口ト云ヒ、又中等學校ノ卒業生ノ數ト云ヒ、各方面ヨリ達觀致シマシテ、教育政策ト致シマシテモ至當ナル所ト信ズルノデアリマス、殊ニ高田市ハ教育上最モ適當ノ地ト考ヘルノデアリマス、今ヤ農村振興ガ絶叫セラル、ノ秋デアリマシテ、本問題ノ如キ農村問題ノ中心ニ觸レマスル所ノ農業教育ノ根本ニ關スル問題デアリマス、四圍ノ事情カラ考ヘマシテ、教育機關ノ完備ノ緊要ナルコトヲ認メタノデ、本案ヲ建議致シタ次第デアリマス、願クハ滿堂諸君ノ御同情ヲ得マシテ、尙ホ政府ニ於テモ此設立ニ努メラレンコトヲ希望スルノデアリマス、詳細ノ事ハ委員會ニ於テ述ベマスルガ、ドウゾ滿場諸君ノ御同情ヲ希望致ス次第デアリマス

次テ本案ハ佐々木春作君外三名提出高等師範學校設置ニ關スル建議案(八〇)外二件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十二日報告書ヲ議長ニ提出セリ

三月二十三日議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一四)參看)採用ノ結果委員長ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

一三〇 若松市ニ高等師範學校設置ニ關スル建議案

福島縣若松市ニ高等師範學校ヲ設置シ優良ナル中等學校教員ヲ養成セラレムコトヲ望ム
右建議ス

右ハ十四年二月二十一日町野武馬君外二名之ヲ提出ス三月二十日本案ヲ院議ニ付シ提出者(町野武馬君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

會津ノ若松市ハ交通ノ便利カラ申シマシテモ、又人情、風俗カラ考ヘマシテモ、歴史的ノ關係カラ思量致シマシテモ、此處ニ高等師範學校ヲ設置スルコトガ出來マスナラバ、教育上ニ貢獻スル所蓋シ至大ナルモノガアラウト考ヘルノデアリマス、願クハ御贊同アラント願ヒマス

次テ本案ハ佐々木春作君外三名提出高等師範學校設置ニ關スル建議案(八〇)外三件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十二日報告書ヲ議長ニ提出セリ

三月二十三日議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一四)參看)採用ノ結果
委員長ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

一三一 留萌羽幌間鐵道速成ニ關スル建議案

政府ハ天鹽國留萌ヨリ羽幌ニ至ル鐵道ヲ速成シ同地方開發速進ニ資セラレムコトヲ望ム
右建議ス

一三二 興部濱頓別間鐵道速成ニ關スル建議案

政府ハ北見國興部ヨリ幌別、枝幸ヲ經テ濱頓別ニ至ル鐵道ヲ速成シ同地方開發速進ニ資セラレ
ムコトヲ望ム
右建議ス

一三三 小頓別枝幸港間鐵道速成ニ關スル建議案

政府ハ北見國小頓別ヨリ枝幸港ニ至ル鐵道ヲ速成シ同地方開發速進ニ資セラレムコトヲ望ム
右建議ス

右三案ハ孰レモ十四年二月二十一日第一案ハ淺川浩君外六名第二及第三案ハ淺川浩君外七名之ヲ
提出ス三月二十日之ヲ一括シテ院議ニ付シ提出者(淺川浩君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

日程第三十九ハ留萌羽幌間鐵道速成ニ關スル建議デアリマス、同線路ハ大正十年ノ起工ニ係リ
マシテ、既ニ途中ノ鬼鹿村迄土工ノ竣工ヲ見ントスルノデアリマス、十二年度ノ大震災ノ爲ニ大
正十七年迄ニ竣工期間ヲ一箇年ヲ繰延ラレ、更ニ此度ノ改訂ニ依リマシテ、二十三年度迄延期セ
ラレルト云フコトニナリマシテ、同沿線ノ二箇町、四箇村ニ互ル者ハ、此竣工年度ノ延長ニ依リ
マシテ頗ル憂慮致シマシテ、本年ノ議會ニ請願陳情ヲ致シテ居リマス、此線路ハ西ハ日本海ニ面
シ、其背面ハ山脈ヲ以テ環リ、海岸僅ニ一線ノ道路ヲ交通ヲ爲シツ、アルノデアリマスガ、同海
面ニハ常ニ風浪高ク、冬ノ間ハ航海頗ル困難デアリマス、只今申上ゲタヤウナ海面ニ於テ六箇町
村ニ互リ、背面ニ於キマシテハ開拓モ進捗シ、此沿岸ニ搬出シテ參リマス所ノ農産物ガ尠カラヌ
モノデアリ、而シテ此鐵道ニ依リ農産物ノ輸送又森林ノ林産物等、ソレ等ヲ搬出スル爲ニ此竣工
期間ノ繰延ハ頗ル打撃ヲ蒙ルノデアリマス、故ニ本案ヲ提出致シマシテ次第デアリマスガ、更ニ
年度ノ改訂ヲセラル、場合ニ於テ速成ヲ要望スル所以デアリマス、其次ハ興部濱頓別間鐵道速
成ニ關スル建議デアリマス、興部ハ北見ノ西北ニ位シ、既成名寄線ガ海岸ヨリ此興部ニテ内部ニ
入りマシテ、サウシテ宗谷線ニ出デ、宗谷線ヲ西北ニ向ッテ濱頓別ニ至ッテ、再ビ海岸ニ出ルノデ、
弓形狀ニナッテ居ル、其弓形狀ノ鐵道ニ對シテ弦形ニ鐵道ヲ建設スルノデアリマス、是ハ大正十年
ノ鐵道敷設法ニ依リマシテ、鐵道網ニ載セラレテ居ル線デアリマスケレドモ、現在ニ於キマシテ
未ダ此著手年度ガ定メラレテ居リマセヌ、此線路ノ沿線ニハ數萬町歩ノ肥沃ナル土地ヲ有シテ
居リマスガ、交通不便ナル爲ニ此開發ガ遅々トシテ居ル所以デアリマス、特ニ此線路ハ成ベク早
ク敷設セラレンコトヲ建議致シテ次第デアリマス、次ニ第四十一、小頓別枝幸港間ノ鐵道ハ、前
記ノ海岸線ト既成宗谷線トノ間ニ弓ノ矢形ニ入ル線路デアリマス、是モ鐵道網ニ載セラレテ居

ル線デアリマスルガ、枝幸港ハ御承知ノ通り冬季ニ於テ流水ノ爲ニ船航杜絶ノ虞ガアリマスルガ故ニ、既成鐵道線ニ對シ一番近キ所ノ小頓別驛ヨリ枝幸港ニ向ッテ敷設セラレンコトヲ要望致ス次第デアリマス、此沿線ニモ三大原野ヲ控ヘ、將來五千人ノ移民ヲ入ル、ニ足ル肥沃ナル土地デアリマス、三案共通シマシテ北海道ノ開拓速進ノ爲ニ政府ニ要望致ス次第デアリマス、何卒滿場諸君ノ御同情ヲ以テ可決、此旨政府ニ致サレンコトヲ願フ次第デアリマス

次テ三案ヲ一括シテ清水留三郎君外四名提出大間々長野原間鐵道建設ニ關スル建議案(一八)外十二件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末各原案ヲ可決スヘキモノト決シ孰レモ三月二十三日報告書ヲ議長ニ提出セリ

即日議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一四)參看)採用ノ結果委員長ノ報告ヲ省略シテ各原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

一三四 國民教育ノ根本的革新ニ關スル建議案

政府ハ内外ノ情勢ニ鑑ミ國民教育ノ昂上進展ヲ計ルト共ニ其ノ教育カ徒ニ畫一ニ失シ形式ニ流ルルノ弊習ヲ釐革シ國民生活ノ實際ニ適切ナル教養ヲ深クスルト同時ニ國體觀念ノ涵培ト立憲自治ニ關スル修練ニ一層ノ力ヲ致シ道義ヲ尊ヒ品性ヲ高ウシ義務ヲ重ムシ勤勞ヲ愛スルノ風尙ヲ養ヒ以テ國運ノ隆昌ニ寄與シ社會ノ康寧ニ貢獻スヘキ健全有爲ナル國民ヲ養成スルニ遺憾ナ

キヲ期スヘシ

右建議ス

右八十四年二月二十一日岡崎邦輔君外二十五名之ヲ提出ス三月十九日本案ヲ院議ニ付シ提出者(山本悌二郎君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

國民教育ノ根本的革新ニ關スル建議案ノ趣旨ヲ說明致シマス、此案ハ御承知ノ如ク、衆議院ノ大多數ヨリ提出セラレタル所ノ、國家將來ノ國運ニ關スル所ノ重大ナル案トシテ、最モ議會並ニ政府ノ考慮ヲ煩ハサナケレバナラヌ案デアリマス、國民教育ノ根本ニ關スル改革、即チ普通、中等並ニ高等一般ノ教育ニ關スル内容ノ改善ヲ希望スルノデアリマス、故ニ高等專門教育ノ範圍ニハ及バナイト云フコトヲ豫メ申シテ置クノデアリマス、然ラバ高等專門教育ニ於テハ、今日改良スベキ餘地ナキヤト云ヘバ、決シテ左様ニハ信ジテ居ラヌノデアリマス、サリナガラ一般ノ國民教育ハ、國家將來ノ國庫ニ極メテ大ナル影響ヲ持ツモノデアリマス、先以テ此最モ重要ナル國民教育ニ向ッテ一大改革ヲ加ヘント欲スルノガ、即チ本案ノ趣旨デアアルノデアリマス、回顧致シマスレバ明治五年、學制加布サレテヨリ今日ニ至ルマデ五十有餘年、我國ノ學制ハ燦然トシテ列國ノ間ニ其光ヲ放ツタノデアリマス、此教育ノ結果トシテ、我國ノ今日國運ノ隆昌ヲ致シタト申シテモ、決シテ過言ニハアラザルベシト私ハ信ズルノデアリマス、サリナガラ時移リ星變ッテ、世態人心ノ變移シタル今日ニ於テハ、此學制ヲ詳カニ見マスルト、大ナル缺陷ヲ發見セザルヲ得ナイノデアリマス、固ヨリ學校ノ數、學校ノ種類ノ如キ、形ノ上ニ現ハレタル所ノ缺陷モ亦大ナルモノガアルコトヲ信ジマスケレドモ、是ヨリ更ニ大ナル缺陷ヲ感ズルノハ、即チ此一般ノ國民教育ノ内容ニ關シテアルノデアリマス、國民教育ノ目的ハ何レニ在リヤト云ヘバ、言フ

迄モナク之ヲ内ニシテハ道義ヲ尙ビ、義務ヲ重ンジ、産業ヲ解シ、勤勞ヲ愛スルノ風潮ヲ涵養シテ、人格アリ、常識アリ、穩健ニシテ勤勉ナルト同時ニ、進取向上ノ氣性ニ富メル有爲ナル國民ヲ養成スルニ在ルコトハ申ス迄モアリマセヌ、是ト同時ニ之ヲ外ニシテハ社會公共ニ對スル明瞭ナル理解ト知識ヲ與ヘテ、共存共榮ノ途ニ於テ、遺憾ナキヲ期スベキコトハ勿論、殊ニ我國ニ在ッテハ國體ト皇室ニ關スル固キ信念ト、深キ感激ヲ養成扶植シテ、以テ國礎ヲ磐石ノ安キニ置クト云フコトハ、國民教育ニ一日モ忽セニスベカラザル事デアリマス、然ルニ從來及現在ノ教育ハ果シテ此目的ヲ達シテ居ルノデアリマセウカ、試ニ小學、中學ヲ卒業シタル所ノ此學生ハ、如何ナル智能ヲ有シ、如何ナル精神修養ヲ以テ學校ヲ出ラレカト云フコトヲ觀察致シマスレバ、我國ノ此教育ノ現狀ニ對シテハ、洵ニ寒心ニ堪ヘザルモノガアルノデアリマス、現今小學校ヲ卒業シタル所ノ子弟兒童ガ果シテ如何ナル智育、德育ヲ受ケテ學校ヲ出ルデアリマセウカ、成程學科ハ多岐多樣デアアル、地理、歴史、國語、算術、手工、繪畫ト云フガ如ク、極メテ學科ノ數ニ於テハ、整備致シテ居リマスルガ、儲テ之ヲ卒業シタル小學生徒ナルモノハ、社會ニ出テ果シテ如何ナル程度ノ知識、德義ノ教養ヲ受ケテ居リマセウカ、小學ヲ卒業シタル所ノ生徒ハ、新聞ノ論說ヲ既ニ十分ニ咀嚼シ得ル所ノ力ガアリマスルカ、多クハ假名附ノ三面記事ハ、諒解致シマスルケレドモ、新聞紙ノ論說ヲ十分ニ消化スルダケノ力ヲ持ッテ居リマセヌ、更ニ又日常ノ生活ニ必要ナル所ノ文書ノ往復スラモ、少シ込入ッテ事項ニ相成レバ之ヲ能クセズト云フノガ、即チ今日ノ實狀デアリマセヌカ、算術ハ小學校ニ於テ鉛筆ヲ以テ横筋ヲ書ク算術ハ習ヒ得テ居リマスルケレドモ、家庭ニ歸ッテ家庭ニ必要ナル所ノ日々ノ計算ヲ遺憾ナク爲シ得ルヤト云ヘバ、諸君ノ御承知ノ通り決シテ左様ニハ參ラナイノデアアル、更ニ又道義ノ觀念、國家公共ニ對スル所ノ觀念ニ至ッテハ、果シテ十分ナル注入ヲ此兒童ノ頭腦ニ爲サレテ居ルカト云フコトハ、甚ダ覺束ナイ次第デアリマス、憲法ニ關スルコトハ無論ノコト、町村自治ニ關スル知識スラモ朦朧トシテ捕捉スベキ所ガナイノデアアル、國家皇室ニ對スル所ノ觀念ノ如キモ、或ハ極メテ稀薄ノモノデアナイカト云フコトヲ懼ル、ノデアリマス、之ヲ以テ果シテ健全有爲ノ國民ヲ養成スル目的ハ達セラレタト云フコトガ

出來ルデアリマセウカ、更ニ中學教育ニ至ッテハ、殊ニ甚シイモノガアルノデアアル、中學ヲ卒業シタル所ノ學生ノ成績ヲ見マスレバ、例ヘバ西洋歴史ノコトハ頗ル詳シイガ、自國ノ國家ノ既往ヲ語ル所ノ歴史ニ至ッテハ、却テ西洋歴史ヲ知ルノ知識ヨリモ尙薄イト云フノガ是ガ事實デアリマス、幾何、代數、三角術ノ如キ數學ハ學校ニ於テ習ヒ得テ居リマスルケレドモ、家庭ニ於テノ必要ナル貸借關係、商賣關係ノ計算ハ碌ニ出來ナイト云フノガ是亦今日ノ事實デアアル、更ニ外國語ニ至ッテハ如何デアアル、五箇年ノ間中學ニ於テ精力ヲ費スル所ノ此外國語ハ、中學卒業後ニ於テハ果シテ如何ナル用ヲ爲シテ居ルカ、殆ド外國ノ新聞紙ヲ讀ム所ノ能力ガ無論アリマセヌ、外國語ノ手紙ヲ書ク力モ亦持ッテ居ラナイノデアアル、而モ卒業後數年ヲ過グレバ、此薄弱ナル所ノ外國語ノ知識モ遂ニ何レニカ忘レ去ッテシマッテ、五箇年ノ精力ヲ費シタル所ハ、遂ニ何等益スル所ナクシテ濟ンデシマッテ居ルト云フノガ、今日ノ事實デアリマセヌカ、殊ニ國家公共ニ對シ國體皇室ニ對スル所ノ知識乃至觀念ニ至ッテハ、是亦小學卒業ノ生徒ト同ジク、否、多少文字ノ多ク讀メルダケ、尙ホヨリ多クノ點ニ於テ此點ニハ頗ル疑フベキ程度ニ在ルト私ハ信スルノデアリマス、斯様ニシテ卒業シタル所ノ中學生ハ、其家庭ニ歸ッテ何ノ用ヲ爲スコトモ、碌ニ出來ナイ、公共生活ニ於テモ亦相當ノ役目ヲ盡スダケノ智能ヲ持ッテ居ラナイ、サウシテ一方ニ於テハ多年ノ間學窓ニ慣レタ結果トシテ、家庭ニ歸ッテ其父兄ヲ助ケテ、共ニ勞役ニ服スル美風ハ全然地ヲ拂ッテ居ルノデアリマス、斯様ニシテ作リ上ゲタル所ノ多數ノ青年ハ、憐ムベシ、一種ノ社會的「ヒステリ」患者ト首尾好ク成リ了セテシマフノデアアル、斯様ナ教育ノ下ニ如何ニシテ堅實有爲ナル所ノ國民ヲ養成スルコトガ出來マセウカ、是等ハ要スルニ我ガ教育ノ内容ニ大ナル缺陷ガアルト云フコトヲ事實ノ上ニ於テ證據立テ、居ルモノデアリマスマイカ、即チ此内容ノ缺陷ニ向ッテ吾々ハ一大斧鉞ヲ加ヘ、一大改革ヲ行ハント欲スル者デアアルノデアリマス、如何ナル方面ニ向ッテ斧鉞ヲ加フベキヤ、改革ヲ企ツベキヤト云ヘバ、先以テ劃一主義ヲ打破致サナケレバナラヌ、從來ノ教育制度ニ於テハ、其形ノ上ニ於テモ、又其内部ノ實質ニ於テモ、此劃一主義ニ捉ハレテ居ルト云フコトガ事實デアリマス、形ノ上ニ於テハ學校ノ建築ハ斯ノ如クナクテハナラヌ、

學生ノ被服ハ斯ノ如クナクテハナラヌト云フガ如キ、些々タル事マデモ劃一主義ヲ執ッテ居ル、其他更ニ其實質ニ至ッテハ都會ト地方トノ區別モナク、農村ト商業地トノ區別モナク、周圍ノ環境ニ應ズルコトヲセズシテ、一ツノ型ニ鑄込ダ所ノ教育方法ヲ以テ、有ユル境遇ヲ異ニスル所ノ子弟ヲ養ハントシテ居ルノガ、即チ今日ノ劃一主義デアリマス、此劃一主義ヲ打破シテ、周圍ノ環境ト其境遇ノ必要ニ應ジテ、ソレゾレ適切ナル所ノ教育ヲ施スト云フコトデナケレバ、到底此教育ノ目的ヲ十分ニ達スルコトハ出來ナイト信ズルデアリマス、此劃一主義ニ伴ウテ、今日ノ教育ノ弊ハ其學科、其授クル所ガ極メテ多岐多端ニ涉ルト同時ニ、極メテ形式ニノミ流レテ居ルト云フ此點デアリマス、申スマデモナク、一般國民教育ノ要諦ハ、國民ニ必要ナル所ノ普通ノ智能ヲ授クルト云フコトガ其本義デナクテハナラヌ、然ルニ有ユル學科ヲ竝立テ、之ヲ詰込主義ニ無理ニ兒童ノ頭ニ注入スルト云フ形ニナッテ居ルデアリマス、ソレ故ニ實生活トカ實社會ニ從事スル場合ニ於テ、何ノ用ヲモ爲サズル所ノ學科マデモ覺エナケレバナラヌト云フコトニナル、其半面ニ於テハ却テ社會生活上ニ必要ナル所ノ知識ハ之ヲ深ク得ルコトガ出來ナイト云フコトニ陥ッテ居ルデアリマス、現在ノ此弊ガ極端ニナッタ結果トシテ、恰モ實際ノ上ニ於テハ小學校ハ中學校ノ豫備校デアリ、更ニ中學校ハ高等學校若クハ其他ノ高等專門學校等ニ入ル所ノ豫備校デアルガ如キ形ヲ成シテ居ルデアアル、一般國民教育ノ目的ハ固ヨリ此所ニハ無イデアアル、而シテ今日此中學ヲ卒業スル所ノ子弟ノ七割ハ其家庭ニ歸ルデアアル、僅ニ其三割ガ以上ノ高等ノ學校ハ入學スルデアアル、此家庭ニ歸ッテソレ以上ノ高等ノ學校ヲ修メナイ所ノ多數ノ子弟ハ、僅ニ三割ノ其先ニ行ク所ノ子弟ノ爲ニ犧牲ニ供セラレテ居ルデアアル、ナイカト云フ非難ハ、免レナイデアリマス、更ニ立憲自治ノ修練ト云フガ如キハ、小學ハ勿論ノ事デアリマスルケレドモ、中學ニ於テモ亦深ク之ニ意ヲ拂ッテ居ナイ、況ヤ其他ノ公共生活社會ニ立ッテ、共存共榮ノ途ヲ行クニ必要ナル所ノ基礎的的智能ト云フモノハ、此中學、小學ノ教育ニ於テハ殆ド得ルコトガ出來ナイ状態ニ今日在ルデアリマス、殊ニ産業ニ對スル所ノ理解ト云フ如キ問題ニ至ッテハ、小學、中學共ニ之ニ關シテハ殆ド無關心ノ状態デアルト申シテモ差支ナ

イト思フノデアアル、カルガ故ニ農村ノ子弟ハ徒ニ都會ノ生活ニ憧憬レテ、其農村ヲ捨テ、續々トシテ都會ニ集中スルト云フ方ハ今日著シク現ハレツ、アルノハ、即チ是ガ爲デアリマセヌカ、是等ノ各種ノ點ニ向ッテ徹底的ノ改良ヲ加ヘルト云フコトガ、即チ今日ノ急務デアリマス、歐羅巴ノ諸國及亞米利加ニ於テハ、此大戦後ニ其國力ヲ恢復シ、其國富ヲ増進スルガ爲ニ種々ナル調査ヲシ、種々ナル苦心ヲ致シタ結果、遂ニ約マル所ハ國民教育ノ向上、國民ノ智能德義ノ向上ト云フコト以外ニハ、徹底シタル方法ハ無イト云フコトニ歸著シテ居ルデアリマセヌカ、是ガ爲ニ各國競ウテ、國民教育ノ改善向上ト云フコトニ向ッテ全力ヲ捧ゲテ努力シツ、アルト云フ此曉ニ於テ、我國獨リ五十年來ノ鑄型ニ囚ハレテ、此點ニ向ッテ寸毫ノ進歩改良ヲ爲スコトヲ得ズトアッタナラバ、我國ノ將來ハ即チ此列國ニ較ベテ、遂ニ落伍ノ状態ニ陥ラナケレバナラヌト私ハ信ズルデアリマス、是等ノ目的ヲ達スルガ爲ニ、是等ノ改革ヲ施スガ爲ニハ、或ハ義務教育ノ年限延長ト云フガ如キコトハ、必要トナッテ現ハレルダラウト思ヒマス、併ナガラ私ハ必シモ義務教育ノ年限延長ノミヲ以テ此目的ヲ達シ得ベシトハ斷ジテ信ジナイデアアル、先以テ此私ノ數ヘ舉ゲタル所ノ各種ノ點ニ向ッテ一大改革ヲ加ヘ、而シテ其結果トシテ尙ホ教育ノ年限ヲ延長セズンバ、此目的ヲ十分ニ貫徹スルコトガ出來ナイトアッタナラバ、茲ニ始メテ義務教育ノ延長ヲ爲スベシト信ズル者デアアル、同時ニ此教育ノ内容ヲ改善スルニ付テハ、先以テ之ニ適當ナル所ノ教師ヲ作ラナケレバナラヌ、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ師範教育ノ改善ト云フコトヲ行ハナケレバナラヌデアアル、現内閣ハ既ニ師範教育ニ向ッテ相當ノ施設ヲ爲サントシツ、アリマス、サリナガラソレハ單ニ量ノ問題デアッテ、質ノ問題デハナイデアアル、吾々ハ更ニ進ンデ此師範教育ノ質ヨリシテ之ヲ改善シテ、而シテ此目的ヲ達セント欲スル者デアアル、是ト同時ニ現在ノ教員、之ヲ如何ニスベキカ、現在ノ教員ハ現在ノ教育ニ當嵌ル如クニ養成サレテ居ル所ノモノデアアル、此一般國民教育ノ内容ニ向ッテ大ナル改革ヲ施スト云フ以上ハ、現在就職シツ、在ル所ノ教員ニ向ッテモ亦此改メラレタル教育ニ、適合スル所ノ素養ヲ與ヘナケレバナラヌデアリマス、是等ノ方法ニ依テ、此内容ノ改善ノ目的ヲ達シナケレバナラヌト信ズルデアリマス、今

日我國ハ幾多ノ解決スベキ重要問題ヲ前ニ控ヘテ居リマス、併ナガラ其各種ノ問題ヲ根本ニ
遡レバ、遂ニ國民ノ智能ノ向上、國民ノ道德、德義心ノ向上、國民ノ國家國體ニ關スル所ノ觀
念、是等ヲ基礎トシテ、是等ヲ基調トシテ、初テ有ユル重大ナル國家問題ハ解決シ得ラルベキモ
ノデアリマス、吾々ハ五十年間國民ヲ教育スル上ニ付テ、多大ノ效果ヲ認メナケレバナラヌト
同時ニ、將來ニ向ッテハ更ニ此内容ニ一大改革ヲ加ヘテ、我が國運ノ將來ヲ雙肩ニ荷フ所ノ有
爲堅實ナル國民ヲ作ルト云フコトガ、有ユル問題ニ先ッテ最モ重大ナル問題ナリト信ズルノデ
アル、此意味ニ於テ此建議案ヲ提出スル次第デアリマス、政府ハ速ニ此方針ニ向ッテ適當ナル案
ヲ樹テラレ、其實行ニ進マレンコトニ希望致シマス、是ト同時ニ國民ハ又此問題ヲ單リ政府ニ
ミ委セズ、國家ノ全力ヲ擧ゲテ、國民政府共ニ力ヲ合セテ此目的ノ最終ニ向ッテ進マナケレバ
ラヌト信ズルノデアリマス、願クハ諸君ノ本案ニ對スル一致ニシテ、熱誠ナル御協賛ヲ望ム次
第デアリマス

右ニ關シ長峰與一君ハ政府ニ菊池謙二郎君ハ提出者ニ對シ質疑ヲ爲シ岡田文部大臣及山本悌二郎
君之ニ應答ス

長峰與一君ノ質疑

過日ノ豫算總會ニ於キマシテ、有馬賴寧君ノ御質疑ノ一節ニ、有島武郎並ニ武者小路實篤ノ作品
文章ヲ教科書中ヨリ削除スベシトノ議ガ教育者間ニ起リ、而モ文部當局ハ此議ニ贊成セラレシ
ト云フコトデアルガ、吾々ハ有島ノ死ガ如何ヤウニアラウトモ、武者小路ノ行ガ如何ヤウニアラ
ウトモ、是ハ私行上ノ問題デアッテ、而シテ其藝術文章ニ何等關係ノナイコトデアルト云フ意味
ノ質問ガアツタノデアリマス、私ハ有馬君ハ現代ノ思潮ニ能ク御精通ニナリ、諒解サレル人トシ
テ世ノ尊敬ヲ受ケラレル人デアリマスガ、私共不幸ニシテ私共ガ抱持致シマスル所ノ思想ト非
常ニ距離ノアルコトヲ發見シテ、遺憾トスルノデアリマス、私共ハ假令其作品、文章ガ立派デア

リ又流麗ナル文章ヲ以テ潤色サレテ居リマシテモ、是ハ作品トシテ何等價值ノナイモノト考ヘ
ルノデアリマス、況ヤ之ヲ教養ニ資スルガ如キコトニ付テハ、尤モ慎重ニ考慮ヲ要スベキコトデ
アルト考ヘルノデアリマス、而シテ此コトハ既ニ故人デアリマスカラ申上ゲマセヌガ、其當時ニ
於テ其質問ノ趣旨ニ於テハ文部當局ハ明確ニハ御答辯ニハナッテ居ナイノデアリマス、此事ヲ私
ハ如何ニ御考ヘニナッテ居ルカ、此點ヲ承リタイノデアリマス、同時ニ武者小路實篤ト云フ人ハ
本員ノ郷里ニ新シキ村ト云フモノヲ作ッテ居ルノデアリマス、是ガ世間ノ注意ヲ惹イテ居リマス
ガ、決シテ是ハ村ト云フモノデモナケレバ、何デモナイノデアリマスケレドモ、其名稱ガ藝術的
デアリマスガ故ニ、世間ノ注意ヲ惹イテ居ルヤウナ次第デアリマス、故ニ此村ナルモノハ非常ナ
社會ノ誤解ヲ受ケテ居ルノデアリマス、即チ社會主義ノ共同生活所デアアル、或ハ又共產主義者ノ
共同生活所ト云フ風説モアルノデアリマス、又其夫妻ノ行動ニ至リマシテハ、實ニ吾々ノ考ヘテ
居リマス所ノ人倫ノ點カラ之ヲ解釋シテ、如何ニモ目ニ餘ルヤウナ行動ヲ執ッテ居ルノデアリマ
ス、故ニ私ノ地方デハ一日モ速ニ此武者小路夫妻ガ此日向ヨリ去リ、一日モ速ニ斯ノ如キ誤解ヲ
受クル部落ノ如キモノハ撤回ヲシナケレバナラヌト縣民ハ考ヘテ居ルノデアリマス、而シテ過
日ハソレニ慍ラズシテ、尙ホ彼等夫婦ハ芝居マデ致サント致シマシテサウシテ、宮崎ノ市民ハ
非常ニ之ヲ攻撃致シマシテ、世ノ風教ヲ害スルモノデアルト云フコトデアッテ、漸クニシテ知事
ノ強硬ナル態度ニ依テ其放埒ナルコトガ差止メラレタノデアリマス、即チ斯ノ如キ思想ヲ抱持
スル者、斯ノ如キ人ヲ捉ヘテ、サウシテ今日議席ヲ有セラル、御方ガ、斯ウ云フコトヲ以テ教科
書事件ニ敢テ差支ヘナイト云フヤウナ御議論ヲ爲サルト云フコトガ、私ハ現代ノ教育界ニ於テ
モ非常ナル重要ナル問題デアラウト考ヘルノデアリマス、此事ハ其當時文部當局ヨリ御確答ガ
ナカッタノデアリマスカラ、此機會ニ於テ御明答ヲ願フ次第デアリマス

岡田文部大臣ノ應答

只今ノ御尋ハ某某氏ノ作ッタ所ノ文章ヲ教科書ノ中ニ入レルノ可否ノ問題デアッタヤウデアリマ

ス、此事柄ニ付キマシテハ、某某氏ハ如何ナル人デアルカト云フコトモ能ク未ダ調査シテ居リマセヌ、又其文章ニ付テモ能ク承知シテ居リマセヌ、能ク取調べマシタナラバ又御答ヲ致ス機會モアラウト思ヒマス

菊池謙二郎君ノ質疑

私ハ國民教育ノ根本的革新ニ關スル建議案、此國民教育ト云フコトヲ私ハ國民ガ必ズ受クベキ教育、即チ小學校ノ教育ト解釋ラシタノデアリマス、ソレハ私ノ其解釋ハ今日普通一般ニ用キラレテアルヤウデアリマス同時ニ、此建議案ノ理由書ノ參考ト云フ所ノ第六ニモ、ドウモサウ云フ意味ガ書イテアルヤウデアアル、「前數項ノ趣旨ニ依リ學校ノ課程及教科書ニ一大刷新ヲ加フルト共ニ師範教育ヲ改善シ、且ツ現在教員ニ對シ適當ナル改善ノ施設ヲ爲スコト」之ヲ讀ムト國民教育ハ即チ小學校ノ教育デアルト云フ裏書ラシテ居ルノデアリマスガ、今山本君ノ御説ヲ承ルト云フト、所謂國民教育ト云フモノハ小學校モ中學校モ、隨テ高等女學校モ入ルヤウナ御説明デアアル、私ガ質疑ノ通告ラシマシタノハ、國民教育ト云フ文字ヲ主トシテ小學校ノ教育ト解釋シタカラ、質問ノ通告ラシタノデアリマス、何故私ガサウ云フ質問ラヌルカト云フノニ、今日我國ニ於テハ小學校ノ教育ハ比較的完全デアアル、中學校並ニソレ以上ノ學校ノ教育ニハ隨分弊害モアルケレドモ、小學校ノ教育ト云フモノハ比較的完全ニ近イト私ハ考ヘテ居ル、此建議案ニ依ルト立憲自治ノ精神ヲ深ク小學校ノ兒童ニ入レルト云フヤウナ風ニ取レル、ソレハ甚ダ無理ナコトデアアル、サウ云フコトハ教育ハシテ居ルケレドモ、併シ義務教育十二年ノ兒童ニ立憲自治ノ精神ヲ深ク吹込ムト云フコトガ出來ルカドウカ、今日自治體ノ議員ハ何ヲシテ居ルノデアリマスカ、立憲自治ノ精神ヲ以テ今日自治體ノ議員諸君ガ實際果シテ立憲政治ニ適ツタ行動ヲシテ居ルカドウカ、デアアルカラ小學校ノ兒童ニ之ヲ多ク望ムト云フコトハ無理ナコトデアアル、サウ云フ次第デ私ハ小學校ノ教育ヲ辯護スル爲ニ十分ノ質問ラシヤウト思ウタ、又劃一教育ト云フガ、小學校デ以テ劃一教育ヲシナイデ、學科ヲ種々雜多ニシタナラ、國民教育ヲ施スコトガ出來マスカ、

出來ハシナイ、國民トシテ必ズ受クベキ今日ノ小學校ノ規定ニアル九課目十課目ヲ今日ノ國民ガ受ケナイデ、如何ニシテ知識ヲ受ケルコトガ出來ルカ、小學校教育ト云フモノハ劃一教育デアルベキ筈ナノデアアル、ソレハ例ヘバ寒イ所ノ夏休トカ、暑イ所ノ冬休トカ、其時期ヲ違ヘセルト云フヤウナコトハアリマセウ、併ナガラ學科ノ上ニ於テ僅ニ八課目九課目ト云フヤウナ學科、是ハ國民ノ必習スベキ學科デアアル、北海道ノ果カラ琉球マデモ、皆此學科ハ習ハナケレバナラヌト私ハ考ヘル、斯ノ如クニシテ、果シテ提出者ハ劃一教育ヲ小學校ニ用キルコトヲ否ムヤ否ヤト云フ質問ニナル、是ガ全然小學校ノ問題デアラナラバ、何處マデモ私ハ十分ナル質問ラシヤウト思ウタ、併ナガラ提案者ハ中學校モ、高等女學校モ入ルト云フコトニナリマスカラ、ソコニハ私モ弊害ヲ認め、又質問ラヌルト云フト非常ニ多岐ニ互ルノデアアル、多岐ニ互ルカラシテ、ソレハ私ハ廢メマス、唯一ツ茲ニ此壇上ニ登ツタ序ニ提案者並ニ政府者ニ伺ツテ置キタイノハ、國體觀念ノ涵養ト云フコトデアアル、此國體ト云フ觀念ハ提案者ハ如何ナル考ヲ以テ國體ノ觀念トスルカ、治案維持法ノ提案サレタ時ニ内務大臣ハ、萬世一系ノ天皇ヲ戴クノガ即チ國體デアアル、斯ウ言ハレタ、ケレドモ教育勅語或ハ御即位式ノ詔書ニ、決シテ唯單ニ萬世一系ノ君主ヲ戴イタノガ國體ノ全部デナイト云フコトハ明デアアル、即チ簡單ニ言ヘバ義ハ即チ君臣、情ハ猶父子ノ如シ、之ヲ以テ萬國無比ノ國體ヲ成セリト仰セラレテ居ル、此國體ト云フコトガ、義ハ即チ君臣ト云フガ萬世一系ニ當ル、情ハ即チ父子ノ如シ、是ハ萬世一系ノ中ニハ入ッテ居ラナイ、義ト情トデアアル、不可分ナモノデアアル、是ハ君臣ト父子ト云フ不可分ノモノデアアルガ、今ノ内閣ノ大臣ハ之ヲ分ッテ單ニ義ハ即チ君臣、即チ萬世一系ヲ以テ國體トノミ考ヘテ居ル、併ナガラ是ハ不可分ノモノデアアル、法律的ノ國體トカ、倫理的ノ國體トカ云フベキモノガアルベキ筈ハナイ、提案者ハ如何ナルコトヲ以テ國體觀念ト認メルカ、私ハ諸君ノ所謂政治的國體、倫理的國體ト云フモノハアルベキモノデナイト思フ、是ハ不可分ノモノト私ハ考ヘル、可分ノモノト考ヘルカドウカ、之ヲ提案者並ニ文部大臣ニ伺ヒタイノデアアル、尙ホ一言質問シタイコトガアル、今日此教育ノ門外漢デアアル人ハ學校ノ教育ヲ以テ萬能トシテ居ル、學校ノ教育サヘ善ケレバ總テ此教育ト云フモノハ善イモ

ノデアルト考ヘテ居ル、サウ云フ人ガアルノデアルケレドモ、教育ト云フモノハ單ニ學校ニノミ
委ネテ置クコトハ出來ナイ、所謂三拍子デ、家庭ト社會トガ相俟テ教育ニ力ヲ盡サネバナラヌ、
今日日本ノ教育ト云フモノハ學校ニノミ重キヲ置イテ、而モ學校ニ責ヲ多ク歸シテ、社會ト家庭
トガ之ヲ等閑ニ附シテ居ル點ガ多イノデアアル、此點ニ向ッテ吾々ハ大ニ考慮シナケレバナラヌノ
デアアル、獨リ學校ノミヲ責メテ、教育ノ振作ヲ圖ルト云フコトハ容易ナコトデハナイト考ヘル
ガ、提案者ハドウ考ヘルノカ、之ニ付テ承リタイ

山本悌二郎君ノ應答

菊池君ノ只今ノ御質問ハ其趣旨ガ多岐ニ分レテ居リマシテ、私ニハ諒解致シ兼ル點モアリマシ
タガ私ノ諒解シ得ル範圍内ニ於テ答辯ヲ致スト御承知ヲ願ヒタイ、中學ニ及ブノデアアルカ、交面
ニ依テ見レバ小學ダケニ此案ハ關係シテ居ルガ如クニ感ズルガ、ドウデアアルカト云フ御質問デ
アリマスガ、教育社會ノ用語ハ別問題ト致シマシテ、私ガ私ノ説明ノ冒頭ニ於テ申上ゲタルガ如
ク、即チ國民ノ初等、中等、高等ニ互ッテノ一般教育ヲ意味スルモノデアルト云フコトヲ重ネテ申
上ゲテ置キマス、又小學校ノ成績ハ極メテ良好デアアル、今日ノ小學校ハ極メテ整備シテ居ルト云
フコトヲ仰セラレマシタガ、ソレハ菊池君ノ御觀察ハサウデアアルカモ知レマセヌ、併ナガラ此案
ニ於テハ小學教育ニ於テモ、中學、高等ト同ジニ多大ノ内容ノ缺陷ガアルト云フコトヲ見テ、國
民ノ代表者デアアル所ノ多數ノ衆議院ハ之ヲ提出致シタノデアリマス、元來今日ノ此小學ノ制度
ハ極メテ完全ナモノデアアル、其結果ハ極メテ良好ナモノデアルト云フガ如キ、左様ナ偏見固陋
ナ、時節ヲ解セザル所ノ、此時節ヲ解セザル所ノ舊式教育家ガ、今日マデ世間ニ蔓ッタルバコン、
此因襲ハ牢固トシテ抜クコトガ出來ナカッタノデアリマス、ソレカラ劃一主義ハ惡クナイ、斯様
ニ仰セラレマシタガ、是亦吾々ノ多數ノ見ル所デハ、劃一主義ガ、即チ今日ノ弊ヲ致シタノデア
ルト斯様ニ判斷シテ居ルノデアアル、又國體觀念ノ涵培ト云フコトガアルガ、國體ト云フコトハ一
體ト云フコトデアアルカト云フガ如キ意味ノ御質問ガアリマシタ、是ハ洵ニ驚キ入ッタコトデア

ル、我が六千萬國民ハ國體ハ抑如何ナルモノデアアルカ、如何ナル意義ヲ有スルモノデアアルカト云
フガ如キコトハ、心ヨリ心ニ深ク之ヲ諒解シテ居リマス、今此國體ハ如何ナルモノデアアルカ、如
何ニ之ヲ解釋スルカト云フガ如キ質問ヲ、年來教育ニ從事サレタル所ノ菊池君ナドカラ承ルニ
至ッテハ、實ニ心外千萬ニ感ズルノデアリマス、是デ質問ニ對スル答辯ハ終ッタル信ジマス、終リ
ニ臨ンデ一言申上ゲテ置ク、菊池君ハ教育ノ門外漢云々ト仰セラレタ、成程教育技術ニ付テハ吾
吾多數ノ衆議院議員ハ或ハ門外漢デアアルカモ知レマセヌ、併ナガラ國民教育ノ大方針ヲ如何ニ
スベキヤト云フ問題ハ、一教育技術者ニノミ任シテ置クベキ問題デハナイ、是ダケ申上ゲテ置キ
マス

菊池謙二郎君ノ再質疑

山本君ノ今ノ御答辯ハ私ノ質問ニ對シテドウモ答辯ニナツテ居ラヌト考ヘマス、第一ニ國民教育
ト云フ語ハ普通ニ小學校ノ教育ト云フ風ニ解釋ヲサレテ居ル、サウ云フ風ニ自分ハ考ヘテサウ
シテ此建議案ニ對シテ質問ヲシヤウト思ッテ通告ヲシテ置イタ、然ルニ山本君ノ説明ヲ聽クト、
豈圖ランヤ、國民教育ト云フ文字ノ中ニハ小學校ハ勿論、中學校其外ノ中等學校、或ハ高等女學
校モ含ムノデアルト云フカラ、サウ云フコトデアアルカラ此所ニ立ッテ質問ヲスルト、質問モ多岐
ニ互ル、又元來小學校ノミニ限ルモノト自分ハ考ヘタカラ、今日ノ小學校ト云フモノハ比較的外
ノ學校ヨリモ宜イ、ソレヲ辯護スル旁々茲ニ質問ヲシヤウト思フテ通告ヲシタノデアルト云フ
意味デアアル、私ハ國民教育ヲ今更山本君ニ對シテ質問ヲシタノデハナイノデアアル、然ルニ説明シ
タ通りデアルト山本君ガ答ヘテ居ル、又第二ニ山本君ハ、私ガ小學校ノ教育ハ極メテ完備シタモ
ノデアルト云フコトヲ言ッタト言ハレルガ、私ハサウハ言ハナイ、今日ノ日本ノ教育デ比較的良好
ク行ッテ居ルモノハ小學校ノ教育デアアル、斯ウ云フコトヲ私ハ言ッタノデアリマス、然ルニ山本君
ハ私ガ今日ノ小學校ノ教育ハ完全無比デアアルカノヤウニ言ッタ、教育ト云フモノガ元來完全無比
ニ行クモノカ行カヌモノカ、常識アル者ガ考ヘタラ明ニ分ル事デアアル、吾輩ガ斯ノ如キ事ヲ言ハ

ヌト云フコトハ、教育其モノ、性質カラ見テモ明デアル、是ハ山本君ノ誤解デアル、其次ハ國體ト云フコトニ付テ私ガ質問ヲシタナラバ、今日國體ノ觀念ニ付テ質問スルト云フ法ハナイ、是ハ明ニ分ッテ居ル、斯ウ云フコトヲ以テ答辯セラレタガ、私ノ國體ニ關スル質問ハ、過日ノ治安維持法ト關聯シテ、國體ト云フ意味ヲ内務大臣ハ非常ニ狭メタ、吾々ノ國體ノ觀念ト云フモノハアレ以上廣イノデアアル、斯ウ云フコトノ考デアルガ、山本君ハ内務大臣ト同意デアルカ否ヤト云フコトヲ聽イタノデアアル、之ニ對シテ十分ナル返答ヲシナケレバナラヌノデアアル、唯單ニ人ヲ罵倒シテ、ソレデ返答ニナリマスカ、決シテ返答ニナラヌト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、尙ホ若シ御考ガアレバ御返答ヲ望ミマスケレドモ、私ハ決シテ窮迫スルモノデナイト云フコトヲ一言シテ置ク

次テ本案ハ議長指名(十八名)ノ委員ニ付託スルニ決シ即日議長之ヲ指名ス委員ハ二十日委員會ヲ開キ委員長及理事ノ互選ヲ行ヒ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十三日報告書ヲ議長ニ提出セリ

三月二十四日本案ハ(五〇)(一)(一三)(四〇)(一〇七)ノ五案ト一括シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(五〇)參看)採用ノ結果委員長ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

一三五 衛生組合法制定ニ關スル建議案

顧フニ現在衛生組合ノ設置ハ明治三十年法律第三十六號傳染病豫防法ノ一條規ニ端ヲ發シ今

ヤ全國都市邑里處トシテ之カ設置ヲ見サルハナシト雖未タ法人ニ非スシテ其ノ構成及施設區區ニシテ其ノ相互間ノ連絡統一ヲ缺キ概ネ權限微弱ナルカ爲實蹟ヲ舉ケルコト頗ル困難ニシテ時勢ノ進運ニ適應セス依テ單行法律トシテ衛生組合法ヲ制定シ是カ機能ノ發揚ヲ期スルコトハ刻下ノ急務ナリト思考ス故ニ政府ハ内外ノ狀態ニ鑑ミ速ニ之カ制定ノ計畫ヲ立テラレムコトヲ望ム
右建議ス

右ハ十四年二月二十一日大里廣次郎君外三名之ヲ提出ス三月二十日本案ヲ院議ニ付シ提出者(大里廣次郎君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

衛生組合法制定ニ關スル建議案ニ付キマシテ、其精細ナ事ハ專門ニ互リマスカラ委員會ニ讓リマシテ、此處デハ抽象的ニ提案ノ理由ヲ說明致シタイト思フノデアリマス、御承知ノ通り國家ノ隆盛ヲ圖リマスルニハ、教育ノ進歩、産業ノ發達ト衛生ノ進歩ガ大切デアアルコトハ申ス迄モナイノデアリマス、是ハ爲政ノ三大要素デアリマシテ、其一ツヲ缺キマシタナラバ到底其國家ハ隆盛ニナルコトハ出來ナイノデアリマス、是ハ恰モ鼎ノ三脚ニ於キマシテ、其一脚ニ缺損ヲ來シタ場合ト同様デアリマス、然ルニ帝國ノ衛生狀態ハ如何様デアリマスルカト見マスルニ、甚ダ吾々ハ其進歩ノ遲延ナルコトニ遺憾ニ堪ヘナイノデアリマス、大正十四年度ノ總豫算ヲ見マシテモ、衛生ニ關スル所ノ費用ガ他ノ教育ヤ産業ニ關スルモノニ比ベマシテ甚ダ少イノデアリマス、而シテ其國ノ衛生ガ進歩シテ居ルカ否ヤト云フコトヲ定メマスニハ、國民ノ平均壽命ヲ標準ト致サナケレバナラヌノデアリマス、我國ノ平均壽命ヲ統計ノ上デ見マスルト、五十年前ヨリモ大正ノ今日ノ方ガ餘程短クナッテ居ルノデアリマス、明治ノ初年ニ於キマシテハ、日本國民ノ平均壽命ハ

今日ノ平均壽命ヨリモ稍十年長カッタノデアリマス、當時吾々ハ人生五十年ト云フコトヲ申シテ居リマシタガ、人生五十年デハナクナッタノデアリマス、只今ノ日本國民ノ平均壽命ハドレ程カト申シテ見マスルニ、實ニ吾々ハ其數ヲ示スト同時ニ嘆カハシイ次第デアリマス、何故ナレバ其平均壽命ガ三十二年ト六箇月強デアリマス、之ヲ歐米ノ平均壽命ニ比ベテ見マスルト云フ、其差八年デアリマス、歐米人ハ我が國民ヨリモ更ニ八年ノ長壽ヲ保ツテ居ルノデアリマス、明治ノ初年ニ比シテモ、十年ノ壽命ヲ短ク致シテ居ルノデアリマス、是ハ帝國ニ取リマシテハ、由々シキ問題ト私ハ思フノデアリマス、何故斯様ニ國民ノ平均壽命ガ短クナリマスカト申シマスルニ、是ハ世ノ進歩ニ伴レマシテ、吾々人間ハ幾多ノ周圍ノ狀況ニ依リマシテ、知ラズ識ラズ自分ノ壽命ヲ短クスルノデアリマス、之ヲ防グノハ衛生ヨリ外ニ途ハ無イノデアリマス、日本人ガ何故斯様ニ平均壽命ガ短クナッタカト云フコトヲ調べテ見マスルニ、其主ナル原因ハ、日本人ノ今日ノ死亡率ヲ見テ見マスルニ、小兒ニ於テ一番多ク死ンデ居ルノデアリマス、其比較ハ一年間ニ死亡シマスル所ノ死亡者ノ總テニ比シマシテ、一歳未滿ノ小兒ガ其半數ヲ占メテ居ルノデアリマス、例ヘバ五十萬人ノ者ガ一年ノ間ニ死亡シマスレバ、其二十五萬人ハ一歳未滿ノ小兒ガ死ンデ居ルノデアリマス、此點ハ國家トシテ憂フベキ點デアリマシテ、近頃政府當局ガ小兒ノ保護ト云フコトニ向ッテ有ユル方面ニ盡力サレテ居ルノハ、全ク此ニ原因ガ在ルノデアリマス、私共ノ考ヘマスル所ニ依リマスレバ、其國民ノ平均壽命ヲ長クサセルト云フコトガ、取モ直サズ其國ノ衛生思想ガ進歩シ、即チ衛生ガ進ンダト云フコトニナルノデアリマス、是ハ成ベク精神ト肉體ノ健全ナル小兒、及老人ガ一人デモ多クナラナケレバナラヌノデアリマス、昔ノ言葉ニ年多ケレバ恥多シト云フコトヲ申シテ居リマスガ、ソレハ老人ニシテ肉體ト精神トガ伴ハナイ所ノ人ヲ指スノデアリマス、例ヘバ孫ニ手ヲ引カレマシテモ寺詣リモ出來ナイヤウナ、ヨボ／＼ノ老人ヲ指シテ居ルノデアリマス、吾々ハ斯様ナ老人ハ望マヌノデアリマス、老イテ益肉體ト精神ガ健全デアアル所ノ老人ヲ望ムノデアリマス、例ヘバ本院ニ於キマシテモ、吾々ガ常ニ畏敬致シテ居リマス竹原、野田、或ハ箕浦、元田、各老先生方ノヤウニ、又内閣諸公ニ於カレマシテハ加藤首相ヲ首メ高橋、

犬養、或ハ仙石、斯様ノ方々ノヤウニ精神モ肉體モ頗ル健全ニ、サウシテ我が國家憲政ノ爲ニ貢獻セラル、ヤウナ老人ノ一人モ多クランコトヲ希望スル一人デアリマス、曾テ豊太閣ハ衛生ト云フコトニ注意ヲシナカッタ爲ニ、遂ニ關ヶ原ノ戰爭ニ、或ハ大阪夏冬ノ陣、是ガ起リマシテ、秀頼ハ幼年ニシテ豊家ノ基礎ヲ立ツルコトガ出來ナカッタノデアアル、是ハ全ク秀吉ガ己ノ攝生ヲ怠ツタ結果デアリマス、之ニ反シテ徳川家康ハ常ニ衛生ノ必要ナルコトヲ感ジマシテ、其衛生訓ト致シマシテハ、一富士、二鷹、三茄子、是ハ衛生ノ言葉トシテ遺サレテ居リマス、其爲ニ七十有餘歳ノ壽命ヲ保タレタ、其結果徳川三百年ノ基礎ヲ築カレタノデアリマセウ、私共ハ斯様ニ一人デモ精神ト肉體ノ健全ナル老人ノ多イト云フコト、更ニ小兒ノ保健状態ガ愈強クナランコトヲ希望スルノデアリマス、ソレニハドウシテモ國民衛生ノ普及ヲ圖ラナケレバナラヌノデアリマス、今我國ノ衛生法律ヲ見マスルニ、是ハ明治三十年法律第三十六號傳染病豫防法ノ一端ニ之ヲ求メタニ過ギヌノデアリマス、隨テ其法規ハ甚ダ杜撰デアリマシテ、一致聯絡ヲ取ルコトガ出來ヌノデアリマス、各町村ニ此組合ハアルノデアリマスケレドモ、今日ノ組合ハ何等威力ガ無イノデアリマス、故ニ今日ノ我國ニ適用シ得ル所ノ衛生組合法ヲ制定スルコトハ、目下ノ急務デアラウト思フノデアリマス、斯様ニ致シマシテ我が國民ノ衛生思想ヲ普及致シ、サウシテ國民自己ガ自ラ衛生機關ノ設置ヲ圖ルト云フ所ニ進マナケレバナラヌ、斯様ニシテ、各衛生機關ノ運用ヲ圖リ、又各衛生法規ヲ行ヒマス上ニハ、ソレノ補助機關トナルベキモノヲ求メナケレバナラヌノデアリマス、更ニ衛生ニ付キマシテ幾多ノ審議、建議或ハ答申ヲスベキ所ノ途ヲ開カナケレバナラヌノデアリマス、ソレニハ衛生組合法ヲ制定スルヨリ外ニ途ハ無イノデアリマス、此事ニ向ヒマシテハ、各府縣ノ都市聯合會ガ毎年總會ヲ開キマシテ、其總會ノ決議ニ依テ、此衛生組合法ノ制定ヲ當局ニ建議シテ居リマス、亦同様に、居ル所ノ衛生機關ノ事ニ出テ、居ル所ノ衛生機關ノ事ニ出テ、私ハ此法案ガ速ニ成立サレマシテ、サウシテ國民ノ保健衛生ガ十分ニナリマシタナラバ、其結果ハ社會民衆ノ幸福、共榮ヲ圖ル爲ニ貢獻スルノミナラズ、國運ノ進歩ノ爲ニナルノデアリマス、斯様ナ意味合カラ此建議案ガ皆様ノ御賛同ヲ得マシテ成立致シマスルト同時ニ、政府當局

ニ於カレマシテモ、此意味ヲ御參酌下サレマシテ、速ニ此法案ヲ制定セラレンコトヲ希望シテ已マナイ次第デアリマス

次テ本案ハ千葉宮次郎君外三名提出警察費國庫下渡金連帶支辨ニ關スル建議案(七九)委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十四日報告書ヲ議長ニ提出セリ

三月二十五日本案ヲ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一六四)參看)採用ノ結果委員長ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

一三六 武雄、嬉野及彼杵間鐵道建設ニ關スル建議案

肥前武雄ヨリ嬉野ヲ經テ彼杵ニ至ル鐵道ハ東京ヨリ長崎ヲ經テ日支ヲ連絡スル最經費ヲ要セサル最短距離ノ線路ニシテ且經濟上並軍事上極メテ重要ナル線路ナリ即チ(第一)本線ニテ新設スヘキ哩數僅ニ十四哩ニシテ肥前山口諫早線ノ所要新設哩數三十八哩ニ比シテ實ニ二十四哩ノ差アリ即チ二十四哩ノ無用ノ新設費ヲ節約シ而モ短縮ノ目的ヲ同様ニ達スルコトヲ得(第二)本線ノ沿道ニハ武雄溫泉嬉野溫泉アリ又陶磁器農產林產極メテ豊富ニシテ經濟上ノ價值尠カラス(第三)本線ニハ第十八師團演習地大野原竹松飛行隊大村聯隊等アリ軍事上重要線ナリ而シテ本線ハ日

支連絡短縮線トシテハ勿論單獨ニ新設シ充分ノ價值アルモノナリ依テ政府ハ速ニ本鐵道ヲ建設セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十四年二月二十一日今里準太郎君之ヲ提出ス三月二十日本案ヲ院議ニ付シ提出者ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

本案ハ武雄カラ嬉野ヲ經マシテ、彼杵ニ至リマス線路デゴザイマス、乗客ノ點カラ云ヒマシテモ、貨物ノ點カラ云ヒマシテモ、殊ニ軍事上カラ見マシテ極メテ重要ナル事ト信ジマス、此線路ニ付キマシテハ、建議案ノ理由書ニ詳シク説明シテアリマスカラ、ヨリ以上ノ點ハ御必要ノ際ハ委員會デ説明シタイト思ヒマス、滿場ノ御賛成ヲ御願ヒシマス

次テ本案ハ清水留三郎君外四名提出大間々長野原間鐵道建設ニ關スル建議案(一八)外二十五件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十三日報告書ヲ議長ニ提出セリ

即日議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一四)參看)採用ノ結果委員長ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

一三七 水産増殖ニ關スル法律ノ制定並其ノ施設ニ關スル建議案

水産増殖ノ施設ハ實ニ水産業ノ基礎タリ從來此等施設ノ全ク缺如セル爲斯業ノ前途ハ頗ル寒心ニ堪ヘサルモノアリ政府ハ宜シク速ニ左記施設ヲ實行シ斯業ノ基礎ヲ確立セシムルノ喫緊事タルヲ認ム

- 一 水産増殖法ヲ速ニ發布スルコト
 - 二 水質保護ニ關スル法律ヲ制定スルコト
 - 三 淺海利用模範場ヲ設立スルコト
 - 四 淺海増殖用種苗ノ配給ヲ實施スルコト
- 右建議ス

右ハ十四年二月二十三日中谷貞頼君外四名之ヲ提出ス三月二十日本案ヲ院議ニ付シ提出者(中谷貞頼君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

水産物ハ我が國民ノ主要ノ食料品デアリマシテ、其價格ノ高低ハ實ニ國民保健ノ問題ニ大ナル影響ヲ有スルモノデアリマス、而モ此水産物ニ適當ノ保護ト獎勵トヲ加ヘマスルナラバ、國家ノ重要ナル産業ト致シマシテ、其利益ハ實ニ多大ナルモノデアリマス、然ルニ我國ノ現在ノ水面ニ關シマスル所ノ施設、及之ニ關聯シマスル所ノ法規ニ付キマシテハ、洵ニ遺憾ナル點ガ多イノデア

アリマス、即チ内灣、淺海、河川、湖沼等ノ廣大ナル水面ハ、殆ド原始ノ儘ニ放棄致シテアリマシテ、而モ此水産増殖ニ關シマシテ必要ナル法規ハ未ダ整ツテ居ラヌノデアリマス、而モ最近ニ於キマシテ工業ノ發達ニ伴ヒマシテ、是等ノ工業ノ爲ニ種々ナル有害物ヲ此水面ニ流入致スノデアリマスルガ、此惡水ノ禁止、又ハ制限等ニ付キマシテモ適當ノ法制ガ無イノデアリマス、各府縣ニ於キマシテ、工業取締規則ニ依リマシテ、稍或ル程度ノ制限ヲ加ヘテアリマスルケレドモ、未ダ以テ完全ナルモノト言フコトハ出來ナイノデアリマス、此意味ニ於キマシテ水産増殖法ノ制定並ニ水産保護ニ關スル法律ノ制定ヲ必要ト致ス次第デアリマス、又此淺海ノ利用ニ付キマシテハ、國家ノ力ヲ以テマシテ、模範場ヲ設立致シマシテ、又同時ニ此淺海増殖用ノ種苗ヲ養成致シマシテ、之ヲ各事業家ニ最モ低廉ニ配給致シマスルナラバ、斯業ノ發達ノ上ニ於キマシテ重大ナル利益アリト信ズル者デアリマス、詳細ナル事ハ委員會ニ於テ陳述致シマス

次テ本案ハ秋田寅之介君外一名提出下關漁港速成ニ關スル建議案(九四)外二件委員ニ併セ付託スルニ決ニ委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十二日報告書ヲ議長ニ提出セリ三月二十三日議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一四)參看)採用ノ結果委員長ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

一三八 蠶業ノ振興ニ關スル建議案

蠶絲業ノ振興ヲ期スルハ我が國ノ産業政策上至緊至切ノ重要事ニシテ又國家永遠ノ大策ナリ然ルニ政府ノ施爲未タ之ニ副ハサルモノ多ク就中左記事項ノ如キハ斯業發達ノ根本策ナリト認ム

ルカ故ニ政府ハ速ニ其ノ實行ヲ期シ以テ我カ蠶絲業ノ健全ナル開發振暢ヲ圖ラムコトヲ望ム

- 一 繭絲局ノ設置
 - 二 蠶絲業法ノ改正並蠶絲業ニ關スル組合制度ノ確立
 - 三 繭絲價ノ調節ニ關スル根本方策ノ樹立
- 右建議ス

右ハ十四年二月二十三日村上國吉君外十五名之ヲ提出ス三月二十日本案ヲ院議ニ付シ提出者(村上國吉君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

本案提出ノ趣意ノ存スル所ニ付キマシテハ、建議ノ本文中ナル理由書ニ於テ總論的ノコトハ其大要ヲ盡セテ居ルト存ジマスルカラ、私ハ其本文中ニ列擧致シテ居リマスル所ノ事項ノ三箇條ニ付テ、極ク簡單ニ意ノ有ル所ヲ申上ゲテ置カウト存ジマス、第一ハ繭絲局ノ設置デアリマスガ、是ハ武藤金吉君ノ御提出ニ係ル蠶絲局ノ設置ニ關スル建議ト結局同ジモノナラデアリマス、要スルニ我國ノ蠶絲ハ御案内ノ如ク全國ニ互ル二百萬戸ノ農家ノ手ニ依テ其原料ハ生産セラレルノデアアル、更ニ點散式ニ殆ト全國ニ散在シテ居リマスル所ノ約三千ノ製絲工場及數十萬ニ上ル所ノ其従業員達ノ手ニ依テ、年産額六七億圓ニモ達スル所ノ生絲ガ造リ出サレルノデアリマス、サウシテ斯カル生産關係ニナツテ居リマスル所ノ此蠶絲業ヲ、全體的ニ健全ニ發達ヲ致サセヤウト致シマスルナラバ、我國ニ於ケル蠶絲業ノ此特殊ノ狀態ニ應ジテ、優良ニシテ豊富ナル原料ノ生産カラ製品ノ統一、其改良及取引ニ至リマスルマデ、最モ完全ニシテ緊密ナル所ノ聯絡

統制ガ行ハレルト云フコトガ、是ガ第一ノ要件デナケレバナラヌト考ヘルノデアリマス、以上ノ見地カラ致シテ見マスルト、現狀ノ如クニ農務局内ノ一課ニ過ギナイ繭絲課ニ依テ此重大ナル所ノ責務ヲ果サシムルト云フコトハ、到底望ミ難イコトデアルト斯様ニ考ヘルノデ、即チ繭絲局ヲ設置シテ、首尾一貫シテカアル所ノ蠶絲行政ニ依テ健全ナル所ノ蠶業ノ振興ヲ圖ルト云フコトガ、即チ根本政策ノ一ツデアルト斯様ニ思ヒマシテ、之ヲ政府ニ進言セントスルノデアリマス、第二ノ蠶絲業法ノ改正ト、竝ニ之ニ關聯シテノ蠶絲業ニ關スル組合制度ヲ確立スルト云フ事柄ニ付キマシテハ、是モ亦健全ナル蠶業ヲ發達サセル所ノ刻下ノ緊急要事デアルト斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、蠶絲業法ニ付キマシテハ、既ニ御承知ノ如ク蠶病ノ豫防ト其取締ニ關スル所ノ規定ヲ主トシテ、ソレニ重要物産同業組合法ニ依テ設立シタル蠶絲業同業組合ノ其中央會ノ組織ニ關スル規定ヲ括付ケテ、寔ニ一種變手古ナシハ規定デアリマシテ、我國ニ現ハレテ居リマスル所ノ幾多ノ法制中ニ、斯ノ如キ奇態ナ規定ハ吾々共ハ知ラナイノデアリマス、サウシテ其中ノ蠶種ノ検査ニ關スル規定ノ如キモ、今日ノ實情カラ申シテ見マスルナラバ、之ヲ改メナケレバナラヌ所ノ點ハ多々アリマスルシ、一方又組合ノ事ニ付テ考ヘテ見マスルナラバ、農會又ハ畜産組合、或ハ茶業組合、其他山林ノ事デアレ、漁業ノ事デアレ、各其業態ニ應ジテ特殊ナル團體ヲ組織スルコトガ出來ル法令ガ設ケテアルニモ拘ラズ、我國産ノ大宗ト稱セラレテ居ル所ノ蠶絲業ノミニ限ツテハ、ソレ等ノ當業者ヲシテ倚ラシムベキ所ノ獨立シタル所ノ法規ガ無イノデアリマス、詰リ今ノ蠶絲業ニ關スル所ノ組合ニ關スル規定ト申シマスルモノハ、重要物産同業組合法、ソレカラ蠶絲業法ト、此ニツノ傘ノ下ニ假ノ宿ヲサシテ居ルト云フガ如キ狀態デアリマシテ、是ハ此重要ナル蠶絲業ヲ發達セシムル上ニ付テハ甚ダ矛盾デアルト考ヘルノデアリマス、即チ此蠶絲業法ヲ根本的ニ之ヲ改メ、同時ニ蠶絲業者ヲシテ全國ニ互ツテ統一アル組合組織ノ機會ト便宜トヲ得セシメル爲ニ、此蠶絲業ニ關スル所ノ獨立ノ法令ヲ布イテ、彼等ノ共同ノカト政府ノ施設ト相俟ツテ、斯業ノ健全ナル發達ヲ致サナケレバナラヌト斯ウ考ヘルノデアリマス、第三ノ繭絲價ノ調節ニ關スル根本方策ノ樹立デアリマスガ、此事タルヤ是亦既ニ國論ノ一致致シテ居ル

所デアルト存ジマス、此發達ヲ致シテ居リマスル所ノ我國ノ蠶絲業ニ於キマシテモ、實際ニ於テハ其絲價ノ高低變動ガ常ニ甚シイガ爲ニ、製絲業者ハ絶エズ多大ナル所ノ危険ト困難トヲ感ジテ居ル次第デアリマス、サウシテソレガ延テ農家ノ經濟ニモ常ニ之ヲ不安ニ導クノデアリマスルノミナラズ、更ニ我ガ生絲ノ大需要者デアリマスル所ノ米國ノ絹業家カラモ、此絲價ノ變動ノ甚シイト云フコトニ付キマシテハ、絶エズ警告ヲ寄越シ、或ハ抗議ヲ申込シテ居ルト云フヤウナ状態デアリマスカラ、第四十九議會ニ於テ吾々ガ提案シ、加藤綱一君ニ依テ説明サレマシタル建議ノ如キ趣旨ト方法トニ依テ、速ニ適當ナル此繭絲價ノ調節ニ關スル所ノ根本方策ヲ樹テ、戴キタイト云フノガ、此建議ノ趣意ナノデアリマス、ドウカ御審議ノ上御賛成アラントヲ希ッテ置キマス

二木洵君ハ賛成ノ演說ヲ爲ス

只今提案者ヨリ御説明ニナリマシタコトデ、大要盡キテ居ルノデアリマスガ、私ハ此最後ノ項目ノ中ノ蠶絲業法改正ノコトガ、何故今日マデ實現致サナクダノデアルカ、發布セラレテ以來直ニ其不備缺陷ハ當業者其他ニ依リマシテ指摘セラレテ、當業者ハ非常ニ不便ヲ感ジテ居ルト云フコトハ、當局モ承知シテ居ラル、デアリセマウガ、今日ニ於キマシテモ未ダニ此實現ヲ見ナイト云フコトハ、甚ダ遺憾デアリマスルガ、來年度ニ於キマシテハ御提案ニナルコトデアラウト存ジマスルガ、今日マデ各種ノ新ナル規定ハ續々ト御提案ニナッテ居リマスルガ、未ダ此最モ緊切必要デアル所ノ蠶絲業法、前段ニモ提案者ノ述ベラレタルガ如キ、我國ノ貿易ガ之ニ依テ充サレテ居ルト云フガ如キ重大ナル關係アル、農村振興、問題ト致シマシテモ、副業ト致シマシテ殆ド本案、兼業ニナッテ居ルヤウナ状態デアル、此蠶絲業ニ對シマシテ、當局ハ何故ニ今日マデ是等ニ關スルコトヲ等閑ニ付セラレタモノデアルカト云フコトヲ疑フ存スル者デアリマス、是ハ要スルニ前段ニ述ベラレタルガ如ク、農商務省ニ於ケル唯一ツノ農務局ノ繭絲課ト云フ一課デアアルガ爲ニ、案外斯業者ノ言ガ尊重セラレナクダト云フコトデアリハシナイカト思フノデアリマス、

此點ニ付キマシテハ行政系統ヲ明ニ致シマシテ、速ニ繭絲局ト致サレテ、サウシテ此世界的ノ貿易ノ大宗デアル所ノ此蠶絲業ノ爲ニ、國策樹立ニ對スル法案ヲ定メラレンコトヲ望ムノデゴザイマス、此意味ニ於キマシテ一課ニ屬スルコトハ甚ダ遺憾ト思フト共ニ、蠶絲業法ノ改正案ヲ提出セラレヌコトニ付テモ矢張同様ノ憾ミヲ感ズルノデアリマス、提案者ニ賛成致シマシテ、政府ハ之ニ就テ鑑ミル所アッテ、一日モ速ニ提出ヲ望ムノデアリマス、聊カ賛成ノ意ヲ表シテ置キマス

次テ本案ハ武藤金吉君外六名提出蠶絲局設置ニ關スル建議案(一〇八)外一件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十四日報告書ヲ議長ニ提出セリ
即日議事日程ニ追加シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一一四)參看)採用ノ結果委員長ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

一三九 民間航空事業促進ノ爲政府ノ施設ニ關スル建議案

民間航空事業促進ノ爲政府ハ速ニ左ノ諸施設ニ著手シ其ノ完成ヲ期スルヲ要ス
一 國內首要都市間ニ航空路ノ設置

二 航空輸送補助法ノ制定

三 航空機製造補助法ノ制定

右建議ス

右八十四年二月二十三日安藤正純君之ヲ提出ス三月二十日本案ヲ院議ニ付シ提出者ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

私ノ建議案ハ民間航空事業促進ノ爲ニ、政府ニ速ニ適切ナル御施設ヲ望ム建議デゴザイマス、即チ其第一ハ國內ノ主要ナル都市ノ間ニ航空路ヲ開設シテ戴キタイト云フコト、第二ハ航空輸送補助法ノ制定ヲシテ戴キタイト云フコト、第三ハ航空機ノ製造補助法ヲ制定シテ戴キタイト云フコトデアリマス、之ニ就キマシテハ現ニ此議會ニモ長岡サンノヤウナ専門家モアリマスルガ、私ハ飛行機其モノニハ素人デアリマスガ、併シ數年以來多少研究致シマシテ、又此航空事業ニハ關係モ持ッテ居ル立場カラ、此事業ハ國家ノ將來ニ取リマシテ焦眉ノ急務ト信ジマシテ、茲ニ簡單ニ其理由ヲ陳ベタイト思ヒマス、就テハ先ヅ世界ニ於キマスル航空輸送ノ趨勢ヲ一寸御話致シタイ、現在ノ世界ニ於キマシテ國ノ大小ヲ問ハズ、所ノ遠近ニ拘ラズ、航空事業ト云フモノハ破竹ノ勢ヲ以テ進ンデ居ルノデアリマス、隨テ飛行機ガ行ク所ノ路、即チ航空路ナルモノハ殆ド鐵道網ト競争ヲシテ數カレテ行クヤウナ状態ニナッテ居リマス、其結果歐米ニ於テハ、航空輸送會社ト云フモノガ非常ニ多ク設立ヲ致サレマシタ、又飛行機ノ製作所ガ益繁榮ヲ來シマシタ、斯クシテ民間航空事業ト云フモノハ、世界ノ大小各國、到ル處非常ニ繁榮ヲ來シタノデアリマス、此歐羅巴、亞米利加ニ於ケル飛行機、航空事業ノ發達致シマシタ結果ト致シマシテ、今ヤ白人ノ手ハ東亞ノ大空ニ向ッテ其鵬翼ヲ伸バサントシツ、アルノデアリマス、然ルニ翻ッテ我が帝國ノ状態ヲ見マスルト、今日唯一ツノ航空路ト云フモノスラ開設シテ居ラナイノデアアル、又完全ナル民間ノ飛行場ト云フモノスラ無イノデアリマス、是ハ一等國ノ體面ニモ關スルノミナラズ、世界ノ文化ニ伴フ所ノ我國ノ發展ニモ相應致シマセヌ、且又一朝有事ノ日ガアルトキニハ、大變ナ事ニナラウト、此點ヲ考ヘルト寒心ニ堪ヘマセヌ、第一航空路ノコトカラ述ベマスガ、今日世界各國ノ航空路ノ中デ、最モ注目ニ値ヒ致シマスノハ、最近ニ於キマスル米國ノ大陸橫斷航路デアリマ

ス、是ハ御承知ノ通り昨年ノ七月一日ニ桑港ト紐育トノ間ニ航路ヲ開イタノデゴザイマス、此桑港、紐育間ノ鐵道距離ハ三千二百五十七哩デゴザイマスガ、之ヲ飛行機デ參リマスルト、此航空距離ハ二千六百八十哩ノ距離ニナッテシマフノデアリマス、而シテ汽車ニ乘リマスレバ此間ニ八十八時間掛ルノデスガ、飛行機デ飛ベバ二十六時間乃至二十九時間デ達スルコトガ出來ルノデアリマス、而シテ此全長二千六百八十哩ノ間ニ、米國ニ於テハ驚クベキ施設ヲシテ居ルト云フノハ夜間ノ裝置デアリマス、即チ市俄古カラ「シヤイエニス」ニ至ル八百八十五哩ノ間ハ、夜間飛行ヲシナケレバナラヌト云フノデ、此間ニ大規模ノ夜間裝置ヲ施シテアリマス、即チ四億五千萬燭光ノ照明燈ヲ要所々々ニ配置ヲ致シマシテ、此照明燈ガ百五十哩照スカラ持ッテ居ルノデアリマス、尙ホ此外五萬燭光ノモノ三十四箇、五千燭光ノモノ二百五十箇ヲ裝置シテ居リマス、此他航空無線電信電話及航空氣象觀測ト云フヤウナモノヲ設ケマシテ、此航路ノ安全ヲ圖ッテ居ルノデアリマス、洵ニ驚クベキ雄大ノ計畫ト謂ハナクテハナラナイノデアリマス、更ニ又飛行場カラ考ヘテ見マスルト、是ハ昨年ノ夏ノ調査デアリマスガ、亞米利加デハ幾ラ飛行場ヲ持ッテ居ルカト云フト、約二千五百箇所ノ飛行場ヲ持ッテ居ル、英吉利ハ百二十九箇所ヲ持ッテ居リマス、佛蘭西ハ七十一箇所持ッテ居リマス、獨逸ハ二十八箇所、瑞西ハ二十一箇所、伊太利ハ十七箇所、而シテ和蘭デスラ、十五箇所ノ立派ナ飛行場ヲ持ッテ居ルニ拘ラズ、我國ハ完全ナル民間飛行場ト云フモノハ現在一ツモ無イノデアリマス、更ニ又輸送ノ數ハドレダケカト申シマス、矢張亞米利加ガ一番發達シテ居リマスガ、最近一箇年間ニ郵便——信書ヲ運シダ數ガ六千七百八十七萬通ニ達シテ居ルノデアリマス、旅客ハ三十七萬二千人ニ及ンデ居リマス、貨物ハ一千噸ニ達シテ居リマス、而シテ此飛行總哩數ハ九百四十萬七千二百哩ト云フ大キナ哩數デアアルガ、而モ乘客中此間ニ怪我ノアツタノガ唯一人デアルト云フ、大ニ日本ノ飛行機トハ趣ヲ異ニシテ居リマス、斯ク飛行ハ今日完全トナリマシタ而シテ我が日本ハ御承知ノ通り、今日國際航空條約ニ加入シテ居ル、加入シテ居リナガラ、現在何ニモ其施設ガ無イト云フコトハ、是非非常ニ考ヘナケレバナラヌコトデアアルマイカト思フノデアリマス、航空路ナクシテ飛行ノ發達ヲ望ムコトハ、恰モ港灣燈臺ナクシテ、航

海業ノ發達ヲ望ムト同一デアリマス、故ニ政府ハ速ニ此航空路ト云フモノヲ整備シテ先ヅ其第一歩ト致シマシテ東京、大阪ノ兩都市間ニ水陸兼備ノ飛行場ヲ拵ヘテ貫ヒタイト云フデアリマス、面積ハ約二十萬坪位デ宜カラウ、東京デハ東京ノ真中カラ三四里位ヲ隔タツタ所、大阪ハ木津川ノ河口ニ陸軍ノ用地ガアリマスカラ、其附近ガ最モ適當ダトハ專門家ノ言フ所デアリマス、專門家ガサウ云フ見當デアリマスカラ、先ヅ之ヲヤツテ、次イデ此兩都市ノ中間ニ於ケル航空路ヲ整備シ、ソレカラ逐次南北ニ延長ヲシテ、即チ南ハ九州、朝鮮、臺灣、北ハ北海道、樺太ニマデ航空路ト云フモノヲ開イテ行キタイ云フデアリマス、第二ニハ此航空路ノ開設ト共ニ、更ニ航空輸送補助法ト云フモノヲ制定スル必要ガアリマス、是ハ亞米利加デモ、佛蘭西デモ、英吉利デモ、一年間ニ貨物ハ三四百噸カラ千噸位ノモノ、旅客ハ五七萬人カラ三七八萬人ニ達スル輸送ヲシテ居リマス、然ルニ日本デハ殆ド取ルニ足ラナノデアリマス、斯ウ云フ風ニ發達ヲスルノハドウ云フ譯カト云フト、各國トモ政府ガ非常ナ保護ヲシテ居ル、毎年五十萬カラ數百萬圓ノ補助ヲシテ居ルカラ、斯ク發達シタノデアリマス、然ルニ日本ノ民間航空ノ補助費ハ幾ラカト云フト僅ニ八萬圓デアアル、只ノ八萬圓デハ如何トモスルコトガ出來ナイノデアリマス、然ルニ茲ニ東京、大阪朝日新聞社ハ、大正十二年ノ一月ヨリ東西定期航空會ナルモノヲ設立シ、大阪東京間ニ一週一回ヅ、定期ノ飛行ヲ繼續シテ居リマス、微々タル事業デハアルガ、免ニ角ニ我國民間航空ノ嚆矢デアリマス、而シテ今回國際航空ヲ計畫致シマシテ、本年ノ五月一日ニ東京ヲ出發シ、五月十四日ニ巴厘ニ著ク、即チ朝鮮北滿ヲ經テ西伯利ヲ橫斷シテ歐露ニ入り、露都ヲ經テ波蘭、「チエック」スロバキヤ」南獨ノ上空ヲ經テ巴里ニ著キ、更ニ日ヲ定メテ巴里カラ倫敦ヲ訪問スル計畫デアリマス、此經費ハ殆ド五十萬圓位掛ル、此飛行ノ總時間ガ六十九時間、總距離ガ一萬二千百十八基米ト云フノデアリマス、是ハ我ガ日本ニ今マデニ無イ所ノ國際航空ノ嚆矢デアリマス、朝日新聞ガ非常ノ決心ヲ持ッテ勇敢ニ此國家事業ニ當ラントスルノデ、政府モ茲ニ自覺ヲサレテ、此間追加豫算ト致シマシテ、此國際航空ニ對シテ二萬二千圓ノ追加豫算ヲ計上サレマシタ、而シテ本院ニ於キマシテハ、既ニ諸君ガ御協贊ニ相成リマシタ、私ハ斯道ノ爲ニ感謝措ク能ハザル所デアリマス、

斯ウ云フヤウナ大事業ヲ續々サシムル爲ニ、又有事ノ日ニ備ヘル爲ニ、ドウカ航空輸送法ヲ制定シテ、民間航空ノ補助ヲシテ戴キタイト云フ事デアリマス、第三ニ中上ゲル事ハ飛行機製造ノ補助デアリマス、言フ迄モナク民間航空ノ發達ニハ飛行機ヲドシ、造ラネバナラス、所ガ日本デハ飛行機ニ使フ所ノ精密ノ機械ハ出來ナイノデアリマス、皆外國カラ輸入ヲシテ居ルノデアアル、諸君、亞米利加ガ千九百十七年ノ四月ニ世界大戰ニ參加ヲ致シマシタ時ニ、經費六億四千弗デ、二萬臺ノ飛行機ヲ拵ヘテ、之ヲ以テ歐羅巴ニ參戰ヲセント企テタノデアリマス、而シテ其計畫ガ亞米利加ノヤウナ豐富ナル資源ト、雄大ナル工業力トヲ以テシテ、十三箇月後ノ千九百十八年ノ五月ニナリマシテ、僅ニ六百臺ノ飛行機ヲ携ヘテ歐羅巴ニ送ル位ノ事シカ出來ナカッタノデアリマス、斯ル次第ダカラ平生カラドシ、製造シテ置カナケレバ、飛行機ト云フモノハイザト云フ時ニハ間ニ合ハナイ、即チ是ニ於キマシテ飛行機ノ製作ニモ補助ヲシテ、以テ我國ノ幼稚ナル飛行機ノ製作ヲ發達セシメテ戴キタイト云フノデアリマス、ソレガ爲ニ軍用自動車保護法ノ例ニ倣ヒ、適當ナル補助法ヲ制定ヲ政府ガ速ニ著手セラレンコトヲ望ムノデアリマス、要スルニ私ガ此建議案ヲ提出スル所以ノモノハ、區々タル飛行團體トカ、區々タル飛行會社ノ爲ニ言フノデアハナイ、全ク是ハ世界ノ文化ニ伴フ我ガ日本國ノ發展ト、及一朝有事ノ日ニ備ヘタイト言フ衷心ヨリノ切望カラ出デ、居ルノデアリマス、私ハ前年モ此建議案ヲ提出シタガ、未ダ一向ニ實現致シマセヌ、何卒世界航空界ノ現狀ニ鑑ミ、翻テ我國ノ現狀ニ顧ミ、諸君ニ於テ御審議御贊成ヲ切望シマス

次テ本案ハ長岡外史君提出航空行政中央統一機關設置ニ關スル建議案(一九)外三件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十五日報告書ヲ議長ニ提出セリ

即日議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ作問耕逸君提出ノ動議(本項(一九三)參看)採用ノ結果委員長

ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

二千七十八

一四〇 廣濱鐵道速成ニ關スル建議案

山陽線廣島ヨリ加計ヲ經テ山陰線濱田ニ至ル線路ハ地域廣ク殊ニ林産物ノミナラス米麥其ノ他諸種ノ資源ニ富ミ國利開發上鐵道ヲ敷設スルノ極メテ必要ナルノミナラス殊ニ北韓地方ト海上交通ヲ便ニシテ之ヲ本土幹線ニ連絡スルトキハ多大ノ日子ト費用トヲ節約シテ彼我ノ利益ヲ増加スルコト少カラス殊ニ日本海方面ト太平洋沿岸トノ交通ヲ容易ニシ經濟上國防上誠ニ必要ノ線路タリ本線ハ既ニ鐵道敷設法ニモ掲ケラレ當局者ニ於テモ二回ノ踏査ヲ行ハレタル結果ヨリ見ルモ政府カ目下敷設著手中ノ諸線ト比シテ決シテ軒輊ナキノミナラス寧ロ其ノ中ノ優越ナル等位ニ居ルモノタルハ明ナリ故ニ政府ハ急速ニ之カ本測量ニ著手シ既定ノ繼續費中ニ追加計畫ノ上速ニ敷設アラムコトヲ望ム

右建議ス

右八十四年二月二十四日荒川五郎君外二名之ヲ提出ス三月二十三日日本案ヲ院議ニ付ス是ニ先チ作間耕逸君ハ左ノ動議ヲ提出ス

會期モ愈切迫シ、議案モ頗ル輻湊シテ居リマスカラ、今日上程セラレタルモノ、及今日以後上程セラルベキ建議案ハ、本會期ニ限り趣旨辯明ヲ省略シテ、理由書ヲ速記録ニ掲載シ、若シ理由簡明ニシテ其要ヲ盡シ難キモノガアリマスレバ、之ニ限ッテ簡單ナル理由書ヲ補足シ、掲載シ、直ニ委員ニ付託シテ審査セシメラレタイ、尙ホ補足スル理由ハ各派ノ院內役員ヲ經テ議長ニ提出シ、議長ハ場合ニ依リ適宜趣旨ヲ要約シテ、速記録ニ掲載シ得ル事、以上ノ趣旨ニ依リマシテ、本日ノ日程中提案者ヨリ延期ヲ申出デマシタ第四十二及第四十九ヲ除キ、尙ホ第八十八及第一百、此四ツノ建議案ヲ除キ、其他ノ日程第十一乃至日程第一百六ノ建議案ハ特ニ一括シテ議題ト爲スベシトノ動議ヲ提出致シマス、各案ヲ付託スベキ委員ノ選舉ハ、便宜上各別ニ發議スルコトニ致サンコトヲ望ミマス

院議之ヲ採用シタル結果本案ハ其ノ趣旨辯明ヲ省略シテ清水留三郎君外四名提出大間々長野原鐵道建設ニ關スル建議案(一八)外二十六件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十五日報告書ヲ議長ニ提出セリ

即日議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一九三)參看)採用ノ結果委員長ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

一四一 孝明天皇ノ神宮造營ニ關スル建議案

孝明天皇ノ盛徳大業ハ中外ノ齊シク欽仰追慕シ奉ル所ナリ政府ハ宜シク闕下ニ奏請シテ神宮ヲ京都ニ造營シ之カ經營ニ關スル適當ノ方法ヲ講スヘシ

第二章 議事

第四節 議案

第二款 議案ノ討議

第五項

上奏案及建議案

二千七十九

右建議ス

右ハ十四年二月二十四日森田茂君外七名之ヲ提出ス三月二十三日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)議長指名(九名)ノ委員ニ付託スルニ決シ即日議長之ヲ指名ス委員ハ翌二十四日委員會ヲ開キ委員長及理事ノ互選ヲ行ヒ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十四日報告書ヲ議長ニ提出セリ

即日議事日程ニ追加シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一一四)參看)採用ノ結果委員長ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

一四二 警察官ノ待遇改善ニ關スル建議案

時代ノ進運ニ伴ヒ生活ノ向上ヲ來スハ自然ノ趨勢ナリ而シテ生活ノ安定ハ勤務能率ヲ増進スルノ根基ヲ爲ス然ルニ現在警察官ノ待遇ヲ見ルニ全國ヲ通シテ平均月俸巡查四十八圓警部七十圓警視百十圓内外ニ過キス物價騰貴ノ今日其ノ地位體面ヲ保ツノ生活ヲ營ムコト頗ル困難ノ實狀ニアリ特ニ巡查ノ如キハ下級判任待遇ニシテ動モスレハ社會ヨリ輕侮セラルルノ傾向アリ且其ノ服裝帶劔等ニ就テモ改善ヲ要スヘキ點少カラス斯ノ如キハ國民ノ安寧秩序ヲ保持シ幸福増進ノ重

責ニ服スル者ニ對シテ甚タ當ヲ得サルモノト認ム政府ハ速ニ警察官ノ待遇改善地位ノ向上服裝ノ改良ヲ計ラムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十四年二月二十四日日本田義成君之ヲ提出ス三月二十三日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)千葉宮次郎君外三名提出警察費國庫下渡金連帶支辨規定改正ニ關スル建議案(七九)外一件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十四日報告書ヲ議長ニ提出セリ

三月二十五日本案ヲ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一六四)參看)採用ノ結果委員長ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

一四三 煉乳粉乳輸入關稅引上ニ關スル建議案

煉乳粉乳輸入關稅ヲ左記ノ如ク引上ラレムコトヲ望ム

一 煉乳 從價 三割

一 粉乳 從價 三割五分

右ハ十四年二月二十四日小池仁郎君外十七名之ヲ提出ス三月十日日本案ハ武藤金吉君外一名提出染料關稅撤廢ニ關スル建議案(六六)外五件(本項第二(六六)參看)ト一括シテ院議ニ付シ提出者澤田利吉君ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

農村振興ト云フ問題ハ我が國家ノ朝野ノ大問題デアリマシテ、此事ニ對シテハ共ニ苦心シテ居ル事柄デアリマス、サウシテソレニ對シテ如何ナル策ヲ執ルカ、種々様々ナ對策ガアリマス、其中デ最も吾々ハ斯クナリテハナラヌト信ズルコトハ、過去ノ日本ノ農業政策ハ穀物ヲ主トシテヤッテ居ル、ソレガドウシテモ將來有畜農業デナクテハナラナイ、農業ニ家畜ヲ加ヘタ有畜農業デナクテハナラヌト言フコトハ學者、識者、實際家ノ唱道シテ居ル所デアリマス、農家ノ現在ノ狀態ヲ見ルトドウカト申シマスルニ、第一肥料ガ高イ、得ル品物ヲ以テ肥料ヲ買フト云フコトニ算盤ガ合ハヌト云フコトカラシテ、段々ト地方ガ減耗スル、地方ガ減耗スルト同時ニ、作物ノ取高ガ不足ニナッテ來ルト云フコトモ主ナル原因デアリマシテ、之ニ家畜ヲ加ヘルコトニ依テ自給肥料ヲ得ラレ、ソレニ依テ收穫ヲ増スコトガ出來ル、サウシテ農家ノ收入ヲ舉グルコトガ出來ル、デアラカラシテドウシテモ有畜農業ヲセンケレバナラヌ、今一ツハ國民ノ食物モ進化シテ居リマス、年ト畜産ニ依テ得ラ、ル所ノ乳製品等ガ、國民ノ間ニ段々ト消費セラレルヤウニナッテ來テ居ルデアリマス、デアアルカラ國民食糧ノ改良トモ相俟ッテ、日本ノ將來ノ農業ハ、ドウシテモ有畜農業ニ最モ力ヲ入レンケレバナラヌト云フコトガ、専ラ定ッタル議論デアリマス、併ナガラ今我國ノ此方面ノ狀態ハドウデアアルカト申シマスルニ、長ラクノ間唯穀物ヲ以テノミ食糧トシテ來タ國民ノ間柄ニ於テハ、歐米人ノソレノ如ク、未ダ乳製品ガ汎ク一般ニ用キラレテ居ラヌデ、主ト

シテ製造品——生乳デ用キル以外ハ製造品トシテ、煉乳トシテ用キラレテ居ル、ソレハ子供ニ用キル乳用トシテ多ク消費サレテ居リマス、デ之ヲ統計上極ク簡單ニ申シマスガ、大正元年ニ於キマシテ日本ノ消費高ガ九百九十幾萬斤デアッテ、國內デ生産シタ物ガ二百十六萬四千斤、輸入品ガ七百八十三萬斤、斯様ナ數字デアッタガ、十二年度——一昨年ニハ國內品ノ製品ガソレノ六倍ニナッテ、千二百幾十萬斤ニナッテ居ル、輸入品モ千百萬斤ニナッテ居ル、ズット年度ヲ通ジテ行ケバ大變宜イノデアリマスケレドモ、時間ヲ節約シテ簡單ニ飛ビ、ニ申シマスガ、此輸入ノ狀態ハ大正七年マデニ日本ノ製品ハ段々増加シテ來テ、ソレニ反シテ輸入品ハ段々減退シテ來テ居ルデアリマス、デアアルガ、戰爭後——歐洲戰爭ノ時最モ此輸入ガ不足デアッタノヲ、彼ノ震災當時ニ於テ一時輸入稅ヲ撤廢シタ、ソレニ依テ再ビ輸入高ヲ高メマシテ、遂ニ今日ノヤウナ有様ニナッテ居ルデアリマス、斯様ナ狀態カラ致シマシテ、現在此牛、詰リ牛乳ヲ以テ製造シテ居ル所ノ總テノ業者ガ、非常ナ窮地ニ陥ッテ居ル、ソコデ今マデハ牛ノ乳ヲ製造家ガ一升十七八錢乃至二十錢マデ買ッテ居リマシタケレドモ、今ノ有様デハ十三四錢乃至精々デ五錢マデ、ソレ以上ニ買ッテハ製造家ガ合ハナイ、製造家ガ合ハヌト云フコトニナリマス、生産スル所ノ農家ハ左様ニ賣リマシテハ、是亦到底今マデ發達シテ來タ所ノ其牛ヲ、尙ホ飼ッテ行クコトハ出來ナイ、云フヤウナ有様ニナッテ居ルデアリマス、ドウシテモ此際ハ關稅ヲ引上ゲテ戴キマシテ、サウシテ漸ク發達シテ來タ此事業ヲ助ケテ行カナケレバ、將來取返シノ付カザルコトニナルト云フデアリマス、關稅引上ヲシタ結果ガドウナルカト云フコトニ對シテ、或人ハ今外國カラ這入ッテ來テ居ル其輸入品ガ、若シ關稅引上ニ依テ輸入シナクナッタナラバ、日本ノ需要ニ對シテ内國品ニ依テ之ヲ充タスコトガ出來ルカドウカト云フ問題ガ一ツ、今一ツハ外國品ハ品物ガ優良デアアル、日本品ガ惡イ爲ニ、左様ナ結果ニ陥ッテ居ルノデハナイカト云フコトガ一ツ、今一ツハ關稅ヲ引上ゲタナラバ、内國品ガ高クナル、所謂今日ノ社會政策上、此品物ノ消費者ハ主ニ中流以下乃至子供ニ多ク用キラレルモノデアアルガ、左様ナ結果値ガ高クナリハセヌカト云フコトデ、一面ニ心配スル人ガアルデアリマス、此三ツノ問題ニ對シテハ、私ハ如何ニ外國品ガ這入ラナクナリ

マシテモ、日本ノ品物ニ依テ優ニ供給スルコトガ出來ルト云フコトハ、現在日本ノ會社ガ十一アリ、工場ガ二十二アツテ、其製造能力ハ一日ニ生乳ヲ一千二百石使フダケノ能力ヲ持ッテ居ルガ、現在僅ニソレノ三分ノ一シカカヲ用キテ居ラナイト云フコトデアリマス、又日本ノ耕地ハ畜産ニ適シナイノデハナイカト云フ議論モアリマスケレドモ、彼ノ丁抹ガ僅カ北海道ノ半分位ノ面積ニシテ、牛三百萬頭ヲ有シ、乳製品六億ヲ輸出シテ居ル、ソレニ鑑ミ、又日本ノ今日ノ斯業ノ發達ノ状態ニ鑑ミテ、決シテ左様ナ心配ハナイ、品物ノ善惡ノコトニ付テハ、既ニソレト、試驗場等ニ依テ試驗セラレテ居ルノデアリマス、決シテ惡イコトハナイ、唯日本ノ今マデノ輸入品ヲ崇拜シテ居ル、所謂輸入品ガ良イ、舶來品ガ良イト云フ此思想ノ爲ニ今日外國品ガ多ク迎ヘラレテ日本品ガ其通りニ行ッテ居ラヌト云フヤウナコトデアアルノデアアツテ、品物ノ善惡ト云フコトニ付テハ、決シテ外國品ニ劣ラナイト云フコトヲ斷言シ得ラレルノデアリマス、然ラバ價格ヲ上ゲナイカ、關稅ヲ引上ゲルト云フコトハ價格ヲ騰貴サセルデハナイカ、此事ニ對シマシテハ製造業者ハ決シテ價格ヲ引上ゲナイト云フ聲明ヲシ、既ニ大藏省乃至農商務省ニ向ッテハ如何ニ關稅ヲ引上ゲタリト雖モ、決シテ値上ヲ爲サヌト云フ公約書ヲ納メテ居ル次第デアリマス、何故然ラバ左様ナコトニナルカト申セバ、今或ル力ヲ持ッテ居テ其力ヲ用キテ居ラナイ、ソレガ全能力ヲ出シマスルト生産費ガ安クナルカラ、却テ安く賣リ得ルト云フコトナリマスノデ、今ハ會社ガ製造能力ヲ持ッテ居リツ、其力ニ滿ツルダケノ品物ヲ拵ヘルコトガ出來ヌカラ、高ク賣ラナケレバナラヌト云フコトニナツテ居リマス、此事ニ付テハモット申上ゲタイノデアリマスガ、此位ニシテ置キマス、要スルニ決シテ高ク賣ラナイト云フコトニナルノデアリマス、然ラバ其關稅ヲ引上ゲタイト假定致シテ、何時マデ其關稅ヲ其儘ニシテ置クカト云フニ、是ハ假定的ノ事デアリマスケレドモ十箇年位此關稅引上ニ依テ保護政策ヲ執ッテ貫ツタナラバ、今マデノ增加率、總テノ人口ノ增加及消費輸入製品等ノ增加率カラ之ヲ見マスルト云フト、今後十年ノ末ニハ日本ニ於テ消費スル所ノ其數量ハ一億一千二百萬斤位消費スルコトニナルノデアリマス、サウシテ製造高ガ一億六千四百萬斤位製造シ得テ、輸入品ヲ防遏シテ更ニ五千二百萬斤ヲ輸出スルト云フコトニナリマ

スノデ、其時ニ至リマスレバ既ニ其關稅ハ撤廢シテ自由貿易ニ依テ此事業ガ發達シテ行クノデアリマス、要スルニ此問題ハ農村振興上ノ重大ナル問題ニシテ、國民ノ食糧ノ改良ト、輸入ヲ防遏シテ輸出ヲ増ス現下ノ大切ナル國策ノ一デアリ、又我國ノ農民ヲ此窮地ヨリ活カス所ノ重大ナル案件デアリマシテ、曩ニ請願委員會ニ於キマシテハ、北海道ヨリ九州ニ立ル農業者一萬五千名連名ヲ致シマシテ、請願書ガ出テ居ル重大ナル案件デアリマス、尙ホ詳細ノ事ハ委員會ニ於キマシテ精シク申述ベマスルガ、何卒諸君ハ一致此案ニ贊成ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シマス

次テ本案ハ武藤金吉君外一名提出染料關稅撤廢ニ關スル建議案(六六)外五件(六六)參看)ト一括シテ政府提出染料製造獎勵ニ關スル法律案(第四項第一(三三))委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月十六日報告書ヲ議長ニ提出セリ

三月二十三日議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一四)參看)採用ノ結果委員長ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

一四四 少年團日本聯盟事業助成ニ關スル建議案

少年團ハ學校教育ト相俟テ純真無垢ナル少年時代ニ於テ信義ヲ旨トシ愛情ヲ厚クシ崇高ナル國家觀念ヲ涵養シ心身一如文武一途ノ精神ヲ體得セシムル新教育法ナリ今ヤ我カ國ニ於ケル少年團ハ發達ノ途上ニ在リ之カ指導策勵ノ機關トシテ少年團日本聯盟成立シ著著其ノ發達ニ貢獻シツツアリ右聯盟ニ於テ少年團指導者講習所ヲ開設スルノ舉アリト聞ク依テ政府ハ右事業助成大

爲大正十四年度ヨリ十箇年間毎年金十萬圓以上ノ獎勵助成金ヲ交付シ以テ少年團運動ノ堅實ナル發達ヲ遂ケシメラレムコトヲ望ム
右建議ス

右ハ十四年二月二十四日山口義一君外二名之ヲ提出ス三月五日本案ヲ院議ニ付シ提出者(山口義一君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

本案ハ少年團日本聯盟ノ事業ヲ助ケマスガ爲ニ、大正十四年度ヨリ十年間毎年十萬圓以上ノ獎勵金ヲ交付シテ貫ヒタイト云フ建議案デアリマス、少年團ハ學校教育ト相俟チマシテ、少年ノ純眞無垢ナル時代ニ於キマシテ、其精神ヲ修養シ其身體ヲ鍛鍊致シマシテ、崇高ナル國家觀念ヲ涵養スルト云フノガ其目的デゴザイマス、尙ホ詳細ナルコトハ委員會ニ於テ御説明致シマスカラ、ドウカ御贊成アラムコトヲ願フ次第デアリマス

次テ本案ハ田中善立君外一名提出武道普及ニ關スル建議案(三)外七件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ修正スヘキモノト決シ三月九日報告書ヲ議長ニ提出セリ

(委員會報告書)

(小字及——ハ委員會修正)

少年團日本聯盟事業助成ニ關スル建議

少年團ハ學校教育ト相俟テ純眞無垢ナル少年時代ニ於テ信義ヲ旨トシ愛情ヲ厚クシ崇高ナル國

家觀念ヲ涵シ養必身一如文武一途ノ精神ヲ體得セシムル新教育法ナリ今ヤ我國ニ於ケル少年團ハ發達ノ途上ニ在リ之カ指導策勵ノ機關トシテ少年團日本聯盟成立シ著著其ノ發達ニ貢獻シツツアリ右聯盟ニ於テ少年團指導者講習所ヲ開設スルノ舉アリト聞ク依テ政府ハ右事業助成ノ爲大正十四年度ヨリ十箇年間毎年金十萬圓以上ノ獎勵助成金ヲ交付シ以テ少年團運動ノ堅實ナル發達ヲ遂ケシメラレムコトヲ望ム
右建議ス

三月十二日本案ハ議事日程ヲ變更シ武道普及ニ關スル建議案(三)外四件ト一括シテ院議ニ付ス(委員會ノ經過ハ本項第二(三)參看)

院議異議ナク委員會報告ノ通修正議決シ即日之ヲ政府ニ提出セリ

一四五 淡水魚族増殖施設ニ關スル建議案

政府ハ淡水水産利源開發ノ急務ナルニ鑑ミ左ノ施設ヲ完備シ以テ地方産業ノ振興並食糧生産ノ増加ニ資セラレムコトヲ望ム

一 國立淡水魚族試驗研究機關

第二章 議事

第四節 議案

第二款 議案ノ討議

第五項

上奏案及建議案

一種苗場
一 鮭鱒族人工孵化事業ノ國營
右建議ス

右八十四年二月二十四日藤澤萬九郎君外二名之ヲ提出ス三月十二日本案ヲ院議ニ付シ提出者(藤澤萬九郎君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

我國ハ申スマデモナク、四面海デアリマスガ爲ニ、水産ト申シマスルカ、漁業ト申シマスレバ、殆ド鹹水漁業ニ極ッタヤウニ御考ニナツテ居ルノデアリマス、隨テ淡水魚族ノ漁業ニ對シマシテハ殆ド顧ミラヌノデアリマス、是ハ漁獲ノ上カラ申シマシテモ無論十分ノ一ニモ足りナイ漁獲デゴザイマスカラ、左様ニ政府當局ガ考ヘラレルコトモ一面無理ナラヌ事デアリマスケレドモ、併シ斯ノ如ク農村ノ疲弊困憊ガ高調サレテ居リマスル今日ニ於テ、此淡水魚族ノ増殖ヲ圖ルト云フコトハ、農村振興ノ立場ト致シマシテ最モ緊要ナル事ナリト私ハ考ヘマス、固ヨリ淡水魚族ノ棲息致シマスル所ハ、何レノ土地ト雖モ棲息シナイ所ハナイ、山間ノ谿流カラ河川湖沼ニ至ルマデ何レノ所ニモ棲息致シテ居リマスシ、又淡水魚族ノ漁獲ハ遠洋漁業デアルトカ、近海漁業デアルトカ云フモノトハ甚ダ其趣ヲ異ニ致シマシテ、其安全ナル點ニ於テ——收穫ガ必ズ得ラレルト云フ點ニ於テハ、殆ド植林ヲスルノト同一ナモノデアリマスカラ、從來此淡水魚族ノ漁獲ト云フモノハ、其沿岸ノ住民ハ皆之ヲ以テ副業ト致シテ居ルノデアアル、此位安全ナル農村ノ副業ハ無イト私ハ信ジテ居ル、之ヲ獎勵致シ、之ヲ助長致シマスルコトハ、所謂農村振興ニ付テ最モ安全ナル方法デアツテ、萬々違算ノ無イ、今日ノ國家トシテ最モ緊要ナル事件ト考フルノデアアル、假ニ此面積ガ如何デアアルカト云フコトヲ考ヘマスレバ、此面積ハ湖沼——琵琶湖デゴザイマス

トカ、八郎瀧デアルトカ、霞ヶ浦ト云フヤウナモノヲ合シマスルト、三十二萬町歩程アルノデアリマス、ソレカラ河川——小サナ沼デアルトカ、河川デアルトカ云フ淡水魚族ノ棲息スルニ甚ダ適當ナル場所ガ、完全ナル統計デハゴザイマセスケレドモ、約之ガ百町歩程アルノデアリマス、雙方合セマシテ百三十二三萬町歩ト見ルノガ大シテ間違ノナイ見當デアラウト考ヘマス、而シテ其産額ハ如何ト申シマスレバ、總計致シマシテ二千四百萬圓カラ三千萬圓ノ間デアアル、之ニ少シク人工ヲ加ヘマスルナラバ、或ハ私ハ一億圓以上ノ收穫ヲ得マスルコトハ左シテ困難ナ事デハナイト考ヘルノデアアル、只今ノ所デハ一町歩當リガ十六圓位ニシカ付イテ居リマセヌガ、此中縣デヤリマスカ、或ハ又組合デ經營ヲ致シテ居リマシテ、多少今日ノ減退致シテ居リマスル漁業ヲ支持致シマシテ、現状ノ維持ニ努メマス所、或ハ多少擴張ノ意味ヲ以テヤツテ居リマス所ハ、一町歩當リ二百七十圓マデ舉ゲテ居ル所ガ多クアルノデアリマス、ソレハ丁度木場瀧、或ハ十和田湖——十和田湖ノ如キハ甚ダ幼稚デアリマスカラ四圓位ニシカ當ツテ居ラヌケレドモ、木場瀧ノ如キハ一町歩四百何十圓ト云フマデニ當ツテ居ルノデアアル、ソコマデヤルト云フコトハ最モ困難デハアリマセウケレドモ、相當ノ資力ト相當ノ努力ヲ費シマスレバ、之ヲ一町歩百圓位マデ舉ゲルコトハ左程困難デナイノデアアル、百三十何町歩ノ面積ニ對シマシテ、一町當リ百圓ト假定致シマスルナラバ、一億三千萬圓以上ノ收穫ヲ得ルノデアリマス、國家ノ見地カラ見マシテ決シテ等閑視スベキモノデハナイト私ハ考ヘルノデアリマス、之ヲドウ云フヤウニスルカト申シマスレバ、御承知ノ如ク淡水魚ニハ冷水性ノモノト温水性ノモノトアルノデアリマス、又其養殖ヲ圖リマスニ付テハ、其土地ノ氣候ト云フモノヲ第一ニ調査ラシナケレバナリマセヌ、ソレカラ其池ナリ湖水ナリ川ナリノ水ノ深イ淺イト云フコトモ調査ラシナケレバナリマセヌ、同時ニ其水温ト云フモノヲモ亦調査研究ヲ要スルノデアアル、尙其上ニ適當ナル所ノ魚族ヲ發見致シマシテモ、ソレノ餌ト云フモノガ其池沼ニ有ルカ無イカト云フコトモ最モ考慮ラシナケレバナラヌノデアアル、斯ウ云フ事ヲ能ク考慮シマスルガ爲ニ、所謂淡水魚族ノ試験研究ノ機關ヲ是非政府ニ於テ具ヘラレタイト云フコトハ私ハ希望スルノデアリマス、ソレカラモウ一ツ御迷惑ナガラ御聽取ヲ願フ

テ置キマス、ソレハ魚苗、所謂魚ノ苗デアリマス、此魚苗ヲ製造スル所ガナカラネバ、如何ニ適當ナル場所ヲ見付ケ、如何ニ適當ノ魚族ヲ發見致シテモ魚苗ヲ製造スル所ガナケレバ駄目デアリマス、今日各府縣ニ於テ養殖者ガ一番困厄ヲ感ジテ居リマスルコトハ、此魚苗ヲ供給スルコトガ出來ナイト云フコトデアリマス、故ニ此魚苗ノ供給ヲ圓滿ナラシメ、潤澤ナラシメマス爲ニハ、國立魚苗製造所ヲ設置スルコトガ是亦最モ緊要ナルコト、考ヘルノデアリマス、之ヲ要シマスルニ淡水魚族ノ繁殖ヲ圖リマスニハ、第一中央魚苗製造所ノ設置ト、ソレカラ魚族ニ關スル試驗研究ヲスル所ノ機關ヲ拵ヘル、此二ツノ作用ニ依テ之ガ圓滿ナル發達ヲ助長セシムルコトガ最モ緊要ナリト信ジテ、茲ニ本案ヲ提出シタ所以デアリマス、尙終ニ臨ンデ其設置場所ハ何レノ點カラ考察致シマシテモ、滋賀縣ノ琵琶湖ニ置クコトヲ以テ最モ適當ナリト信ズルノデアリマス、諸君ハ宜シク御審議下サイマシテ、是非共御贊同ヲ仰ギタウゴザイマス

次テ本案ハ森田茂君提出京都ニ國立音樂學校設置ニ關スル建議案(四一)外一件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ修正スヘキモノト決シ三月二十日報告書ヲ議長ニ提出セリ

(委員會報告書)

(小字ハ委員會修正)

淡水魚族増殖施設ニ關スル建議

政府ハ淡水水産利源開發ノ急務ナルニ鑑ミ^{○滋賀縣ニ於テ}左ノ施設ヲ完備シ以テ地方産業ノ振興並食糧生産ノ増加ニ資セラレムコトヲ望ム

一 國立淡水魚族試驗研究機關

一種苗場

一 鮭鱒族人工孵化事業ノ國營

右建議ス

三月二十三日議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一四)參看)採用ノ結果委員ノ報告ヲ省略シテ委員會報告ノ通修正議決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

一四六 福相鐵道速成ニ關スル建議案

本鐵道ハ福島縣福島ヲ起點トシ保原梁川及宮城縣丸森金山ヲ經テ福島縣中村ニ達シ東北本線及奥羽線ト海岸線トヲ聯絡セシムルモノニシテ産業ノ開發並文化國防上極メテ必要ナル線路ナリ依テ政府ハ速ニ其ノ敷設ニ著手セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十四年二月二十四日佐藤富十郎君外六名之ヲ提出ス三月二十三日日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)清水留三郎君外四名提出大間々長野原間鐵道建設ニ關スル建議案(一八)外二十八件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末八田宗吉君外一名提出福相

鐵道速成ニ關スル建議案(一八九)ト併合シ表題ヲ「福相鐵道速成ニ關スル建議」トシ修正スヘキモノト決シ三月二十五日報告書ヲ議長ニ提出セリ
(委員會報告書)

福相鐵道速成ニ關スル建議

本鐵道ハ福島縣福島ヲ起點トシ保原梁川及宮城縣丸森金山ヲ經テ福島縣中村ニ達シ東北本線及奥羽線ト海岸線トヲ聯絡セシムルモノニシテ産業ノ開發竝文化國防上極メテ必要ナル線路ナリ依テ政府ハ速ニ其ノ敷設ニ著手セラレムコトヲ望ム
右建議ス

即日議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一九三)參看)採用ノ結果委員長ノ報告ヲ省略シテ委員會報告ノ通修正議決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

一四七 馬政振作ニ關スル建議案

國防上並産業上至大ノ關係ヲ有スル馬政ノ現状ハ甚タ不振ノ傾向アリ依テ政府ハ左ノ施設ヲ爲スヘシ

一 馬政委員會ハ勅令ヲ以テ之ヲ定メ常設ノ機關トスルコト

二 馬匹ノ民間利用ノ方法ヲ擴張シ軍事上及農事上遺憾ナキヲ期セシムルコト
右建議ス

一四八 國有林野法中改正ニ關スル建議案

國有林野法第十八條第一項及第二項ヲ左ノ如ク改正セラレムコトヲ望ム

國有林野ニシテ保護上必要ナル場合又ハ町村若ハ其ノ一部ノ産業上必要ナル場合ニ於テハ町村又ハ其ノ一部ニ保護ヲ委託スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ其ノ受託者ニ林野產物ヲ讓與シ又ハ其ノ主產物賣拂代金ノ十分ノ三ヲ讓與スルコトヲ得

右建議ス

右兩案ハ孰レモ十四年二月二十四日第一案ハ八田宗吉君第二案ハ八田宗吉君外一名之ヲ提出ス三月二十三日兩案ヲ一括シテ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)議長指名(九名)ノ同一委員ニ付託スルニ決シ即日議長之ヲ指名ス委員ハ翌二十四日委員會ヲ開キ委員長及理

事ノ互選ヲ行ヒ審査ノ末各原案ヲ可決スヘキモノト決シ孰レモ即日報告書ヲ議長ニ提出セリ又
即日議事日程ニ追加シテ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一一四)參看)採用ノ結果院議ニ付シ委員長
ノ報告ヲ省略シテ各原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

一四九 福島縣相馬郡松川浦ニ避難港修築ニ關スル建議案

福島縣相馬郡原釜ハ金華山沖ニ連レル世界三大漁場ノ一ト稱セラルル漁區ナルカ故ニ各方面ヨ
リ漁船輻輳シテ漁業ヲ爲シ居ルモ暴風雨ニ際シテハ避難スヘキ良港ナキ爲年年難破溺死スルコ
ト尠カラス是等人命ヲ救助シ一面漁業發展ノ爲政府ハ原釜松川浦ニ避難港兼漁港ヲ修築セラレ
ムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十四年二月二十四日佐藤富十郎君外六名之ヲ提出ス三月二十三日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ
趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)議長指名(九名)ノ委員ニ付託スルニ決シ即日議長之ヲ指名
ス委員ハ翌二十四日委員會ヲ開キ委員長及理事ノ互選ヲ行ヒ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決
シ即日報告書ヲ議長ニ提出セリ

即日議事日程ニ追加シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一一四)參看)採用ノ結果委員長
ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

一五〇 有珠岳洞爺湖及登別溫泉ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建

議案

政府ハ風光明媚世界の風致ヲ以テ其ノ名高キ有珠岳洞爺湖及登別溫泉ヲ中心トシ支笏湖定山溪
及羊蹄山ヲ抱擁スル國立公園ヲ設定シ此ノ勝景ヲ發揮セシメ内外人ノ一大遊園地タラムヘシ
右建議ス

右ハ十四年二月二十六日手代木隆吉君外六名之ヲ提出ス三月二十三日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ
趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)鈴木隆君外四名提出國立公園調查會設置ニ關スル建議案
(八一)外五件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十
五日報告書ヲ議長ニ提出セリ
即日議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一九三)參看)採用ノ結果委員長
ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

一五一 石巻女川間鐵道敷設ニ關スル建議案

政府ハ陸羽線宮城縣石巻驛ヨリ女川港ニ至ル鐵道ヲ速ニ建設セラレムコトヲ望ム
右建議ス

右ハ十四年二月二十六日齋藤仁太郎君外三名之ヲ提出ス三月二十三日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)清水留三郎君外四名提出大間々長野原間鐵道建設ニ關スル建議案(一八)外二十九件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十五日報告書ヲ議長ニ提出セリ
即日議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一九三)參看)採用ノ結果委員長ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

一五二 幼稚園令及同施行規則制定ニ關スル建議案

幼稚園ノ普及發達ヲ圖ル爲ニ政府ハ速ニ幼稚園令及同施行規則ヲ制定セラレムコトヲ望ム
右建議ス

右ハ十四年二月二十六日山榊儀重君之ヲ提出ス三月二十三日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)山榊儀重君外二名提出教育ノ機會均等ニ關スル建議案(一二)外十五件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十五日報告書ヲ議長ニ提出セリ

即日議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一九三)參看)採用ノ結果委員長ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

一五三 名古屋ニ綜合大學設置ニ關スル建議案

我カ國學制ノ頒布以來茲ニ五十有餘歲文運ノ進歩眞ニ驚クヘキモノアリ且近時高等中學並專門學校ハ全國到ル處ニ増置セラレ帝國ノ爲慶賀ニ堪ヘスト謂フヘシ然レトモ未ダ綜合大學ノ設置之下相併行シ隨伴スルアルヲ聞カス眞ニ遺憾トス或ハ爲ニ高等ノ諸學校ヲ出テテ進ムテ大學ノ學問ヲ攻究セムト欲スル青年學徒ノ進路ヲ塞キ圖ラス中途ニシテ其ノ路ヲ誤ルナキヲ保セス然ラハ則チ綜合大學ヲ設クルコト誠ニ急務ナリト謂フヘシ而シテ名古屋ハ帝國ノ中央ニ座シ東京京都兩都ノ中間ニ位ス産業交通文化ノ一大中心地ニシテ學術並經濟ノ樞府タリ現ニ愛知醫科大

學第八高等學校名古屋高等工業學校名古屋高等商業學校ヲ有ス將來綜合大學ヲ設置セムニハ宜シク第一ニ名古屋ノ地ヲ選フヘキモノト認ム仍テ政府ハ速ニ之カ計畫ヲ建テラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十四年二月二十六日服部英明君外二名之ヲ提出ス三月二十三日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)佐々木春作君外三名提出高等師範學校設置ニ關スル建議案(八〇)外四件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十四日報告書ヲ議長ニ提出セリ

即日議事日程ニ追加シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一一四)參看)採用ノ結果委員長ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

一五四 鹿野山國立公園設置ニ關スル建議案

房總半島ハ所謂山紫水明ノ地ニシテ之ニ加フルニ名所舊蹟甚ダ豐富ナリ且東都ニ近クシテ水陸ノ便アリ而シテ九十九谷ノ風光絶佳ナルコト兒童走卒モ普ク知ル所ナリ茲ニ一大國園ヲ建設シテ國家的ノ偕樂園タラシメムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十四年二月二十六日鈴木隆君外一名之ヲ提出ス三月二十三日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)鈴木隆君外四名提出國立公園調查會設置ニ關スル建議案(八一)外六件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十五日報告書ヲ議長ニ提出セリ

即日議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一九三)參看)採用ノ結果委員長ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

一五五 沖繩縣財政經濟ノ救濟助長ニ關スル建議案

沖繩縣ハ本州ト隔絶セル交通不便ノ島嶼ニシテ人口ノ割合ニ耕地少ク加フルニ暴風旱魃ノ災害多ク民力極度ニ疲弊シ財政經濟共ニ行詰ノ状態ニ陥レリ今ニシテ之カ救濟助長ノ方針ヲ確立スルニ非サレハ遂ニ縣ノ破綻ヲ免レサルヘシ政府ハ宜シク其ノ實情ニ鑑ミ其ノ救濟助長ノ途ヲ講セラレムコトヲ望ム

右建議ス

二千百

右ハ十四年二月二十六日岸本賀昌君外三名之ヲ提出ス三月二十三日日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)議長指名(九名)ノ委員ニ付託スルニ決シ即日議長之ヲ指名ス委員ハ翌二十四日委員會ヲ開キ委員長及理事ノ互選ヲ行ヒ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ同日報告書ヲ議長ニ提出セリ

即日議事日程ニ追加シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一一四)參看)採用ノ結果委員長ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

一五六 登録税法中改正ニ關スル建議案

現在幾多ノ銀行ヲシテ基礎ヲ鞏固ナラシメ進ムテ金融機關トシテノ機能ヲ一層敏活ナラシメムトスレハ合併ニ俟ツノ外ナシ政府亦茲ニ見ル所アリ先年來大ニ之ニ努ムル所アリシモ遲遲トシテ進展セス今尙其ノ數一千八百行ヲ下ラス誠ニ遺憾ノ極トス合併ノ支障トシテ算スヘキモノ尠カラストスルモ合併ニ關スル課税ニ至リテハ其ノ最甚シキモノナリ乃チ一日モ速ニ登録税法中第六條第九號及第十號ヲ改正シテ銀行合併ニ際シ其ノ課税ヲ免除シ以テ急速ニ之ヲ進展セシム

ルハ目今緊切ノ要務ナリ政府ハ宜シク之ニ關シテ適當ナル改正ヲ圖ラレムコトヲ望ム
右建議ス

右ハ十四年二月二十六日神崎勳君之ヲ提出ス三月二十三日日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)坂東幸太郎君提出食糧政策確立ニ關スル建議案(一一)外五件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十四日報告書ヲ議長ニ提出セリ

即日議事日程ニ追加シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一一四)參看)採用ノ結果委員長ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

一五七 婦人參政ニ關スル建議案

婦人ノ智識意思感情ヲ全然度外シタル政治ハ全社會全國家ノ幸福ト利益ヲ考慮シタル善良ナル政治ト謂フヘカラス婦人カ國ノ政治ヨリ遠サケラレ政治的要素トシテ認めラレサル間ハ遂ニ其ノ地位ヲ向上シ人格ヲ發達スル機會ヲ失ヒ長ク屈辱ト輕侮ヲ免ルル時ナシ從來婦人カ文明史上ニ重要ナル地位ヲ占ムルコト能ハサリシモノハ婦人ノ天賦ノ本質ノ然ラシムルニ非ス主トシテ

第二章 議事

第四節 議案

第二款 議案ノ討議

第五項 上奏案及建議案

二千百一

教育及環境ノ結果ニ外ナラス女性トシテ人類社會國家ニ奉仕スル所ノ使命ハ固ヨリ男性ニ比シテ輕重貴賤ノ差異アルヘカラス婦人ヲシテ國家及法律ニ對シ男子ト同等ノ權利ヲ保有セシメ婦人ニ對スル不合理ナル各種ノ制限ヲ撤廢シ男子ト均等ノ境遇ニ立タシムルハ正義ト人道ノ義シキ要求ニシテ女性ノ完成ニ缺クヘカラサルノミナラス國家及民族ノ組織ヲ強大ナラシムル所以ナリ

世界大戰爭ニ依テ深刻ナル慘苦ヲ嘗メタル文明國民カ茲ニ覺醒スル所アリ婦人ノ參政權ヲ認容スルニ至リタルハ決シテ偶然ニ非ス健強ナル國家ト純真ナル文化ハ男女均等協力ノ基礎ノ上ニ建設セラレサルヘカラス政府ハ速ニ我カ國婦人ニ對シテモ參政權附與ノ制ヲ定メラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十四年二月二十六日松本君平君之ヲ提出ス三月十日日本案ヲ院議ニ付シ提出者ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

今日ハ最モ容易ナラザル危期ニ直面シテ居ルト考ヘルノデアリマス、我ガ民族ハ一切ノ因襲ヲ打破シテ舊弊ヲ擺脫シ、更始維新ノ大覺悟ヲ以テ新シキ運命ヲ開拓シナケレバナラヌ時デアルト信ズルノデアリマス、而シテ國家民心ヲ新タニスル所ノ方法ハ勿論有ラユル方面ニ於テ重要ナル事柄デアリマス、就中我ガ國民ノ全半數ヲ占ル所ノ、婦人ヲ解放シテ、其政治的、社會的地位ヲ向上セシメル事ヲ計リ、ヨリ高キ生活ニ此階級ヲ導クト云フコトハ、現代ノ社會ノ施設、政治上ノ施設ニ於テ最モ大切ナル緊要ナ事柄ト信ズルノデアリマス、其量ニ於テモ、亦其實ニ於テモ是程偉大ナル幸福ヲ國民ノ上ニ齎シ、是程遠大ナル理想ヲ實現スルモノハナイト思ヒマス、即チ本案ヲ提出シタル所以デアリマス、諸君、本員ハ第四十五議會ニ於テ本案ト同一ナル建議案ヲ提出致シマシテ諸君ノ御考慮ヲ煩ハシタノデアリマス、再ビ此建議案ヲ本議會ニ提出致シマシテ、更ニ賢明ナル諸君ノ御考慮ヲ煩ハス所以ノモノハ、本年ノ議會ハ御承知ノ通り二十年來ノ懸案デアアル所ノ普選案ガ衆議院ヲ通過シタノデアリマス、本議會ハ我ガ立憲政治ノ歴史ニ於テ最モ記憶スベキ、特筆大書スベキ所ノ立法議會デアリマス、此議會ニ於テ普選案ヲ通過シタト云フコト即チ、普選ハ納稅資格ヲ撤廢シテ廣ク普ク民衆ニ參政權ヲ與ヘルト云フコトデアアル、是ハ物質ヨリ精神ヘ、又財產主義ヨリシテ更ニ人格ヲ尊重スル自由平等ノ大ナル精神ヨリ出發シタルモノデアリマス、此主張原則ヨリシテ行ツタナラバ、婦人ニ參政權ヲ與ヘナケレバナラナイコト、參政權ヲ拒ムコトノ出來ナイ理由ガ明カニナルノデアリマス、何トナラバ婦人モ亦人間トシテ人格ヲ持ツモノデアリ、又國家トシテハ忠良ナル國民ヲ構成スルモノデアリマス、之ヲ拒ムト云フコトハ普通選舉ノ根本ノ精神ヲ破壞スルモノデアリ、又之ヲ拒ムト云フコトハ一大矛盾ト言ハナケレバナリマセヌ、カルガ故ニ此案ヲ提出シタノデアアル、此點ニ於テ本員ハ普通選舉ノ委員會ニ於テ、屢政府ノ意嚮ヲ問ヒ、又委員諸君ノ意嚮ヲモ伺ツタノデアリマス、政府當局ニ於キマシテモ原則トシテ主義トシテ婦人參政權ヲ認メラレテ居ルト云フコトハ、諸君ノ御承知ノ通りデアリマス、既ニ此主義ガ認メラレルト云フコトデアアルナラバ、洵ニ本案ヲ提出スルト云フコトノ偶然ナラザルコトヲ、諸君ノ御承知ヲ願フノデアリマス、本員ハ茲ニ男女兩性ノ體力、若クハ智力ノ優劣ヲ論ズルト云フヤウナ愚ナル議論ヲ茲ニシヤウトハ思ハナイノデアリマス、何トナレバ三千萬人ノ男性ガ掛カッテモ一人ノ婦人ノ力ニ及バナイコトモアリマス、又本員ハ茲ニ政治ト云フモノハ婦人ノ携ハルベキモノデハナイ、政治ハ婦人ノ爲スベキ仕事デハナク、政治ハ男性

ノ專有獨占スベキモノナリト云フヤウナ狹隘ナル議論ニ付テ、茲ニ批評ヲシヤウトモ思フモノ
 デハナイ、何トナレバ人間生活ノ原理トシテ、機會均等ノ主義ト云フモノガ眞ニ之ガ人間生活ノ
 原理デアラナラバ、婦人ヲシテ殊ニ政治ニ干與セシメナイト云フ議論ハ立タナイノデアリマス
 ル、又本員ハ婦人參政ハ家庭ヲ破壊スルモノナリト云フヤウナ狹隘ナル議論ニ付テ論議シヤウ
 ト考ヘル者デアリマセヌ、何トナレバ形式的ニ男性ガ家庭ヲ代表スルトシテモ、ソレハ決シテ
 圓滿ナル家庭ノ發達ヲ助長スルモノデハナイト信ズルカラデアリマス、男女兩性共各其天分ヲ
 有シ、人類トシテノ尊キ使命ヲ持ッテ居ルモノデアアル、故ニ人間トシテノ價值ハ洵ニ平等デ公平
 デナケレバナラヌコトヲ本員ハ確信スルモノデアリマス、唯一ツ私ハ諸君ニ懇ヘテ置カナケレバ
 ナラナイ問題ガ殘ッテ居ル、ソレハ現代ノ婦人ハ政治的自覺ガ足ラナイノデアアル、或ハ參政權ニ
 對スル婦人ノ要求ハマダ十分デナイト云フコトハ、屢論セラレ且ツ唱ヘラレルノデアリマス、是
 ハ一種ノ俗論デアリマス、西洋諸國ニ行ハル、所ノ標語所謂「求メヨ」然ラバ與ヘラレン、叩ケヨ
 然ラバ其門ハ開カレント云フ所ノ、爭鬪主義カラ來ル所ノ議論デアリマス、私ハ信ズル、即チ女
 子ニ參政權ヲ與ヘルト云フコトガ洵ニ正シイ道理デアラナラバ、是ハ求メズト雖モ之ヲ與ヘナ
 ケレバナラナイ、叩カズト雖モ其門ヲ開イテヤラナケレバナラナイト信ズルノデアアル、之ガ眞ノ
 正義ト公正ノ要求デハナイカト信ズルノデアリマス、諸君ノ御承知ノ如ク歐羅巴ニ於テ婦人參
 政權運動ノ一派——彼ノ「バンクハースト」ノ一派ガ極端ナル過激ナル獲得運動ヲ致シマシタ、
 是ハ諸君ノ尙ホ耳目ニ新ナル所デアリマスガ、斯様ナル極端ナル參政權獲得ノ運動ハ、我國ニ於
 テハ之ヲ願ハシクナイト思フノデアリマス、何トナラバ西洋ニ於テノ主義ハ、力ノ争ヒデアアル、強
 キ要求ヲ爲ス者ガ勝ツ「求メヨ」然ラバ與ヘラレン叩ケヨ然ラバ其門ハ開カレント云フコトノ主
 義ヨリ成ッテ居リマス、力強イ要求ガアルニ於テ初メテ權利ガ與ヘラレルノデアアルガ、吾々ノ主
 義ハ與フベキモノナラバ、假令ソレガ要求ガナクトモ、或ハ要求ガ弱クトモ、之ヲ與ヘナケレバ
 ナラナイ、叩カズト雖モ若シ其事ガ正義デアラナラバ、其門ヲ開イテ迎ヘテヤラナケレバナラナ
 イト云フ日本固有ノ主張主義ニ立チタイト思フノデアリマス、諸君ガ御承知ノ通り國會開設ノ

トキニ、ドレダケ國民ガ此立憲政治ノ思想ニ於テ自覺ヲ持ッテ居ッタデアリマセウカ、其當時ニ於
 ケル少數ノ知識階級ノ人ハ、國會開設ノ請願ヲシタノデアアル、運動ヲシタノデアアルガ、國民大多
 數ハ殆ド與ラナカッタトキニ於テ此國會ガ開カレ、憲法ガ布カレテ而シテ茲ニ三十有餘年、日本
 ハ立派ナル立憲代議制度ノ政ヲ行ッテ居ルノデアリマス、故ニ一世ヲ指導シテ而シテ世ノ新シキ
 政治組織ノ改革ヲ爲ス所ノ先覺者タル者ハ、此社會ノ要求ト時代ノ趨勢ヲ達觀シテ、サウシテ之
 ニ與フベキモノハ與ヘ、正義公道ノ命ズル所ニ從ッテヤラナケレバナラヌト云フコトヲ信ズル
 ノデアリマス、我國家民族ノ遠キ將來ヲ考ヘテ、新シキ運命ヲ開拓セントスルトキニハ、常ニ正
 義ト公平ノ公正ナル命令ニ從ッテ國家政治ノ指導原理トシナケレバナラヌコトヲ、深ク信ジテ疑
 ハナイ者デアリマス、此意味ニ於テ此婦人參政權ニ關スル建議案ヲ提出致シタノデアリマス、公
 正ナル諸君ノ賢明ナル御判斷ト御同情ニ依テ、此案ノ通過セラレンコトヲ切ニ希望スルモノデ
 アリマス

右ニ關シ原惣兵衛君ハ提出者ニ、吉良元夫君ハ政府ニ對シ質疑ヲ爲シ松本君平君及片岡政府委員
 之ニ應答ス

原惣兵衛君ノ質疑

私ハ提案者松本君ニ對シテ二三ニ付テ質疑ヲ致シテ見タイト思フノデアリマス、勿論我黨ニ於
 キマシテハ婦人ニ——世帯主ニ限リ參政權ヲ與ヘルト云フコトハ、過般ニ於ケル所ノ修正案ニ
 於テ發表シタ通りデアリマス、即チ松本君ノ言ハレルマデモナイ、我が政治史ニ於ケル所ノ——
 本黨ハ婦人ニ參政權ヲ與ヘルト云フ所ノ嚆矢デアリ、之ガ唯一ノ政黨的主張デアリマス、唯松本
 君ニ一口御伺ヒシタイノハ、若モ松本君ガ眞ニ婦人ニ參政權ヲ與ルト云フ御考デアッタナラバ、
 過般ニ於ケル我黨ノ婦人ノ參政權ニ對シテ之ニ贊成ヲスルカ、サモナケレバ自分自身ガ普選ニ
 對スル關係ノトキニ於テ、婦人參政權ニ對スルコトヲ修正ニ入レテ行カナケレバナラヌノデア

リマス、然ルニ松本君ハ其時ニ於テソレニ對シテ何等我黨ト同ジヤウナ關係ニ立タナイデ、反對ヲシテサウシテ此普選案ニ贊成ヲシテ、修正案ヲ出サズシテ居ッテ、數日ナラズシテ今日婦人參政權ノ建議案ヲ出スト云フコトハ、ソコニ何カ矛盾ガアリハシナイカト思フ、若モ松本君ガ眞ニ心カラ婦人參政權ト云フモノニ御贊成デアッタナラバ、斯ウ云フ矛盾ハナイト思フノデアリマス、恐ラク松本君ハ此澤山ノ婦人ヲ集メテ演説ヲ聽カス爲ニヤラレタノデアラウト思フ、其目的ハ婦人ニ其演説ヲ聽カスト云フヨリ他ニ何等目的ハナイト吾ミハ見ナケレバナラス、全ク松本君ニシテ若モサウデアルトシタナラバ、我が帝國議會ヲ愚弄スルモノデアルト吾ミハ言ハナケレバナラス、此點ニ付テ松本君ハドウ云フ御考ガアルカト云フコトヲ伺ヒタイノデアリマス、ソレカラモウ一ツハ只今主意書ヲ見マス、人類天賦ノ權利ノ關係上、國家竝ニ其法律ニ於テ婦人ニ權利ヲ得ルコトハ當然ノ要求デアルト云フガ如ク仰シヤイマスガ、吾ミハ此自然人ノ立場カラ、單ニ文化上ノ思想カラ一國ノ國內ニ於ケル參政權ヲ與ヘルト云フヤウナ政治ノ權利ノ問題ト、人類ノ天賦ノ權利タル文化史上ノ權利思想トハ、別個ノモノト信ズルノデアリマス、唯其點アルノミニ依テ男女平等デアアル、サウシテ之ニ權利ヲ與ヘナケレバナラスト云フコトハ、生理學ノ一頁ヲモ知ラナイ者ト言ハナケレバナラス、ソレ故ニ唯單ニ男女ハ平等デアアル、人類天賦ノ主張デアルト簡單ニ申サルルナラバ、實ニ淺薄モ甚ダシイモノデアルト思フ、デアリマスカラ此點ニ於テ婦人ニ如何ナル程度ニ於テ參政權ヲ與ヘルカ、即チ一國國內ニ於テ乞食デアアルトカ浮浪人ニ權利ヲ與ヘナイト云フコトハ、何處カラ來タカト云フト、即チ國家ニ於ケル社會上ノ分子トシテ、獨立ノ經濟上ノ主體トシテ、何カ其一票ヲ投ズルコトニ依ッテ、即チ國民トシテ其一票ヲ投ズル所ノ效果ガ本人ニ歸屬シナケレバ、參政權ヲ與ヘテモ全ク無意味デアリマス、其點ニ於テ乞食トカ浮浪人ニ與ヘナイノデアッテ、若槻サンノヤウニ單ニ國民ノ政治能力ガ發達シタカラ之ニ與ヘルト言ッタナラバ、乞食ト雖モ必ズシモ能力ノ無イ者バカリデハナイ、有ルト言ハナケレバナラス、斯ウ云フ意味ニ於キマシテ、本黨ノ普選案ニ對シテ婦人ヲ加ヘルト云フ此二點ニ、如何ナル御考ガアルカト云フコトヲ承リタイノデアリマス

松本君平君ノ應答

出

只今ノ原君ノ御質問ニ對シテ御答致シマス、本黨ハ婦人參政ノ先驅者デアルト云フヤウナコトヲ御話ニナリマシテ、何故ニ普選案ニ入レヌカ、修正ヲ提出セヌカト云フ御質問デアッタト思ヒマス、之ニ付テ申上ゲマス、普選案ニ付テ婦人參政權ヲ入レルト云フコトハ固ヨリ私ノ積年ノ主張デアリマス、故ニ之ニ付テハ昨年ヨリ普選案ヲ作成スルトキニ於テモ、屢婦人ノ參政權ヲ普選案ニ入レルト云フコトハ、其當時ニ於テ有志諸君ニモ御諮リシタノデアリマス、併ナガラ御承知ノ普通選舉ト云フモノト、婦人參政權ト云フモノハ別個ノ歴史ヲ持ッテ居ルモノデアリマシテ、普通選舉ト云フモノト、婦人參政權ト云フコトハ、別個ノ問題ニナッテ居リマス、必シモ之ヲ一絡ニシテヤル必要ハナイト思ヒマス、原君ガ此歴史ヲ御調べニナッタナラバ、更ニ明瞭ニ御分リニナルデアラウト思ヒマス、且ツ強テ此ノ問題ヲ普選案ニ入レルトスレバ却テ事端ヲ繁クシテ根本ノ普選案ヲ危フスル恐れガアッタカラ混同スルコトヲ避ケタノデアリマス、又政友本黨ノ諸君ガ世帯主論ヲ唱ヘテ、婦人參政權ハ之ニ依テ解決セラレタリト考ヘラレルコトハ、大ナル誤リデアリマス、吾ミハ斯ノ如キ議論ニハ決シテ贊成ヲスルモノデハナイノデアリマス、吾ミハ唱ヘル所ノ婦人參政權ハ、其年齡ノ程度ハ異ナリマスレドモ、或ハ英吉利ニ於ケル三十歳或ハ二十五歳——其年齡ノ程度ハ別問題ト致シマシテ、婦人ニモ亦男子ト同ジク平等ニ政治ニ參與スベキモノデアルト云フコトノ原則ヲ認メナケレバナラス、然ルニ政友本黨ノ諸君ガ、世帯主ニ於テ婦人ノ權利ヲ認メルト云フコトハ、何等ノ意味ヲ成シテ居リマセヌ、決シテ是ハ婦人參政權ニ付テ解決ヲ與ヘルモノデアリマセヌ、又只今モウ一ツノ問題トシテノ原君ノ御質問ハ、男女ガ天賦ニ於テ平等デアアルカラ、其平等ナルガ故ニト云フ、サウ云フ單純ナル議論ニ於テ參政權ヲ與ヘルト云フコトハ反對デアルト云フヤウニ聽イタノデアリマス、國家構成ノ上ニ於テ婦人モ亦男子ト同ジク構成ノ分子デアリマス、忠良ナル臣民デアリマス、税モ納メレバ又國家ニ對スル奉公モシテ居リマス、私ハ此點カラ國家構成ノ重大ナル要素——其全民族、全國家ノ半分ヲ有スル所ノ此婦人ヲ、政治ノ外ニ度外視スルト云フコトノ最モ誤マレルト云フコトヲ信ズルノデアリマス、

勿論之ヲ生理的ニ考ヘ、生物學ノ上ヨリ之ヲ考ヘ、此婦人ト云フモノ、其力ハ男子ト少シモ異ナル所ハナイ、其爲ス所ノコト、其行フベキ所ニ於テハ色々違ヒマセウケレドモ、婦人ガ人類トシテ盡ス所ノ其尊敬スベキ地位、又男子ガ人類トシテ盡ス所ノ地位、是ハ必ズ平等デナケレバナラヌ、人間トシテ人類トシテ男女ハ平等デナケレバナラナイト云フコトハ、是ハ自明ノ理デアリマス
吉良元夫君ノ質疑

私ハ此婦人參政權ノ問題ニ付テ提案者タル松本君ニ質問ヲ致ス積リデアッタデアリマスガ、ソレハ只今原君ニ依リ御述ニナリマシタカラ、私ハ其點ヲ省キマス、私ハ婦人參政權ノ問題ハ是ハ極メテ重要ナル問題ト心得ヘテ居ルデアリマス、今日我國ノ現狀ニ於キマシテハ婦人ニ參政權ヲ與ヘルノハマダ少シク早過ギルト云フヤウナ意見ヲ、首相ガ先日委員會ニ於テ御述ニナッタコトハ、其片鱗ヲ窺ウテ居ルデアリマス、私ハ我が日本國民トシテ極メテ喜ブベキノハ、我が帝國ノ婦人ハ歐米先進國ノ婦人ヨリハ、餘程尊敬スベキ實質ガアルト思フデアリマス、勿論歐米先進國ノ婦人ハ、我が帝國ノ婦人ヨリカ知識ノ點ニ於テ優ッテ居ル感ガアルデアリマス、併ナガラ婦人ニ於テ最モ尊ブベキノハ——知識ヨリ以上ニ尊ブベキノハ、淑徳デアアル、所謂節操ヲ保ツコトノ堅固ナル點デアリマス、是ハ決シテ何人ト雖モ異論ナキ所デアラウト思ヒマス、私ノ知り得ル程度ニ於テハ、歐米ノ婦人ハ節操ノ點ニ於テ、實ニ下等動物ニ餘程似タ所ガ多イノデアッテ、サウシテ曾テ彼國ニ於テ婦人參政ノ運動ヲ致シマシタ人々ノ遺方ヲ考ヘテ見マスト口角泡ヲ飛バシ、男以上ノ亂暴デアッテ、到底我が帝國ノ婦人ニ此真似デモシテ戴キマシテハ、甚ダ吾々ハ残念ニ考ヘテ居ルデアアル、所ガ焉ゾ知ラン我が帝國ニモ、日本婦人ニシテ生半弱ニ歐化シタヤウナ、實ニ奇々怪々ナル婦人ヲ近來屢見受ルデアリマス、私ハ此婦人參政權問題ノ演說ナドヲ謹ンデ拜聽ニ出掛ケテ見タコトガアルガ、ドウモ驚入ッタ方々ガ多イデアアル、サウシテ其方々ハ私行ノ點ニ於テ洵ニ尊敬スベキ方々デアラナラバ、吾々ハ深ク謹ンデ尊敬シテ御説ヲ聽クカモ知レヌガ、悉クトハ申シマセヌケレドモ、其大部分ハ不行、不仕鱈、實ニ吾々ハ之ヲ

聞クニ身ノ毛ノ悚ツヤウナ次第デアアル、デ私ノ考ヘル所ニ於キマシテハ、大體ニ於テ其時機來レバ、求メズト雖モ婦人ニ參政權ヲ與ヘルト云フヤウナコトハ、頗ル適當ナル事デアルト思フノデアアル、曾テ吾々ガ所屬シテ居リマシタ所ノ政友會ノ總裁原敬氏ハ、其事ヲ此壇上ニ於テ深ク御話シニナッテ居ルデアリマス、併シ是ガ少シク今デハ尙早デアアルカモ知レヌト云フ疑モアルノデアリマス、併シ其時機已ニ來ッテ居ルノカモ知レヌデアアル、世帯主ハ即チ相當ナル世帯ヲ立ッテ生活上ニ於ケルソレダケノ程度ニナッテ居ルデアアルカラ、之ニ與ヘルノハ何ノ不思議モナイノデアアル、併ナガラ一般ノ婦人即チ二十五年以上ノ婦人ニ與ヘルト云フヤウナコトハ、頗ル考慮ヲ要スベキ問題デアアルト思フノデアアル、然ルニ支那ノ言葉ニモアリマスルヤウナ「牝雞ノ晨スル」ハ其家ノ滅ビル兆ナリト云フ、近來隨分牝雞ノ晨スルモノガアル、先日既ニ此衆議院選舉法ノ改正ガアッタデアリマス、即チ此議場ヲ通過シテ居ルデアアル、此場合ニ至ッテ突如トシテ又婦人參政權建議案ヲ出サレルト云フコトハ、所謂六日ノ菖蒲十日ノ菊ト云フヤウナモノデ、大變ナ是ハ唯沽ランガ爲ニ御提案ニナッタモノ、ヤウニ私ハ思フノデアアル、然ルニソレハ宜シイ、私ハ其事ハ最早申上ゲマセヌガ、内務當局ハ——此提案ハ私謹ンデ拜見シタノデアアル、サウシテ之ニ賛成サレテ居ル所ノ御方々ノ記名ヲ拜見シテモ、殆ド三派ニ互ッテ多數ノ御方ガ記名ヲ爲サッテ居ルデアアル、然ルニ當局ニ於テハ之ヲ如何ニ見テ居ラル、ノデアアルカ、即チ是ハ取モ直サズ此案ハ委員會ヲ開イテ、委員會ノ議ニ上セルノデアリマセウ、然ルニ屢此憲法附屬ノ大典タル衆議院議員選舉法ト云フモノガ、サウ朝令暮改スルコトハ出來ナイ、ソレデアリマスルカラシテ本日ノ松本君ノ提案ニ對シテハ當局ハ如何ニ之ヲ御考ニナッテ居ルカ、御同意デアアルデアアルカ、或ハ不同意デアアルノカ、其大體ヲ承リタイト思フノデアリマス、尙ホ吾々ハ大ニ此點ニ付テハ眞面目ニ話シタイ事柄ガアルデアリマスケレドモガ、頗ニ諸君ハ御厭意ノ模様デアアル、殊ニ田崎君ノ如キハ頗ル私ノ發言ニ付テ妨害ヲサレルデアアル、ソレデ私ハ最早是レ以上論ズル必要ハ無イノデアリマスカラ、簡單ニ當局ノ御意見ヲ伺ッテ此壇ヲ降リルデアリマス
片岡政府委員ノ應答

本問題ハ極メテ重要ナ大切ナル事柄デアルト存ジマス、婦人參政權ト申シマスルコトハ、理論上カラ申シマシテ相當ノ事デアルト存ジマス、併ナガラ我國ノ實際ノ所ニ對照シテ考ヘレバ、極メテ慎重ニ考慮研究スベキ事柄デアルト存ジマス、今現ニ普通選舉法ヲ議定シ、是ヨリ其實績ヲ見ントスル所デアリマス、此間ニ於テ徐ロニ研究ヲ致シテ態度ヲ決メベキモノト思ヒマス、今此案ニ對シテ直ニ贊否ヲ表スル譯ニハ參リマセヌ

次テ本案ハ山口政二君外二名提出治安警察法中改正法律案(第四項第二(三三))外一件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十三日報告書ヲ議長ニ提出セリ即日議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一四)參看)採用ノ結果委員長ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

一五八 廣島縣ニ於ケル三部制撤廢ニ關スル建議案

明治三十二年內務省令第二十五號ノ指定府縣中ヨリ廣島縣ヲ除外セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十四年二月二十六日湯淺凡平君外六名之ヲ提出ス三月二十三日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)千葉宮次郎君外三名提出警察費國庫下渡金連帶支辨ニ關スル建議案(七九)外二件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三

月二十四日報告書ヲ議長ニ提出セリ

翌三月二十五日本案ヲ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一六四)參看)採用ノ結果委員長ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

一五九 吉會線本契約締結促進ニ關スル建議案

吉會線カ日支兩國民ノ幸福増進上極メテ緊要ナル鐵道線ナルコトハ今更喋喋スルヲ要セサル所ナリ

大正六年寺內内閣ハ吉會鐵道線ノ假契約ヲ締結シタルノミニテ幾許モナクシテ休レタリ其ノ後九箇年ノ星霜ヲ經タル今日未タ其ノ本契約ノ締結ヲ見ルニ至ラス之レ滿蒙進展ノ國策上甚タ遺憾ナルコトト謂フヘシ政府ハ宜シク本契約ノ締結ヲ完成スル爲ニ速ニ適當ナル方策ヲ樹テ之カ遂行ニ努力スヘシ

右建議ス

右ハ十四年二月二十六日松山常次郎君之ヲ提出ス三月二十三日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)議長指名(九名)ノ委員ニ付託スルニ決シ即日議長之ヲ指名ス委

員ハ二十四日委員會ヲ開キ委員長及理事ノ互選ヲ行ヒ審査ニ著手シタルモ報告ヲ爲スニ至ラサ
リキ

一六〇 帝國軍人後援會國庫補助ニ關スル建議案

軍人ヲシテ後顧ノ憂アラシメムカ國民皆兵主義ノ精神ヲ銷磨シ思想ノ惡化ヲ助成ス況ヤ思フ世
界ノ大勢ニ潜ムル時帝國ノ現況實ニ深憂ニ堪ヘサルモノアルニ於テオヤ國家法アリト雖萬能ニ
非ス國帑給スルト雖之ヲ普クスルコトヲ得ス故ニ世界列強ハ官民相待チ以テ之カ匡救ニ努メ施
設ノ抵ラサルナシ帝國軍人後援會爰ニ見ルアリ現役軍人ノ家族在郷軍人廢兵並其等遺族ノ救護
慰藉ニ勉メ思想ノ善導ニ盡スコト二十有九年事 聖鑑ニ副ヒ曩ニ恩賜ヲ拜セシノミナラス又皇
族ヲ總裁ニ奉戴スルコト十三年天恩優渥益使命ノ重ヲ感ス今ヤ奮テ時勢ノ惡潮ト闘ヒ大ニ國防
ノ眞義ヲ闡明シ斯業ノ發展ヲ圖ルモ資力微ニシテ理想ノ萬一ヲ行フ能ハス依テ國庫ノ補助ヲ得
テ報效ノ誠ヲ致サムコトヲ期ス

右建議ス

右ハ十四年二月二十七日加藤政之助君外二名之ヲ提出ス三月二十三日日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ

趣明辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)中林友信君外十名提出金鷄勳章年金令改正ニ關スル建議案

(一)外三件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十四
日報告書ヲ議長ニ提出セリ

即日議事日程ニ追加シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一一四)參看)採用ノ結果委員長
ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

一六一 石狩川架橋改修ニ關スル建議案

北海道旭川市ヲ貫流スル石狩川ニ架設セル旭橋ヲ改築セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十四年二月二十八日坂東幸太郎君外一名之ヲ提出ス三月二十三日日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ
趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)神部爲藏君外六名提出石狩川治水工事速進ニ關スル建議案
(六二)委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十五日報
告書ヲ議長ニ提出セリ

即日議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一九三)參看)採用ノ結果委員長

ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

一六二 市制及町村制改正ニ關スル建議案

時代ノ趨勢ト我カ國現在ノ文化トニ鑑ミ市町村ノ公民權ヲ擴張シテ之ヲ婦人ニ及ホスハ最必要ナリト信ス殊ニ小兒ノ教育及地方改善ニ關スル諸事業竝社會政策ニ關スル幾多ノ公共事業ハ婦人ノ手ニ待ツモノ頗ル多シ且將來參政權ヲ婦人ニ及ホス階梯トシテ婦人ヲシテ政治的訓練ヲ爲サシムルハ最緊要ノ急務ナリ政府ハ速ニ市制及町村制ヲ改正シテ男子ト同一ノ條件ニ依リ婦人ニ公民權ヲ與ヘラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十四年三月一日高橋熊次郎君外四名之ヲ提出ス三月十日本案ヲ院議ニ付シ提出者(高橋熊次郎君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

本問題ハ御承知ノ如ク、婦人參政權ニ關係スル問題デアリマシテ、只今松本君或ハ内ヶ崎博士ヨリ此問題ニ付テ十分論議ヲ盡サレタノデアリマス、其如何ナルモノデアルカ、或ハ大勢ハドウデアルカナド、云フ論議ハ、私ノ繰返ス必要ノ無イコト、思フノデアリマス、併ナガラ此問題ハ洵ニ重大ナ問題デアリマシテ、其經濟上ノ意味ニ於テ、其政治上ノ意味ニ於テ、又婦人問題トシテハ法律上ノ問題ト致シマシテ、頗ル重要ナルモノデアアル、之ヲ滑稽化シ或ハ不真面目ニ論議スルト云フコトハ洵ニ政治家トシテ其當ヲ得ザルモノト私ハ心得テ居ル、御承知置ノ通り議會ハ輿論ノ府デアアルノデアアル、議會ヲ通ジナケレバ輿論ト云フモノハ成立タヌノデアアル、而シテ婦人ハ此議會ニ議席ヲ持タナイ、即チ口ヲ持タナイノデアリマス、吾々男子ニ依テ之ヲ論議セラル、ヨリ、今ヤ何等ノ問題ハナイノデアアル故ニ、吾々男子ハ其如何ナル地位ニ在ルカ、若イ者、老人ヲ論ゼズ、真面目ニ此問題ヲ論議シナケレバナラヌト思フノデアリマス、此問題ヲ捉ヘ來ル者ニ對シテ、徒ニ罵倒ヲ加ヘルガ如キハ、決シテ私ハ士君子ノ取ラザル所ナリト思フノデアリマス、此問題ハ法律ニ直接關係ノアル問題デアリマスカラシテ、御參考ノ爲ニ關係條文ヲ朗讀致シタイト思フノデアリマス、暫時御清聴ヲ煩ハシマス、即チ是ハ市制ノ第九條竝ニ町村制ノ第七條ニ關係アル問題デアリマスガ、市制ト略シテ市ト云フ文字ト町村ト云フ文字ガ異ッテ居ルダケデアリマスカラ、市制第九條ノ第一項ヲ朗讀シテ見タイト思フノデアリマス、即チ「市住民ニシテ左ノ要件ヲ具備スル者ハ市公民トス、但シ貧困ノ爲公私ノ救助ヲ受ケタル後二年ヲ經サル者、禁治產者、準禁治產者、及六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ハ此ノ限ニ在ラス」、帝國臣民タル男子ニシテ年齢二十五年以上ノ者ニ、獨立ノ生計ヲ營ム者、三、二年以來其ノ市住民タル者、四、二年以來其ノ市ノ直接市稅ヲ納ムル者「斯クアルノデアリマス、吾々ハ之ヲ改正致シテ婦人ニモ男子同様ノ選舉權ヲ、即チ公民權ヲ附與シタイト云フ斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、若シ出來得ベクンバ此獨立ノ生計ト云フ以上ニ、相當ノ教育アル者、或ハ此公民權ヲ有スル男子ノ配偶者ト云フヤウナ必要ナ人、ニモ此公民權ヲ與ヘラレタイト思フノデアリマシテ、少クトモ私ハ現行法ニ定メテアル所ノ男子ト同等タル公民權ヲ之ニ附與シタイト云フノガ其骨子デアリマス、前演說者ト重複スルノ嫌モアリマセウケレドモ、私ハ多少此問題ニ付テ論議ヲ致シタイト思フノデアリマス、我ガ國民ノ——先程松本君ノ言ハレタ通り半數ヲ占ムル婦人デアアル、此婦人ヲ將來ドウ取扱フカト云フコトハ、此特殊ノ家族制度ニ依テ培ハレタ我國ノ婦人ノ社會的地位殊ニ其法律、政治上ニ於ケル苛酷ナル待遇、之ヲ現狀ノ儘ニ放置スルコトガ哲學的、道德的論議ハ

姑ク措キマス、是ハ松本君ニ盡サレテ居ル、實際問題トシテ我が國運ノ伸張ニ對シテ策ノ得タルモノデアアルカドウカ、是ハ社會問題ト致シマシテモ、政治問題ト致シマシテモ先程申上ゲル通り十分慎重ニ審議シナケレバナラヌト思フデアリマス、固ヨリ經濟上ハ私權上ニ於ケル所ノ性別待遇ノ撤廢デアルトカ、或ハ男女間ノ機會均等デアルト云フヤウナ問題ハ、私ハ此所ニ論ジナイデアリマス、即チ普通選舉權ガ輿論トナツテ衆議院ヲ通過シテ將ニ實施ノ域ニ達セントスル今日ニ於テ、性ノ異ナルト云フダケノ故ヲ以テ、女子ノ前ニ參政權ハ全部門戸ガ閉サレテアル云フヤウナコトハ、此際ドウデアアルカ、是非共之ヲ打開致シマシテ、此方面ニ向フベキ鍵ヲ茲ニ拵ヘタイト云フデアリマス、世ノ因襲ニ捉ハレテ、唯深窓ニ立籠ッテ男子ノ寄生物、之ガ婦人ノ本能デアアルナド、思ッテ居ルヤウナ婦人ハ、兎モ角ト致シマシテ、現代ニ於テ目覺メタル婦人ハ、ソレハ此問題ニ對シテ要求サレテ居ル、熱心ナル運動モサレテ居ルデアリマス、併シ中ニハ不眞面目ナル遊戲氣分デ此問題ヲ唱ヘテ居ル人モアリマセウ、先程本黨ノ諸君カラ論ゼラレタヤウナ人モアル、是ハ其問題其物ヲ減殺セシムルモノデアリナイデアリマス、勿論吾々ハ一部ノ都會ノ人士ノ、有閑階級、有産階級ノ婦人ナドハ、何等生産的仕事ヲ爲サズシテ、消費ノミ是レ事トシ、其消費モ下ラナイ愚ニモ付カナイヤウナ奢侈品ナドヲ用キテ、自分ノ手廻リノ仕事サヘ人手ヲ煩シテ、子女ノ育成ト云フモノハ、婦人ノ最大任務デアアルニ拘ラズ、コンナ事サヘモ自分デ顧ミナイト云フヤウナ婦人ガアルデアリマス、是等ノ婦人ト云フ者ハ、吾々ハ毫モ同情ノ値打ガナイ寧ロ國家ノ害物デアアル、斯ウ云フ者ハ即チ國家ニ、或ハ社會ニ、寄生スル一ノ寄生動物デアルト吾々ハ考ヘテ居ルデアリマス、私ハ男子ノ生血ヲ吸ッテ居ッテ生キテ居ル所ノ魔物デアルトモ申サレヤウカト考ヘテ居ルデアリマス、斯ウ云フ婦人ガ集ッテ男女同權デアルトカ、或ハ機會均等ト云フヤウナ事ヲ申スナラバ、吾々ハ毫モ之ニ顧ミル必要ハナカラウト思フデアリマス、併ナガラ斯カル婦人バカリガ都會ニハ居ラス、而シテ一タビ諸君ハ眼ヲ轉ジテ農村ヲ御覽ナサイ、農村ノ婦人ハドンナニ活動シテ居ルカ、農村ノ婦人ハ何等其勞力ニ於テ決シテ男子ト異ナル所ハ無イデアリマス、是ハ決シテ東京ナドニ在ル所ノ有閑階級ノ者デ、著物ノ著狂ヒ

ヲシテ其裾ガ切レルト云フヤウナコトモ困ラナイヤウナ、自動車バカリ飛バシテ他ノ人ヲ羨マシタリ、困ラシタリスルト云フヤウナコトハヤツテ居ラス、我國ハ雪ノ國デアアル、隨テ「モンペイ」ト云フ袴ニ似タヤウナモノヲ穿キマシテ、朝カラ晩マデ家デ稼イデ、男子ト同ジク山稼モ致シマス、畑ニモ出ルコトハ無論デアリマス、其暇ニ家事ノ整理モスル、病人ノ世話モスルデアリマス、近頃東京邊カラブラ／＼ト青年トカ少女トカ、肺病患者ニナツテ歸ッテ來ルデアリマス、斯ウ云フ者モ能ク面倒ヲ見テ居ルデアリマス、醫者ハ少イシ藥屋ハ遠イト云フ此間ノ農村婦人ノ苦心ト云フモノハ、頗ル慘憺タルモノガアルデアリマス、併ナガラ斯ンナ間ニ農村婦女ハ何ヲシテ居ルカ、諸君ハ御承知ノ通り日本輸出ノ大宗タルモノハ生絲デアアル、生絲ノ本タル蠶業ハ誰ノ手ニ依テ營マレテ居ルカト云フコトヲ諸君考ヘテ御覽ナサイ、是ハ農村婦人ヲ中樞トシテ營ンデ居ル、農村婦人デナケレバ蠶業ハ到底行ハレ得ナイト云フコトヲ私ハ斷言シテ憚ラヌデアリマス、其他ニ於テモ纖維工業——武藤サンアタリノ御關係ニナツテ居ル纖維工業ノ如キモ、工女ト云フモノヲ取去ッタナラバ何物ガ出來ルカト云フコトヲ言ヒタイデアリマス、斯ウ云フヤウナ人ニ、其他ノ職業婦人ト云フヤウナモノモアル、交通機關ノ電話、或ハ小學校カラ女教員ヲ取去ッタナラバ、教育ハドウナルカト云フヤウナコトヲ考ヘマシタナラバ、此婦人ヲ現狀ノ儘ニ置クト云フコトハ、是ハ國家トシテ大イニ考ヘナケレバナラヌト云フコトハ誰人モ分ッテ居ル、眞面目ナ問題デアアル、併ナガラ物ニハ順序モアリマセウ、又哲學上ノ議論ヤ人道論ト云フヤウナ道德論ノミヲ、之ヲ直グ様捉ヘテ之ヲ規範トシテ法律ノ改廢ヲスルト云フコトハ、吾々モ直ニ同意出來ヌデアリマス、併ナガラ既ニ農村ニ於テハ此婦人ノ努力、婦人ノ力ト云フモノヲ信認致シマシテ、之ニ農會ニ參與スル權利ヲ與ヘタデアリマセウカ、農會員トシテ、農會役員トシテ、男子ト婦人トハ毫モ差別ハ今日無イデアリマス、ソレハ十一年三月四十五議會ニ現ハレテ諸君ガ協賛サレタデアツテ、諸君ノ御記憶ニ新ナル所デアリマス、農村農政ニ於テ婦人ガ參政權ヲ持ッタ農村ニ於ケル問題ハ何デアリマセウ、教育問題デアリマセウ、衛生問題デセウ、大ナルモノト云フモノハ土木ナドモアリマスケレドモ、併ナガラ是等ノ問題ハ男子ノ手ヨリ

ハ多クハ婦人ニ交渉アル問題デアル、農政ニ參與セシメタル所ノ我國ガ教育ヤ衛生ノ問題ニ女子ヲ煩ハシテイカヌト云フ道理ガ何處ニアリマスカ、是ニ於テ吾々ハ先ヅ町村制ヲ改正シマシテ、而シテ茲ニ婦人ニ公民權ヲ與ヘ、地方自治體ニ婦人ヲ參與致サシメ、而シテ一ハ以テ有閑階級アタリノブラノシテ居ル婦人ヲ自覺セシメ、其餘タル勞力、或ハ餘タル資力ヲ社會公共事業ノ爲ニ使ハセル、自分ノ子ハ可愛イノデアアル、其人々モ人手ニハ委セルケレドモ、其之ヲ育テラレル所ノ其土地ノ爲ニ、又自分ノ住ンデ居ル此土地ノ爲ニ大ニ力ヲ致サセルト云フコトハ、所謂禍ヲ轉ジテ福ト爲サシムル方法デアラウト斯ウ考ヘルノデアリマス、延テ何時カハ松本君ノ高唱サレルガ如ク、本黨ノ諸君ノ言ハル、如ク、多少意味ハ違ヒマスガ、併ナガラ斯ウ云フ問題ハ早晚解決セラレナケレバナラヌ、ソレノ準備ガ要ルノデアアル、先ヅ此地方自治體ニ於テソレト政治的訓練ヲ爲サシメ、之ヲ聽テハ參政權ヲ得セシムル階梯ト致スト云フコトハ、洵ニ當然ノ事ダラウト私ハ考ヘルノデアリマス、此故ニ市制並ニ町村制ノ改正ヲ致シマシテ、婦人地方自治體ニ於ケル公務ニ參與セシムル、即チ公民權ヲ有セシメタイト云フノガ本案ノ大體ノ趣旨デアリマス、其詳細ニ至リマシテハ委員會ニ於テ十分ニ陳述ヲ致シタイト思フノデアリマス、ドウカ諸君ニ於カレマシテソレト御審議ノ上御協賛アラントラ偏ニ冀フ次第デアリマス

次テ本案ハ山口政二君外二名提出治安警察法中改正法律案(第四項第二(三三))外二件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月十四日報告書ヲ議長ニ提出セリ

三月二十三日議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一四)參看)採用ノ結果委員長ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

一六三 煙毒除害水源涵養ニ關スル建議案

足尾銅山ノ煙毒除害設備ノ不完全ナルカ爲ニ渡良瀨川水源地域一帶ノ山林枯死シ山骨露出土砂岩石崩壞ノ慘狀ヲ呈シ從テ山河自然ノ調節ヲ失ヒ出渇水ノ變調ヲ來スニ至ル之カ爲ニ渡良瀨川ノ流域タル群馬縣山田新田邑樂三郡ノ農民ニ及ホス直接ノ影響實ニ甚大ナルモノアリ殊ニ其ノ水量逐年減退ノ結果ハ同地方一帶灌漑用水ノ不足ヲ告ケ三郡民ニ一大脅威ヲ與ヘツツアリ偶大正十三年大旱魃ノ慘禍ニ逢フヤ水論所在ニ頻發シ物情騒然タルモノアリ今尙人心恟恟足尾銅山ノ煙毒防止水源涵養ノ急ヲ訴フルコト頻ナリ政府ハ速ニ之カ調査ヲ行ヒ足尾銅山ニ對シ斷乎煙毒除害命令ノ勵行ヲ期スルト同時ニ渡良瀨川ノ上流沿岸ニ砂防工事ヲ實施完成シ且荒廢セル山林ノ保護復舊ヲ圖リ以テ水源涵養ノ方策ヲ講セラレムコトヲ要望ス

右建議ス

右ハ十四年三月二日武藤金吉君外三名之ヲ提出ス三月二十三日日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)議長指名(九名)ノ委員ニ付託スルニ決シ即日議長之ヲ指名ス委員ハ翌二十四日委員會ヲ開キ委員長及理事ノ互選ヲ行ヒ審査ノ末本案ハ折原己一郎君外一名提出足

尾銅山煙毒除外水源涵養ニ關スル建議案(二五〇)ノ兩案ト併合シテ表題ヲ「煙毒除外水源涵養ニ關スル建議」ニ改メ修正スヘキモノト決シ三月二十五日報告書ヲ議長ニ提出セリ
(委員會報告書)

煙毒除外水源涵養ニ關スル建議

足尾銅山ノ煙毒除外設備ノ不完全ナルカ爲ニ渡良瀬川水源地域一帯ノ山林枯死シ山骨露出土砂岩石崩壞ノ慘狀ヲ呈シ從テ山河自然ノ調節ヲ失ヒ出濁水ノ變調ヲ來スニ至ル之カ爲ニ渡良瀬川ノ流域タル群馬縣山田新田邑樂三郡ノ農民ニ及ホス直接ノ影響實ニ甚大ナルモノアリ殊ニ其ノ水量逐年減退ノ結果ハ同地方一帯灌溉用水ノ不足ヲ告ケ三郡民ニ一大脅威ヲ與ヘツツアリ偶大正十三年大旱魃ノ慘禍ニ逢フヤ水論所在ニ頻發シ物情騷然タルモノアリ今尙人心恟恟足尾銅山ノ煙毒防止水源涵養ノ急ヲ訴フルコト頻ナリ政府ハ速ニ之カ調査ヲ行ヒ足尾銅山ニ對シ斷乎煙毒除害命令ノ勵行ヲ期スルト同時ニ渡良瀬川ノ上流沿岸ニ砂防工事ヲ實施完成シ且荒廢セル山林ノ保護復舊ヲ圖リ以テ水源涵養ノ方策ヲ講セラレムコトヲ要望ス
右建議ス

即日議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一九三)參看)採用ノ結果委員長

ノ報告ヲ省略シテ委員會報告ノ通修正議決ヲ爲シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

一六四 漁村振興ニ關スル建議案

政府ハ漁村振興ノ目的ヲ以テ速ニ左ノ事項ヲ實行セラレムコトヲ望ム

- 一 水産教育ノ改善普及
 - 二 漁村指導機關ノ充實
 - 三 漁港避難港ノ修築
 - 四 市場法ノ制定輸送方法ノ改善冷蔵事業ノ普及
 - 五 漁業組合制度ヲ變更シ共同ノ施設經營ヲ完成スルコト
 - 六 沿岸水族ノ蕃殖保護法ヲ確立シ漁利ノ増大ヲ圖ルコト
 - 七 海洋調査ヲ速成スルコト
 - 八 水産金融ノ方法
 - 九 漁村ニ於ケル副業ヲ獎勵スルコト
 - 十 水産業ト他ノ産業ト相對立シテ根本的政策ヲ樹ツルコト
- 右建議ス

右ハ十四年三月二日高草美代藏君之ヲ提出ス三月二十三日日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)秋田寅之介君外一名提出下關漁港速成ニ關スル建議案(九四)外四件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十四日報告書ヲ議長ニ提出セリ

三月二十五日本案ヲ院議ニ付シ作間耕逸君ハ左ノ動議ヲ提出ス

日程第十一乃至第十九ノ各建議案委員長報告ハ、此際一括議題ト爲シ、委員長ノ報告ハ特ニ書面ニ讓リ、其辯明及討論ヲ省略シテ、總テ委員長報告ノ通り可決セラレンコトヲ望ミマス

院議之ヲ採用ノ結果委員長ノ報告ヲ省略シ委員會報告ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

一六五 黒部峡谷ニ國立公園設定ニ關スル建議案

政府ハ北「アルプス」ト連互シテ世界的溪谷美ヲ有スル黒部峡谷ニ國立公園ヲ設定シ世界的一大遊園地タラシムヘシ

右建議ス

右ハ十四年三月二日寺島權藏君之ヲ提出ス三月二十三日日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明ヲ省

略シ(本項(一四〇)參看)鈴木隆君外四名提出國立公園調査會設置ニ關スル建議案(八一)外七件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十五日報告書ヲ議長ニ提出セリ

即日議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一九三)參看)採用ノ結果委員長ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

一六六 新橋驛復舊ニ關スル建議案

震火災ニ因ル新橋驛大破損ノ爲目下該驛ニハ僅ニ湘南列車ノミヲ停車セシメ今尙一般列車ヲ停車セシメサルヲ以テ從來該驛ヲ中心トシテ生活シ來レル附近住民ハ全ク二重ノ打撃ヲ被リ其ノ困難名狀スヘカラス又新橋驛ハ其ノ創始ニ際シ明治大帝御臨幸ノ光榮ヲ有シ爾來五十有餘年世界的ノ名驛ニシテ之カ復舊ハ全國民ノ等シク熱望スル所ナルノミナラス帝都ニ來往スル内外多數旅客ノ便利ヨリ考慮スルモ速ニ該驛ヲ復舊シ一般列車ヲ停車セシムルノ必要アリ故ニ政府ハ速ニ適當ナル措置ヲ採ラムコトヲ望ム

右建議ス

右八十四年三月二日横山勝太郎君外三名之ヲ提出ス三月二十三日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨
辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)議長指名(九名)ノ委員ニ付託スルニ決シ即日議長之ヲ指名ス委
員ハ翌二十四日委員會ヲ開キ委員長及理事ノ互選ヲ行ヒ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ同
日報告書ヲ議長ニ提出セリ

即日議事日程ニ追加シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一一四)參看)採用ノ結果委員長
ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

一六七 下仁田三反田間鐵道建設ニ關スル建議案

政府ハ群馬縣北甘樂郡上信電氣鐵道下仁田驛ヨリ北甘樂郡青倉磐戸月形尾澤ノ各村ヲ經テ長野
縣南佐久郡佐久鐵道三反田驛ニ連絡スル鐵道ヲ建設シ地方文化ノ開發ヲ計リ鐵道交通政策ノ實
ヲ舉ケラレムコトヲ望ム本線ノ沿道各地ハ蒟蒻養蠶米作養鯉其ノ他林產物石材等產物豐富ニシ
テ他ニ其ノ比ヲ見サルノ概アリ依テ經濟上ヨリスルモ其ノ必要ナルコト自明ノ理ナリ故ニ政府
ハ速ニ本鐵道建設ノ方策ヲ立テラレムコトヲ望ム

右建議ス

右八十四年三月二日井本常作君之ヲ提出ス三月二十三日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明ヲ省
略シ(本項(一四〇)參看)清水留二郎君外四名提出大間々長野原間鐵道建設ニ關スル建議案(一八)
外三十件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十五日
報告書ヲ議長ニ提出セリ

即日議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一九三)參看)採用ノ結果委員長
ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

一六八 議院本建築工事速成ニ關スル建議案

議院本建築工事ハ財政整理ノ結果其ノ既定年割額ヲ繰延ヘ繼續年限ヲ延長セラレタルモ右ハ本
工事實行上多大ノ支障ヲ生スルモノト認ム加之現在ノ議院建物ハ既ニ三十有餘年ノ星霜ヲ閱シ
毎年多額ノ修繕費ヲ要スルノミナラス不便不利尠少ナラス依テ政府ハ宜シク大正十五年度以降
年割額ヲ適當ニ按排スルト共ニ繼續年限ヲ短縮シ其ノ速成ヲ期セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右八十四年三月二日安達謙藏君外四十二名之ヲ提出ス三月十四日本案ヲ院議ニ付シ提出者(小山

松壽君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

二千二百二十六

本建議案ハ之ヲ促進致シマスルコトハ極メテ重大ノ意義ノ伴フコトデアリマシテ、衆議院ノ各派一致ノ提案デアリマシテ、殆ド議院議員ノ御賛成ヲ得テ居ルモノデアリマス、私ハ提案者ノ一人トシテ此處ニ御説明ヲ申上ゲマス、議院本建議ノ工事ハ多年ノ宿題デアリマシテ、議院建築調査機關ノ設置ヲ見タノデアリマスガ、大正七年六月臨時議院建築局ノ官制ガ定マリマシテ、大正七年度ヨリ豫算額七百五十萬圓ヲ以テ、十箇年ノ繼續事業トシテ工事ニ著手セラレマシタ、其後歐州大戰ノ影響ヲ受ケマシテ、著シク物價騰貴ノ爲ニ大正九年度、十年度トモ若干ノ追加ヲセラレタノデアリマスガ、更ニ大正十一年度ニ於テハ物價騰貴ニ加フルニ坪數増加及構造變更等ニ依リマシテ百三十萬圓ヲ追加シ、結局十二年度ニ於テ總費額二千萬圓、繼續年限ヲ十三箇年、即チ大正十九年度マデト決定セラレタノデアリマスガ、今回財政整理ノ結果更ニ四箇年、大正二十三年度マデ繰延ベラレタノデアリマス、斯ノ如キ經過ニ依リマシテ、新議院ノ建築工事ハ其竣工年度ヲ益々延延スルノミナラズ、今回提出ニ係リマスル所ノ豫算案ヲ見マスルノニ、大正十四年度以後ノ年割額ハ、洵ニ繼續工事費トシテ少シク不自然ノヤウニ感ゼラレマス、縱令財政整理ノ影響ニ依リマシテ斯ノ如キ結果ハ一時已ムヲ得ザルコト、致シマシテモ、今回改訂ノ年割額ヲ以テ致シマシテハ、本工事執行上ニ多大ノ支障ヲ生ズルモノト認メザルヲ得ナイノデアリマス、即チ少シク數字ヲ以テ之ヲ説明致シマスレバ、其十四年度以後ノ年割額ハ、十四年度分八十八萬圓、十五、十六兩年度分ハ五十萬圓宛、十七年度ハ六十二萬圓、十八年度以後ハ却テ二百萬圓宛トナツテ居リマス、斯ノ如キ最モ工事ノ本體ヲ進捗スベキ十五、十六、十七年度ガ却テ少額デアリマシテ、比較的仕上ニ近キ終リノ年度カラ多額トナツテ居リマスルガ、斯ノ如キハ洵ニ不自然ト思ハレルノデアリマス、加之漸次其竣工年度ガ遅延致シマシテ、初メノ年度ガ少額ナレバ、ソレダケ從來組立テタル鐵骨ニ銹ヲ生ジ、ソレニ對シテ相當ノ防止策ヲ講ジナケレバナラヌト同時ニ、人件費等モ亦ソレダケ多ク要スル次第デアリマス、是等ノ損失ヲ見積リマス時ハ、一箇年約十六萬圓ノ損失ニナリマス、又一面御承知ノ通り當議院ノ建物ハ明治二十四年十一月竣工シタ

ルモノデアリマシテ、既ニ三十有餘年ノ星霜ヲ閱シテ居リマス、殊ニ一昨年ノ大震災後ハ各所ニ故障ヲ生ジマシテ、今後ト雖モ毎年約十九萬圓位ノ修繕費ヲ要スル見込デアリマス、甚ダ不經濟ニ互ルノミナラズ、其設備モ舊式デアリマシテ、不便、不備ノ點モ少クナイコトハ諸君ノ御覽ノ通りデゴザイマス、斯ノ如ク兩者ノ損失ヲ合セマスル時ハ、毎年約三十五萬圓宛ノ損害ヲ自然ニ被ル次第デアリマシテ、國家財政上又考慮ヲ要スベキモノナリト信ズルノデアリマス、斯様ナ次第デアリマスルガ故ニ、先ヅ工事實施上支障ヲ生ゼザルヤウ適當ニ年割額ヲ改訂、按配致シマシテ、又財政ノ許ス限リ繼續年限ヲ短縮シテ、一日モ速ニ新議院ノ竣工セシムコトヲ切望スル次第デアリマス、殊ニ本建議案ガ本日ノ議場ニ上程セラレマシテ、此促進ヲ期スルト云フコトニ付キマシテハ、洵ニ意義アルコト、考ヘルノデアリマス、願クハ本案ハ速ニ御審議ノ上御協賛アラントヲ希望致シマス

次テ本案ハ議長指名(十八名)ノ委員ニ付託スルニ決シ即日議長之ヲ指名ス委員ハ同月十六日委員會ヲ開キ委員長及理事ノ互選ヲ行ヒ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月十八日報告書ヲ議長ニ提出セリ

三月二十三日議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一四)參看)採用ノ結果委員長ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

一六九 養蠶組合法制定ニ關スル建議案

我カ邦蠶絲業カ國民經濟上極メテ重要ナル地位ヲ占ムルコトハ今更絮說ヲ要セサル所ナリ其ノ

第二章 議事

第四節 議案

第二款 議案ノ討議

第五項

上奏案及建議案

二千二百二十七

蠶絲業ノ根基ヲ爲ス養蠶業者ハ其ノ數百六十餘萬戸ニ及ヒ之等養蠶業者ノ共同經營ニ依ル任意ノ養蠶組合ハ其ノ數二萬有餘ヲ算シ加盟組合員ハ實ニ養蠶戸數ノ約二分ノ一ニ達セリ然リト雖之カ適當ナル法令ノ據ルヘキモノナキヲ以テ組合ノ基礎未タ堅實ヲ缺キ從テ斯業ノ進歩發展上支障寡カラサルヲ觀ルハ頗ル遺憾トスル所ナリ依テ政府ハ之ヲ助長發達セシムルノ目的ヲ以テ速ニ養蠶組合法ヲ制定發布セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十四年三月二日加藤知正君外四名之ヲ提出ス三月二十三日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)武藤金吉君外六名提出蠶絲局設置ニ關スル建議案(一〇八)外二件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十四日報告書ヲ議長ニ提出セリ
即日議事日程ニ追加シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一一四)參看)採用ノ結果委員長ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

一七〇 北海道拓殖促進ニ關スル建議案

北海道ニ特別ノ制度ヲ布キ北海道ニ於ケル國庫ノ收入ハ全部之ヲ拓殖費ノ資源ニ充テ以テ拓殖促進ノ實ヲ舉ラレムコトヲ望ム
右建議ス

一七一 北海道漁港修築計畫確立ニ關スル建議案

政府ハ北海道ニ於ケル海田開發ノ爲左記漁港修築ノ計畫ヲ樹テ速ニ之カ實現ヲ期セラレムコトヲ望ム

- | | | |
|-------------|----------|-------|
| 增毛漁港 | 鬼鹿漁港 | 苫前漁港 |
| 羽幌漁港 | 初山別漁港 | 天鹽漁港 |
| 天賣漁港 | 燒尻漁港 | 鬼脇漁港 |
| 仙法志漁港 | 本泊(利尻)漁港 | 鴛泊漁港 |
| 香深漁港 | 船泊漁港 | 濱頓別漁港 |
| 枝幸漁港 | 幌內(北見)漁港 | 雄武漁港 |
| 沙留漁港 | 錨沸漁港 | 常呂漁港 |
| 斜里(チブトマリ)漁港 | 標津漁港 | 花咲漁港 |

第二章 議事

第四節 議案

第二款 議案ノ討議

第五項

上奏案及建議案

- | | | |
|--------|-------|-------|
| 紗那漁港 | 羅白漁港 | 落石漁港 |
| 霧多布漁港 | 厚岸漁港 | 昆布森漁港 |
| 昆布荊石漁港 | 廣尾漁港 | 生花苗漁港 |
| 大津港港 | 様似漁港 | 幌泉漁港 |
| 靜内漁港 | 辨邊漁港 | 蘭法華漁港 |
| 森漁港 | 白尻漁港 | 尻岸内漁港 |
| 福山漁港 | 江良町漁港 | 乙部漁港 |
| 平田内漁港 | 熊石漁港 | 釣懸漁港 |
| 瀬棚漁港 | 虻羅漁港 | 永豐漁港 |
| 壽都漁港 | 横潤漁港 | 入舸漁港 |
| 岩内漁港 | 泊漁港 | 神惠内漁港 |
| 余別漁港 | 美國漁港 | 古平漁港 |
| 余市漁港 | 厚田漁港 | 濱益漁港 |

其ノ他必要ナル漁港

右建議ス

右兩案ハ孰レモ十四年三月三日黒住成章君外三名之ヲ提出ス三月二十三日兩案ヲ一括シテ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)議長指名(九名)ノ同一委員ニ付託スルニ決シ即日議長之ヲ指名ス委員ハ翌二十四日委員會ヲ開キ委員長及理事ノ互選ヲ行ヒ審査ノ末各原案ヲ可決スヘキモノト決シ孰レモ翌二十五日報告書ヲ議長ニ提出セリ

即日議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一九三)參看)採用ノ結果委員長ノ報告ヲ省略シテ各原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

一七二 北海道土功組合事業助成ニ關スル建議案

北海道農村ノ疲弊ヲ救濟シ且拓殖ノ促進ヲ圖ルカ爲左記ノ通北海道土功組合事業ヲ助成セラレムコトヲ望ム

一 北海道土功組合高利債ニ對シ低利資金ヲ融通シ其ノ償還年限及据置期間ヲ相當延長セラレタキコト

二 北海道土功組合灌漑溝幹線工事ヲ國費支辨ト爲シ且其ノ他工事ニ對シ開墾助成法ノ補助ト同額ノ補助ヲ與ヘラレタキコト

- 三 北海道士功組合改修工事ニ對シ適當補助ノ途ヲ開カレタキコト
 - 四 北海道泥炭地ノ改良費(客土法實施ノ經費等)ニ對シ補助ヲ與ヘラレタキコト
 - 五 北海道農業移民招徠ニ對シ積極の方策ヲ講セラレタキコト
- 右建議ス

右ハ十四年三月三日松實喜代太君外三名之ヲ提出ス三月二十三日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)黒住成章君外三名提出北海道拓殖促進ニ關スル建議案(一七〇)外一件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末後ニ併セ付託セラレタル小池仁郎君外六名提出北海道士功組合事業助成ニ關スル建議案(二一一)ト併合シテ表題ヲ「北海道士功組合事業助成ニ關スル建議」ニ改メ修正スヘキモノト決シ三月二十五日報告書ヲ議長ニ提出セリ

(委員會報告書)

- 北海道士功組合事業助成ニ關スル建議
- 北海道農村ノ疲弊ヲ救済シ且拓殖ノ促進ヲ圖ルカ爲左記ノ通北海道士功組合事業ヲ助成セラレムコトヲ望ム
- 一 北海道士功組合高利債ニ對シ低利資金ヲ融通シ其ノ償還年限及据置期間ヲ相當延長セラレ

タキコト

- 二 北海道士功組合灌漑溝幹線工事ヲ國費支辨ト爲シ且其ノ他工事ニ對シ開墾助成法ノ補助ト同額ノ補助ヲ與ヘラレタキコト
 - 三 北海道士功組合改修工事ニ對シ適當補助ノ途ヲ開カレタキコト
 - 四 北海道泥炭地ノ改良費(客土法實施ノ經費等)ニ對シ適當ノ補助ヲ與ヘラレタキコト
 - 五 北海道農業移民招徠ニ對シ積極の方策ヲ講セラレタキコト
- 右建議ス

即日議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一九三)參看)採用ノ結果委員長ノ報告ヲ省略シテ委員會報告ノ通修正議決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

一七三 北海道治水ニ關スル建議案

政府ハ北海道ノ左記河川ニ對シ速ニ治水ノ根本計畫ヲ確立シ之カ遂行ヲ期セラレムコトヲ望ム

- 石狩川
- 豊平川
- 江別川
- 夕張川
- 千歳川
- 雨龍川

空知川 忠別川 美瑛川
 十勝川 利別川(十勝國) 札内川
 音更川 天鹽川 名寄川
 釧路川 湧別川 網走川
 渚滑川 沙流川 鵝川
 後志川 利別川(後志國) 留萌川
 其ノ他重要ナル河川

右建議ス

一七四 北海道鐵道速成ニ關スル建議案
 北海道開發ノ完成ヲ促シ刻下帝國ノ痛切ナル要望ニ策應スルカ爲左記鐵道ニ對シ特別敷設計畫ヲ策立シ速ニ之カ完成ヲ期セラレムコトヲ望ム

深川、兩龍間鐵道 留萌、羽幌間鐵道
 釧路、網走間鐵道 函館、釜石間鐵道
 國縫、瀨棚間鐵道 菱川、標茶間鐵道

札幌、沼田間鐵道 上磯、木古内間鐵道
 帶廣、廣尾間鐵道 函館、釜石間鐵道
 木古内、江差間及木古内、福山間鐵道 八雲、利別間鐵道
 京極、紋籠間鐵道(喜茂別、壯瞥經由) 京極、壯籠間鐵道(ルスツ經由)
 苫小牧、廣尾間鐵道(鵝川、浦河經由) 金山、鵝川間及ヘンケオロoppナイ登川間鐵道
 札幌、増毛間鐵道(石狩經由) 比布、愛別間鐵道
 ルベシベ、瀧ノ上間鐵道 高江、帶廣間鐵道
 上土幌、ルベシベ間鐵道 芽室、トムラウシ間鐵道
 名寄、羽幌間鐵道(雨龍經由) 羽幌、下沙流別間鐵道(天鹽經由)
 興部、濱頓別間鐵道(幌別、技桑經由)及 留邊蘂、伊頓武華間鐵道
 幌別、小頓別間、中湧別、網走間(常呂經由) 厚床、斜里間鐵道(標津經由)
 釧路、相生間鐵道
 其ノ他必要ナル鐵道
 右建議ス

右兩案ハ孰レモ十四年三月三日岡田伊太郎君外三名之ヲ提出ス三月二十三日日本案ヲ院議ニ付シ提

出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)兩案ヲ一括シ黑住成章君外三名提出北海道拓殖促進ニ關スル建議案(一七〇)外二件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末各原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十五日報告書ヲ議長ニ提出セリ

即日議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一一四)參看)採用ノ結果委員長ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

一七五 國民諧和ニ關スル建議案

政府ハ所謂部落問題ノ現狀ニ鑑ミ之カ解決ヲ期スル爲地方改善事業ニ關シ確乎タル方策ヲ定メ益積極的ノ施設ヲ講シ以テ國民諧和ノ實ヲ舉クヘクカヲ致サレムコトヲ望ム
右建議ス

右ハ十四年三月三日有馬賴寧君之ヲ提出ス

三月二十九日提出者ヨリ撤回ノ申出アリ院議之ヲ許可スルニ決ス

一七六 元西伯利居民ニ對シ資金融通ニ關スル建議案

帝國政府ハ勞農露西亞トノ間ニ修交條約ヲ締結セル今日西伯利其ノ他ノ露領ニ對テ通商貿易拓殖企業ノ計畫ニ著手セムトスル元西伯利居民ニ對シ適當ノ方法ヲ以テ資金融通ノ途ヲ開キ對露産業振興ノ實ヲ舉ケ國家國民生活ノ安定ヲ期セラレムコトヲ望ム
右建議ス

右ハ十四年三月三日寺島權藏君外十三名之ヲ提出ス三月二十三日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)松山常次郎君提出吉會線本契約締結促進ニ關スル建議案(一五九)委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十五日報告書ヲ議長ニ提出セリ

即日議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一九三)參看)採用ノ結果委員長ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

一七七 入郎湖ヲ中心トスル國立公園設置ニ關スル建議案

勤王家賴氏ノ嘆美セシ男鹿半島ノ風光ノ大陸的タルコトハ松島ノ女性的ナルニ比シ深翠男鹿三山ノ靈峰ニ映シテ紺碧ノ日本海鞏嶺澎湃巖怒リ水吼ユル男性的ノ風景ハ北日本獨特ノ誇トスル

所タリ而シテ今ヤ交通機關或ハ旅客ヲ收容歡待スル旅館ノ設備等遺漏ナク殊ニ冬季ノ「スキー」
「スケート」ニハ他ノ追従ヲ許ササル絶好ノ適地ニシテ雪ヲ征服且利用スル趣旨ニ於テ輓近帝都
方面ヨリ同好者ノ陸續トシテ來ル蓋國民的剛健實質ノ氣風ヲ涵養スル方針トシテ又日露國交克
復ノ今日旅客是レヨリ漸次ニ増加セムトスル時北部日本ニ於ケル此ノ地ニ國立公園ヲ設置セラ
レムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十四年三月三日信太儀右衛門君外六名之ヲ提出ス三月二十三日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣
旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)鈴木隆君外四名提出國立公園調查會設置ニ關スル建議案(一)
外八件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十五日報
告書ヲ議長ニ提出セリ

即日議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一九三)參看)採用ノ結果委員長
ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

一七八 日本海沿岸鐵道完成ニ關スル建議案

日本海沿岸鐵道即チ滋賀縣米原驛ヲ基點トシテ北陸線ニ入り福井石川富山ノ三縣ヲ過キ新潟縣
柏崎驛ヨリ越後鐵道ヲ利用シテ新潟ニ至リ同市ヨリ新發田ニ至ル鐵道ヲ敷設シテ羽越線ニ連絡
シ鶴岡酒田ヲ通過シテ秋田ニ至リ奥羽線ニ連絡シテ青森ニ至ル所謂日本海沿岸鐵道ハ新潟ヨリ
新發田ニ至ル約十七哩ノ鐵道敷設ナキ爲其ノ完成ヲ見ルニ至ラス日本海沿岸鐵道ノ天職ヲ發揮
スルコト能ハサルハ鐵道經營上遺憾尠シトセス依テ政府ハ速ニ之カ完成ヲ企畫セラレムコトヲ
望ム

右建議ス

右ハ十四年三月三日松井郡治君外十二名之ヲ提出ス三月二十三日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨
辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)清水留三郎君外四名提出大間々長野原間鐵道建設ニ關スル建議
案(一八)外三十一件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三
月二十五日報告書ヲ議長ニ提出セリ

即日議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一九三)參看)採用ノ結果委員長
ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

一七九 農業保險ニ關スル建議案

農業ノ經營ニ當リ人爲ヲ以テ避クルニ由ナキ天變地異ニ基キ不慮ノ損害ヲ被ルコト必シモ稀ナリトセヌ一朝斯種ノ災害ニ遭遇スレハ雷ニ積日ノ勞費ヲ水泡ニ歸シ農家ノ經濟ヲ破壞スルニ止マラス延テ農村ノ振興ヲ阻止シ地方ノ安定ヲ喪失ス農業ハ利潤ニ乏シト雖堅實性ニ富メルヲ特色トスルニ拘ラス如上ノ災害ニ依リテ其ノ特色ヲ失墜スルカ如キハ努メテ之ヲ防止スルノ要アリ況ヤ農業ノ堅實ト安固ヲ期シ其ノ進歩ト發達トヲ圖ルハ帝國ノ現狀ニ鑑ミ頗ル必要ナルニ於テオヤ災害地免租ノ制度アリト雖斯種ノ損失ヲ償フニ足ラサルヤ太々遠シト謂ハサルヘカラス仍テ政府ハ速ニ農業保險ニ關スル制度ヲ確立シ農作物家畜農具農家ノ建物及山林ノ木竹ニ對スル被保險ノ希望ニ應シ簡易ナル方法ト低率ナル料金を以テスル保險ノ實施アラムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十四年三月三日小西和君外二名之ヲ提出ス三月二十三日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)荒川五郎君外十五名提出農村振興ニ關スル建議案(七六)外三件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十四日報告書ヲ議長ニ提出セリ

即日議事日程ニ追加シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一一四)參看)採用ノ結果委員長ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

一八〇 榮養生食糧ノ取締及獎勵ニ關スル建議案

我カ國民ノ主食糧タル米麥ハ現下殆ト全ク混砂搗精シタルモノニシテ爲ニ質ニ於テ大ニ其ノ榮養價值ヲ減耗シ又之ニ伴フテ生スル量ノ損失モ少カラス且衛生上其ノ害アルコト等ハ學理ニ實驗ニ既ニ明白ナルヲ以テ政府ハ速ニ混砂搗精ヲ禁止シテ之カ取締ノ法ヲ設ケ又國民一般ヲシテ保健榮養ニ適スル半搗米麥食ヲ常用セシムルヤウ之カ獎勵ノ道ヲ講セラルヘシ

右建議ス

右ハ十四年三月五日荒川五郎君外六名之ヲ提出ス三月二十三日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)加藤鯛一君提出生計調査ニ關スル建議案(九八)委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十五日報告書ヲ議長ニ提出セリ即日議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一九三)參看)採用ノ結果委員長ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

一八一 町村長優遇ニ關スル建議案

町村長ハ自治ノ中心指導者トシテ地方開發ニ貢獻スル所尠カラサルハ何人モ之ヲ認ムル所ナリ
然ルニ之ニ對スル國家ノ優遇未タ甚タ到ラサルノ憾アリ今ヤ郡役所ノ廢止モ近キニ迫リ其ノ責
任一層重キヲ加フ國家ハ須ラク其ノ優遇法ヲ制定シ數期ニ互リテ其ノ職ヲ繼續セル者ニ對シテ
ハ位勳ヲ以テ之ヲ表彰スルノ途ヲ開カレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十四年三月五日山田道兄君之ヲ提出ス三月二十三日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辨明ヲ省
略シ(本項(一四〇)參看)千葉宮次郎君外三名提出警察費國庫下渡金連帶支辨規定ニ關スル建議案
(七九)外三件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二
十四日報告書ヲ議長ニ提出セリ

翌二十五日本案ヲ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一六四)參看)採用ノ結果委員長ノ報告
ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

一八二 七尾港ニ露國領事館設置ニ關スル建議案

七尾港ニ露國領事館ヲ設置スヘク相當ノ處置ヲ取ラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十四年三月五日佐藤實君之ヲ提出ス三月二十三日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辨明ヲ省略
シ(本項(一四〇)參看)山本厚三君外六名提出小樽港ニ露國領事館設置ニ關スル建議案(六三)外四
件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十四日報告書
ヲ議長ニ提出セリ

即日議事日程ニ追加シテ院議ニ付シ作間耕逸君ノ動議(本項(一一四)參看)採用ノ結果委員長ノ報
告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

一八三 京都高等蠶業學校ニ製絲科設置ニ關スル建議案

京都高等蠶業學校ハ其ノ設備次第ニ完成ニ近ツキツツアリト雖獨リ製絲科ノ設置ヲ缺ケルハ頗
ル遺憾トスル所ナリ政府ハ我カ國蠶業界ノ趨勢ヲ察シ製絲ニ關スル高等教育充實ノ爲ニ速ニ同
校ニ製絲科ヲ設置シ以テ時世ノ要望ニ對應セムコトヲ望ム

第二章 議事 第四節 議案 第二款 議案ノ討議 第五項 上奏案及建議案

右建議ス

右ハ十四年三月五日川崎安之助君外一名之ヲ提出ス三月二十三日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)武藤金吉君外六名提出蠶絲局設置ニ關スル建議案(一〇八)外四件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十四日報告書ヲ議長ニ提出セリ

即日議事日程ニ追加シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一一四)參看)採用ノ結果委員長ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

一八四 土地區劃整理ノ方法改善ニ關スル建議案

大震火災ノ中心タル東京市ニ於テハ爾來漸ク其ノ復舊ヲ見ルニ至リタレトモ復興事業ノ中土地區劃整理ノ進捗セサルハ畢竟其ノ方法市民ノ實生活ニ適セス實施上ノ困難ト市民ノ損失甚大ナルニ因ル今ヤ財界ハ益不況ニ沈滞シ罹災民ノ生活一層ノ安定ヲ缺キ復興ノ前途寒心ニ堪ヘサルモノアリ仍テ政府ハ其ノ實況ニ鑑ミ整理施設ノ未タ進捗セサル今日ニ於テ幹線道路橋梁等ハ別トシ其ノ他ハ主トシテ市民ヲシテ自治的ニ決定セシムル等其ノ方法ニ適當ノ改正ヲ加ヘ以テ復

興ニ善處セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十四年三月五日作間耕逸君外八名之ヲ提出ス三月二十三日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)横山勝太郎君外八名提出新橋驛復舊ニ關スル建議案(一六六)委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十四日報告書ヲ議長ニ提出セリ

即日議事日程ニ追加シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一一四)參看)採用ノ結果委員長ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

一八五 東京灣築港速成ニ關スル建議案

東京灣築港ヲ速ニ完成セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十四年三月五日日本田義成君外一名之ヲ提出ス三月二十三日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯

明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)横山勝太郎君外三名提出新橋驛復舊ニ關スル建議案(一六六)外一件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十四日報告書ヲ議長ニ提出セリ

即日議事日程ニ追加シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一一四)參看)採用ノ結果委員長ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

一八六 東京帝國大學農學部附屬農業教員養成所獨立ニ關スル建議案

農業教育ノ普及徹底ヲ圖ルハ我カ國內外ノ情勢ニ鑑ミ最喫緊ノコトニ屬シ之カ爲ニハ優良ナル教員ノ養成ヲ以テ其ノ根本ト爲ス仍テ政府ハ速ニ東京帝國大學農學部附屬農業教員養成所ヲ獨立シ其ノ充實ヲ講シ以テ農村教育振興ノ實ヲ舉クヘシ
右建議ス

右ハ十四年三月五日山本慎平君外一名之ヲ提出ス三月二十三日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)山耕儀重君外二名提出教育ノ機會均等ニ關スル建議案(一一)外十六件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末後ニ併セ付託セラレタル有馬頼寧君外五名提出

東京帝國大學農學部附屬農業教員養成所獨立ニ關スル建議案(一八七)ト併合シテ表題ヲ「東京帝國大學農學部附屬農業教員養成所獨立ニ關スル建議」トシ修正スヘキモノト決シ三月二十五日報告書ヲ議長ニ提出セリ

(委員會報告書)

東京帝國大學農學部附屬農業教員養成所獨立ニ關スル建議

農業教育ノ普及徹底ヲ圖ルハ我カ國內外ノ情勢ニ鑑ミ最喫緊ノコトニ屬シ之カ爲ニハ優良ナル教員ノ養成ヲ以テ其ノ根本ト爲ス仍テ政府ハ速ニ東京帝國大學農學部附屬農業教育養成所ヲ獨立シ其ノ充實ヲ講シ以テ農村振興ノ實ヲ舉クヘシ
右建議ス

即日議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一九三)參看)採用ノ結果委員長ノ報告ヲ省略シテ委員會報告ノ通修正議決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

一八七 東京帝國大學農學部附屬農業教員養成所獨立ニ關スル建議案

農業教育ノ普及徹底ヲ圖ルハ我カ國內外ノ情勢ニ鑑ミ最喫緊ノコトニ屬シ之カ爲ニハ優良ナル

教員ノ養成ヲ以テ其ノ根本ト爲ス仍テ政府ハ速ニ東京帝國大學農學部附屬農業教員養成所ヲ獨立シ其ノ充實ヲ講シ以テ農村教育振興ノ實ヲ舉クヘシ
右建議ス

右ハ十四年三月五日有馬賴寧君外五名之ヲ提出ス三月二十三日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)山枏儀重君外二名提出教育ノ機會均等ニ關スル建議案(一一)外十七件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末(一八六)ト併合シテ修正スヘキモノト決シ三月二十五日報告書ヲ議長ニ提出セリ
(委員會竝議事ノ經過及結果ハ本項(一八六)參看)

一八八 古社寺保存費増額ニ關スル建議案

政府ハ古社寺保存法制定ノ主旨ニ鑑ミ古社寺保存費ノ増額ヲ計リ以テ保存ノ目的ヲ徹底セシムルニ努メラレムコトヲ望ム
右建議ス

右ハ十四年三月五日八田宗吉君外一名之ヲ提出ス三月二十三日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)森田茂君外七名提出孝明天皇ノ神宮造營ニ關スル建議案(一四一)

委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十四日報告書ヲ議長ニ提出セリ

即日議事日程ニ追加シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一一四)參看)採用ノ結果委員長ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

一八九 福相鐵道速成ニ關スル建議案

本鐵道ハ福島縣福島ヲ起點トシ伊達郡保原梁川及宮城縣丸森金山大内ノ一市五町村ヲ經由シ相馬郡中村ニ達シ以テ東北本線及奥羽線ト海岸線トヲ聯絡セシムルモノニシテ産業ノ開發竝文化國防上極メテ切要ナル線路ナリ依テ政府ハ速ニ其ノ敷設ニ著手セラレムコトヲ望ム
右建議ス

右ハ十四年三月五日八田宗吉君外一名之ヲ提出ス三月二十三日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)清水留三郎君外四名提出大間々長野原間鐵道建設ニ關スル建議案(一八)外三十三件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末(一四六)案ト併合シテ修正スヘキモノト決シ三月二十五日報告書ヲ議長ニ提出セリ

(委員會議事ノ經過及結果ハ本項(一四六)參看)

一九〇 金澤市ニ高等師範學校設置ニ關スル建議案

石川縣金澤市ニ高等師範學校ヲ設置セラレムコトヲ望ム
右建議ス

右ハ十四年三月六日鈴木隆君外一名之ヲ提出ス三月二十三日日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)佐々木春作君外三名提出高等師範學校設置ニ關スル建議案(八〇)外五件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末後ニ併セ付託セラレタル佐藤實君外四名金澤市ニ高等師範學校設置ニ關スル建議案(二二二)ト併合シテ表題ヲ「金澤市ニ高等師範學校設置ニ關スル建議」ニ改メ修正スヘキモノト決シ三月二十四日報告書ヲ議長ニ提出セリ
(委員會報告書)

金澤市ニ高等師範學校設置ニ關スル建議案
石川縣金澤市ニ高等師範學校ヲ設置セラレムコトヲ望ム
右建議ス

即日議事日程ニ追加シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一一四)參看)採用ノ結果委員長ノ報告ヲ省略シテ委員會報告ノ通修正議決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

一九一 福井縣三國港築港竝竹田川改修ニ關スル建議案

曩ニ第四十回乃至第四十二回議會ニ互リ三度本院ヨリ建議シタル福井縣三國港ノ築港竝之ト關聯シテ縣下ノ一大河川タル竹田川及其ノ支流兵庫川ノ改修ハ農村ノ困憊慘狀ヲ救済シ産業發展ノ上ニ於テ緊切急要ナルヲ認ム依テ政府ハ速ニ調査ヲ遂ケ之カ築港竝改修ノ工ヲ遂行セラレムコトヲ望ム
右建議ス

右ハ十四年三月七日熊谷五右衛門君之ヲ提出ス三月二十三日日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)佐藤富十郎君外六名提出福島縣相馬郡松川浦ニ避難港修築ニ關スル建議案(一四九)委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十四日報告書ヲ議長ニ提出セリ

即日議事日程ニ追加シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一一四)參看)採用ノ結果委員長ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

一九二 國立公園調査ニ關スル建議案

國立公園ノ建議案ハ幾十ヲ以テ數フルニ至レルモ未タ實行ヲ見サルハ遺憾トスル所ナリ播州ノ沿岸ハ松ノ名所ニシテ奇松靈松龍躍リ虎嘯クノ趣キアリ高砂尾上ハ謠曲ノ名所トシテ世世喧傳セラレ別府曾根阿閉二見ノ如キ松影海ニ映シテ魚枝間ニ躍ル一度石ノ室殿ニ賽セハ觀潮ノ絶景一眸ニ集マリ孤帆夕陽ニ棹シ詩趣徐ニ湧ク而モ尾上濱ノ宮ノ松林ハ既ニ天下無比ノ公園タリ刀田山鶴林寺ハ千五百年ノ大伽藍ニシテ聖德太子ノ宏業ヲ欽慕シ國寶トシテ尊崇セラレタルモノ現存ス加之加古印南兩郡ノ如キハ歴史ニ由緒多ク皇祖神武帝ノ大和ニ御聖狩ノ砌リハ此ノ地上陸アラセラレテ行旅ヲ整ヘサセラレタリ人皇十二代景行帝ノ皇跡及同皇妃ノ御陵ハ今尙民衆ノ敬慕セル所其ノ皇子日本武尊ハ尾上郷ニ降誕アラセラレ神功皇后征韓ノ途亦此ノ地ニ駐輦アラセタル等其ノ古蹟尠カラス國寶尾上ノ鐘ノ如キハ神功皇后ノ韓國ヨリ御持歸リ賜ヒシ靈鐘タリ菅原道真ノ太宰權帥トシテ流鎬セララルヤ二見濱宮曾根ニ船ヲ寄セラレ其ノ景勝ニ心ヲ慰藉セラレタリ今其ノ地ニ壯嚴ナル祀殿アリ賽者跡ヲ絶タス神鈴櫓聲ト相和シテ神威心靈ニ徹ス加

古川町附近ニハ七騎塚アリ織豊時代ノ三木城ハ北瞰スヘク志方野口ノ城趾亦一眸中ニアリ法徳天下ニ洽キ教眞上人ハ野口ノ出ニシテ天竺徳兵衛工樂松右衛門ハ高砂ヨリ出テ増本忠兵衛ハ二見港ヲ創始シ今里傳兵衛又阿閉村ヲ開拓セリ別府ノ瓢水ハ俳諧ヲ以テ天下ニ鳴ル實ニ加印兩郡ハ史跡ニ富メルノミナラス偉人傑士ノ輩出シタルノ地ナリ實ニ四里四方ニ互ルノ大平野ニシテ管ニ農耕ニ適スルノミナラス又工業殷盛ノ地ナリ明治大帝及 今上陛下ハ大貔貅ヲ變ハシタル所ニシテ御野立所各處ニアリテ御盛徳ト御稜威ヲ敬慕セサルモノナシ一度此ノ地ニ足ヲ入レムカ民心作興忠愛ノ念勃如シテ油然湧起セサルモノナシ是レ國立公園トシテ適切ノ地タルヲ知ル殊ニ交通ノ便ナル四十分ニシテ神戸ニ達スヘク三十分ニシテ姫路ニ著シ得ヘシ設備ノ完全タル明姫電鐵ハ貫通セリ少シ國庫ノ力ヲ加フレハ世界的ノ大公園トシテ誇ルニ足ルヘク内外旅客ヲ慰メラルヘシ財政困難ノ故ヲ以テ人世必要ナル此ノ舉ヲ而モ僅ノ費用ニテ足ルヘキ事業ヲ自然ニ拋棄スヘキニ非ス依テ相當ナル調査ヲ遂ケ國營セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十四年三月七日多木久米次郎君之ヲ提出ス三月二十三日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一一〇)參看)鈴木隆君外四名提出國立公園調査會設置ニ關スル建議案(八一)外九

件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十五日報告書ヲ議長ニ提出セリ

即日議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一九三)參看)採用ノ結果委員長ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

一九三 北海道甜菜糖業補助法制定ニ關スル建議案

北海道ニ於ケル甜菜糖業ハ國家有望ノ大産業ナルノミナラス之カ發展ハ農村ヲ振興スルニ於テ最大ノ效果アリ然ルニ今猶草創ニ屬スルヲ以テ農工孰レモ困憊ノ状態ニアルヲ觀ル政府ハ斯業ノ現状ニ鑑ミ速ニ北海道甜菜糖業補助法ヲ制定シ當面ノ難境ヲ救済スルト同時ニ進ムテ將來ノ發展ヲ策シ拓殖ノ進捗ト國産ノ安定ヲ期セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十四年三月七日小池仁郎君外十名之ヲ提出ス三月二十三日日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)小池仁郎君外一名提出廣尾港修築速成ニ關スル建議案(一二三)外四件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十五日報告

書ヲ議長ニ提出セリ

即日作間耕逸君ハ左ノ動議ヲ提出ス

議事日程變更ニ關スル緊急動議ヲ提出致シマス、即チ是ヨリ讀上ゲマスル建議案八十二件ノ委員長報告ヲ此際特ニ一括議題ト爲シ、委員長ノ報告ハ特ニ書面ニ譲リ、其趣旨辯明及討論ヲ省略シテ、總テ委員長報告ノ通り可決セラレンコトヲ望ミマス

院議之ヲ採用ノ結果議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ委員長ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

一九四 北陸ニ國立倉庫設置ニ關スル建議案

北陸地方ハ本邦主要ノ米產地ナリ政府ハ此ノ地方ニ於テ海陸交通至便ナル適當ノ地ヲ選定シテ國立倉庫ヲ設置シ米ノ買上貯藏及配給ニ資セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十四年三月七日寺島權藏君外二名之ヲ提出ス三月二十三日日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)議長指名(九名)ノ委員ニ付託スルニ決シ即日議長之ヲ指名ス委員ハ二十四日委員會ヲ開キ委員長及理事ノ互選ヲ行ヒ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ翌二十

五日報告書ヲ議長ニ提出セリ

即日議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一九三)參看)採用ノ結果委員長ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

一九五 富山縣ニ鐵道局設置ニ關スル建議案

昨年六月羽越線開通シテ裏日本ノ幹線ハ茲ニ完全ニ貫通シ近畿中國地方ト東北北海道トノ交通ハ極メテ密接頻繁ト爲リ又近ク飛越線モ開通スヘキヲ以テ政府ハ此ノ幹線ノ中央ニシテ飛越線ノ起點タル富山縣ニ鐵道局ヲ設置シ其ノ運輸連絡ノ圓滑ヲ期セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十四年三月七日寺島權藏君外一名之ヲ提出ス三月二十三日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)寺島權藏君外二名提出北陸ニ國立倉庫設置ニ關スル建議案(一九四)委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十五日報告書ヲ議長ニ提出セリ

即日議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一九三)參看)採用ノ結果委員長

ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

一九六 魚津漁港兼避難港修築ニ關スル建議案

富山縣魚津港ハ漁港兼避難港トシテ修築ノ必要アリ政府ハ宜シク之カ速成ヲ期セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十四年三月七日寺島權藏君之ヲ提出ス三月二十三日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)寺島權藏君外二名提出北陸ニ國立倉庫設置ニ關スル建議案(一九四)外一件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十五日報告書ヲ議長ニ提出セリ

即日議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一九三)參看)採用ノ結果委員長ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

一九七 防石鐵道買收決定ニ關スル建議案

本州九州間ノ聯絡並山陰地方ヨリ南下スル貨客ノ便ヲ計ラムトスルニハ山口縣德佐ヨリ中ノ關港ニ至ル鐵道ヲ速成スルニアリ而シテ現ニ堀三田尻間ハ防石鐵道株式會社ノ私設鐵道開通セシト雖堀德佐間及三田尻中ノ關間ハ未成ニシテ其ノ建設ヲ今日ノ如ク一私設會社ニ委ヌルトキハ容易ニ開通ヲ見ル能ハス隨テ斯ノ如キハ本線ノ主要目的ヲ達スル所以ノ途ニ非ス政府ハ速ニ本鐵道會社全線ヲ買收シ且其ノ未成線ノ建設促進ヲ計ラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十四年三月七日兒玉右二君之ヲ提出ス三月二十三日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)清水留三郎君外四名提出大間々長野原間鐵道建設ニ關スル建議案(一八)外三十四件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十五日報告書ヲ議長ニ提出セリ

即日議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一九三)參看)採用ノ結果委員長ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

一九八 恩給法中教育職員ニ關スル事項改正ニ關スル建議案

恩給法ニ依ルトキハ教育職員ニシテ一般官吏ニ轉シタル者教育職員及準教育職員中其ノ在職年ノ通算又ハ恩給加給ノ割合ニ關シ比較的不利益ナル者アリ斯ノ如キハ斯界ニ優良ナル人物ヲ招致シ永ク教育事業ニ從事セシメ以テ教育ノ改善發達ヲ促ス所以ニ非スト認ム仍テ政府ハ恩給法中左ノ事項ニ關シ相當改正セラレムコトヲ望ム

- 一 教育職員ヨリ一般官吏ニ轉シタル者ノ在職年ハ之ヲ通算スルコト
- 二 師範學校ノ訓導及保姆ノ勤續在職年十五年以上ノモノアルトキハ其ノ勤續在職年中十五年ヲ控除シタル殘ノ勤續年一年ニ付退職當時ノ俸給年額ノ百五十分ノ一ノ割合ヲ以テ恩給ヲ加給スルコト

三 準教育職員中市町村立小學校ノ准教員ニシテ引續キ教育職員トシテノ就職ニ接續スル其ノ勤續年月數ハ之ヲ全部教育職員ノ勤續在職年ニ通算スルコト

右建議ス

右ハ十四年三月七日加藤知正君外三名之ヲ提出ス三月二十三日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)山杣儀重君外二名提出教育ノ機會均等ニ關スル建議案(一一)外十八件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十五日報告

書ヲ議長ニ提出セリ

即日議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一九三)參看)採用ノ結果委員長ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

一九九 北海道拓殖銀行資金充實ニ關スル建議案

北海道拓殖銀行ニ割増附債券發行ノ特權ヲ與ヘ資金ノ充實ト貸付利率ノ低下ヲ圖リ且政府ノ低利資金ヲ潤澤ニ各方面ニ供給シ以テ產業ノ振興ヲ助成セラレムコトヲ望ム
右建議ス

右ハ十四年三月七日松實喜代太君外三名之ヲ提出ス三月二十三日日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)黒住成章君外三名提出北海道拓殖促進ニ關スル建議案(一〇七)外四件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十五日報告書ヲ議長ニ提出セリ
即日議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一九三)參看)採用ノ結果委員長ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

二〇〇 御料拂下地免租年期ニ關スル建議案

北海道ニ於ケル御料地ニシテ拂下ニ依リ民有ニ歸シタル土地ニ對シ北海道國有未開地處分法及大正七年法律第四十三號地種變更免租年期ニ關スル法律ニ準シ相當期間免租年期ヲ付與セラレムコトヲ望ム
右建議ス

右ハ十四年三月七日東武君外三名之ヲ提出ス三月二十三日日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)黒住成章君外三名提出北海道拓殖促進ニ關スル建議案(一七〇)外五件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十五日報告書ヲ議長ニ提出セリ
即日議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一九三)參看)採用ノ結果委員長ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

二〇一 鴛泊漁港修築ニ關スル建議案

第二章 議事 第四節 議案 第二款 議案ノ討議 第五項 上奏案及建議案

政府ハ北海道利尻郡鴛泊漁港修築工事ヲ急速ニ實施セラレムコトヲ望ム
右建議ス

右ハ十四年三月七日淺川浩君外六名之ヲ提出ス三月二十三日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明
ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)小池仁郎君外一名提出廣尾港修築速成ニ關スル建議案(一二三)外五
件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十五日報告書
ヲ議長ニ提出セリ

即日議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一九三)參看)採用ノ結果委員長
ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

二〇二 高山富山間鐵道速成ニ關スル建議案

政府ハ目下建設中ノ高山富山間鐵道ヲ速成シ交通最不便ナル高山地方ト日本海方面ノ連絡ヲ計
リ國運ノ發展ニ資セラレ度尙該鐵道ハ多年政府ノ口約ニ基キ高山岐阜間及富山高山間ノ鐵道ト
同時ニ建設落成スヘク之カ實行アラムコトヲ望ム
右建議ス

右ハ十四年三月七日野村嘉六君外六名之ヲ提出ス三月二十三日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯
明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)清水留三郎君外四名提出大間々長野原間鐵道建設ニ關スル建議案
(一八)外三十五件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月
二十五日報告書ヲ議長ニ提出セリ
即日議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一九三)參看)採用ノ結果委員長
ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

二〇三 高等蠶絲學校建設ニ關スル建議案

政府ハ高等蠶絲學校ヲ兵庫縣下養父郡八鹿町ニ建設セラレムコトヲ望ム
右建議ス

右ハ十四年三月十日齋藤隆夫君外三名之ヲ提出ス三月二十三日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯
明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)武藤金吉君外六名提出蠶絲局設置ニ關スル建議案(一〇八)外五件
委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十四日報告書ヲ

議長ニ提出セリ

即日議事日程ニ追加シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一一四)參看)採用ノ結果委員長ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

二〇四 農會法中改正ニ關スル建議案

農會法中特別議員ノ規定ニ適當ノ改正ヲ加ヘ以テ行政官廳カ特別議員ノ任命ニ依テ民選議員ヲ壓迫シ農會ヲ左右スルノ弊ヲ除カレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十四年三月十日高田耘平君外四名之ヲ提出ス三月二十三日日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)荒川五郎君外十五名提出農村振興ニ關スル建議案(七六)外四件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ翌二十四日報告書ヲ議長ニ提出セリ

即日議事日程ニ追加シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一一四)參看)採用ノ結果委員長ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

二〇五 松本糸魚川間鐵道速成ニ關スル建議案

一 篠ノ井線松本ヨリ北陸線糸魚川ニ達スル鐵道

右鐵道ハ中央北陸兩線連絡ノ捷路線タリ故ニ本線ノ速成ハ交通及産業發達上最必要ナルハ疑ヲ容レズ政府ハ速ニ本線建設ヲ起セラレ地方富源ヲ開發シ國家經濟ノ發達ヲ圖ラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十四年三月十日高鳥順作君之ヲ提出ス三月二十三日日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)清水留三郎君外四名提出大間々長野原間鐵道建設ニ關スル建議案(一八)外三十六件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十五日報告書ヲ議長ニ提出セリ

即日議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一九三)參看)採用ノ結果委員長ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

二〇六 陸軍現役除隊者ニ軍服支給復活ニ關スル建議案

第二章 議事 第四節 議案 第二款 議案ノ討議 第五項 上奏案及建議案

今ヤ我カ帝國ノ軍制ハ整理改革ヲ實行セラレツアルノ秋ニ際シ國軍ノ中堅タリ將又國民ノ中堅タル在郷軍人ノ責務ハ愈重且大ナルヲ加フルニ至レリ而シテ在郷軍人ノ大部分ハ中産階級以下ニ屬シ在營期間中ハ代表的ニ國家ノ爲ニ奉仕シ其ノ歸郷スルヤ更ニ一層多クノ事業ヲ犠牲的ニ奉仕シツアリ即チ國防ノ大任ヲ負フ關係上軍人精神ノ鍛練軍事能力ノ増進ハ勿論救援救護日警備等平時ノ出來事ニハ必ス率先出動スルニ當リ是等在郷軍人カ軍服ヲ著用スルト然ラサルトハ其ノ任務遂行上將地方人ノ信賴上志氣ノ振否ニ關係スル所至大ナリ翻テ之ヲ既往現在ニ徵スルニ日露戰役以前ニ在テハ除隊者ニ古品軍服ヲ支給サレタルモ其ノ後軍備擴張ニ伴ヒ經費節減ノ爲遂ニ軍服支給ヲ廢止セララルニ至レリ從テ自費ヲ以テ著用スル者殆ト稀ニシテ在郷軍人ノ志氣頓ニ衰ヘタルノ感アリシカ大正八年全國在郷軍人聯合分會長ヲ東京ニ召集セラルルヤ時ノ陸軍大臣田中大將閣下ヲ議長トシテ協議會ヲ開催シ全國聯合分會長ハ異口同音ニ軍服支給ヲ絶叫シタル結果大正九年度ヨリ再ヒ軍服支給ヲ實現サレ在郷軍人ハ勿論地方人士モ大ニ之ヲ喜ヒ在郷軍人ノ志氣ヲ挽回振興シタルノ感アリシモ僅ニ三年ニシテ又又之ヲ廢止スルノ止ムナキニ至リタルハ國家經濟上已ムヲ得サルニ出テシトハ謂ヒナカラ實ニ遺憾ナリト謂フヘシ近時在郷軍人カ在郷軍服ヲ著用スルノ機會誠ニ多ク上司ヨリノ獎勵モアリ且著用スル必要ヲ痛感シ居ルモ如何セム中産階級以下ノ者ニ私費ヲ以テ調製スルコトハ情ニ於テ強フヘキニ非ス然ルニ海軍

ハ支給セラレアルモ獨リ陸軍ノミ支給ナキハ不合理ニシテ國費多端ナルヲ以テ支給セサルトセハ物質上ノ損害ヨリモ精神上ノ損害ニ及ホスコト大ナリ若新調品ニシテ困難ナリトセハ適當ナル古品ニテモ忍フ所ナリ斯ノ如ク陸軍現役除隊者ニ對シ軍服支給ハ在郷軍人ノ優遇及志氣ノ振興上急務中ノ急務ナリトス依テ一日モ早ク之カ實現セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十四年三月十日高鳥順作君之ヲ提出ス三月二十三日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)中林友信君外十名提出金鷄勳章年金令改正ニ關スル建議案(一)外四件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十四日報告書ヲ議長ニ提出セリ

即日議事日程ニ追加シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一一四)參看)採用ノ結果委員長ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日政府ニ呈出セリ

二〇七 開墾助成ニ關スル建議案

開墾助成法實施以來ノ成績ト我カ國耕地面積ノ減少ノ狀況トニ鑑ミ政府ハ速ニ(一)該法ニ適當

ノ改正ヲ行ヒ尙(二)低利資金ノ融通ニ就キ特別ノ考慮ヲ拂ハレムコトヲ望ム
右建議ス

右ハ十四年三月十日荒川五郎君外九名之ヲ提出ス三月二十三日日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)荒川五郎君外十五名提出農村振興ニ關スル建議案(七六)外五件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十四日報告書ヲ議長ニ提出セリ

即日議事日程ニ追加シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一一四)參看)採用ノ結果委員長ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

二〇八 庄原區裁判所管轄區域變更ニ關スル建議案

庄原區裁判所ノ現在管轄スル土地ノ上ニ左記町村ヲ變更編入セラレムコトヲ望ム

廣島縣甲奴郡

同縣神石郡ノ内

高光村

永渡村

古川村

(以上福山區裁判所管轄)

同縣比婆郡ノ内

口南村

口北村

上高野山村

下高野山村

(以上三次區裁判所管轄)

右建議ス

右ハ十四年三月十日渡邊伍君外二名之ヲ提出ス三月二十三日日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明

ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)關直彦君外四名提出法律事務取扱ニ關スル建議案(第四項第二(一

四)外三件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十四

日報告書ヲ議長ニ提出セリ

即日議事日程ニ追加シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一一四)參看)採用ノ結果委員長

ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

二〇九 新舞鶴港ノ商港指定ニ關スル建議案

京都府加佐郡新舞鶴港ヲ商港ニ指定セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十四年三月十二日村上國吉君之ヲ提出ス三月二十三日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)寺島權藏君外二名提出北陸ニ國立倉庫設置ニ關スル建議案(一九四)外二件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ニ著手シタルモ報告ヲ爲スニ至ラザリキ

二一〇 鶴岡高松間鐵道敷設ニ關スル建議案

政府ハ山形縣鶴岡ヨリ高松ニ至ル鐵道ヲ敷設シ以テ運輸交通ノ發展ト地方ノ利源開發ニ資セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十四年三月十二日齋藤眞三郎君外一名之ヲ提出ス三月二十三日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)清水留三郎君外四名提出大間々長野原間鐵道建設ニ關スル建議案(一八)外三十七件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十五日報告書ヲ議長ニ提出セリ

即日議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一九三)參看)採用ノ結果委員長ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

二一一 北海道士功組合事業助成ニ關スル建議案

北海道士功組合ノ疲弊ヲ救済シ且拓殖ノ促進ヲ圖ルカ爲左記ノ通北海道士功組合事業ヲ助成セララムコトヲ望ム

一 北海道士功組合高利債ニ對シ低利資金ヲ融通シ其ノ償還年限及据置期間ヲ相當延長セラレ度キコト

二 北海道士功組合灌溉溝幹線工事ヲ國費支辨ト爲シ且其ノ他工事ニ對シ開墾助成法ノ補助ト同額ノ補助ヲ與ヘラレ度キコト

三 北海道士功組合改修工事ニ對シ適當補助ノ途ヲ開カレ度キコト

右建議ス

右ハ十四年三月十二日小池仁郎君外六名之ヲ提出ス三月二十三日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)黒住成章君外三名提出北海道拓殖促進ニ關スル建議案(一七〇)外六件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末(一七二)案ト併合シテ修正スヘキモノト決シ三月二十五日報告書ヲ議長ニ提出セリ(本項(一七二)參看)即日議事日程ヲ變更シテ院議ニ付ス(本項(一九三)參看)

(委員會並議事ノ經過及結果ハ(本項(一七二)參看)

石川縣金澤市ニ高等師範學校設置ニ關スル建議案

右建議ス

右ハ十四年三月十二日佐藤實君外四名之ヲ提出ス三月二十三日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)佐々木春作君外三名提出高等師範學校設置ニ關スル建議案(八〇)外六件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末(一九〇)案ト併合シテ修正スヘキモノト決シ三月二十四日報告書ヲ議長ニ提出セリ(本項(一九〇)參看)

即日議事日程ヲ變更シテ本案ヲ院議ニ付ス

(委員會並議事ノ經過及結果ハ(一九〇及一一四)參看)

二一三 國際オリムピック競技出場者へ國庫補助ニ關スル建議案

我カ國ニ於ケル體育運動競技ハ今ヤ隆盛トシテ進歩發達ノ氣運ニ向ハムトス而シテ此ノ種ノ運動競技ハ國際的トナリ列國相競フテ精銳ナル選手ヲ送り以テ必勝ヲ期シツツアリ

運動競技ヲ以テ單ニ遊戯的ニ解スル時代ハ既往ニ屬ス剛健醇厚ナル國民ノ士氣作興スル一手段トシテ政府ハ大ニ好意的態度ト深厚ナル同情ヲ以テ右へ出場スル選手團ニ對シ相當ノ國庫補助ヲ爲サレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十四年三月十二日信太儀右衛門君外五名之ヲ提出ス三月二十三日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)山榊儀重君外二名提出教育ノ機會均等ニ關スル建議案(一一)外十九件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十五日報告書ヲ議長ニ提出セリ

即日議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一九三)參看)採用ノ結果委員長ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

二一四 新町小海間鐵道建設ニ關スル建議案

本線ハ國有鐵道高崎線新町驛ヨリ分岐シ藤岡鬼石神川上野ノ各町村ヲ經テ長野郡南佐久郡小海ニ達スル鐵道ナリ政府ハ速ニ之ヲ鐵道網ニ編入シ且其ノ敷設ノ計畫ヲ立テラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十四年三月十二日井本常作君外五名之ヲ提出ス三月二十三日日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)清水留三郎君外四名提出大間々長野原間鐵道建設ニ關スル建議案(一八)外三十八件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十五日報告書ヲ議長ニ提出セリ

即日議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一九三)參看)採用ノ結果委員長ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

二一五 甘南備神社昇格ニ關スル建議案

政府ハ甘南備神社ヲ國幣社ニ昇格セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十四年三月十二日栗延敬太郎君之ヲ提出ス三月二十三日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)森田茂君外七名提出孝明天皇ノ神宮造營ニ關スル建議案(一四一)外

一件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十四日報告書ヲ議長ニ提出セリ

即日議事日程ニ追加シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一四)參看)採用ノ結果委員長ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

二一六 新潟港ニ露國領事館設置ニ關スル建議案

日本開國ノ初新潟港カ帝國五港ノ一ニ指定セラレタルハ歷史上顯著ナル事實ナリトス今ヤ日露國交回復ノ結果彼我兩國民ノ交通頻繁ト爲リ從テ新潟港ヲ經由スルモノ益多キヲ加ヘ彼地ヨリスル物資ノ集散モ亦多數ヲ算スルハ言ヲ待タス近ク上越鐵道ノ完成ヲ見ムカ帝都ヨリスル物資旅客ハ多ク新潟港ニ集マリ同港築港ノ工程正ニ了ラムトスルト相待テ而モ新潟港ハ浦鹽斯德ニ達スル距離ニ於テ其ノ最短ナルヨリ同港ハ正ニ裏日本海ニ於ケル露國ニ對スル門戸ナリト謂ツヘシ此ノ點ニ於テ新潟港ニ露國領事館ヲ設置スルハ最機宜ノ處置ト信スル所ナリ依テ政府ハ速ニ露國ト交渉シテ新潟港ニ露國領事館ヲ設置スルノ計ヲ立テラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十四年三月十二日松井郡治君外八名之ヲ提出ス三月二十三日日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨
辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)山本厚三君外六名提出小樽港ニ露國領事館設置ニ關スル建議案
(六三)外五件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十
四日報告書ヲ議長ニ提出セリ

即日議事日程ニ追加シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一一四)參看)採用ノ結果委員長
ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

二一七 震災復興促進ニ關スル建議案

大正十二年九月一日ノ大震災地タル神奈川県郡部ハ其ノ被害甚大ニシテ震災後既ニ十九箇月ヲ
經過スルモ未タ復興ヲ見サルニ依リ政府ハ速ニ適當ノ處置ヲ講セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十四年三月十二日平川松太郎君外三名之ヲ提出ス三月二十三日日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣
旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)議長指名(九名)ノ委員ニ付託スルニ決シ即日議長之ヲ指名ス
委員ハ翌二十四日委員會ヲ開キ委員長及理事ノ互選ヲ行ヒ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ

三月二十四日報告書ヲ議長ニ提出セリ

翌二十五日本案ヲ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一六四)參看)採用ノ結果委員長ノ報告
ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

二一八 罹災私學復興補助ニ關スル建議案

大正十二年大震災災ニ因リ灰燼ニ歸シタル都下私立大學以下中等學校ハ政府臨時應急ノ貸付金
ニ依リ一時的應急設備ヲ爲シテ教育ノ繼續ニ支障ナキ程度ニ各自奮勵努力シ來リタルモ校舍狹
隘ニシテ日日増加スル學生生徒ヲ收容スル能ハス何レモ財政困難ニシテ「バラック」ノ修理サヘ
容易ナラス況ヤ之カ本建築ニ至テハ政府ノ補助ヲ俟ツニ非サレハ到底完成スル能ハス政府ハ國
費多端ニシテ大ニ緊縮ヲ圖ル時ナルモ教育ノ振興ハ實ニ一日ヲ緩ウスヘカラサルニ鑑ミテ速ニ
之カ計畫ヲ定メ相當ノ補助金ヲ下付シ以テ其ノ完成ヲ助成セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十四年三月十二日工藤鐵男君外八名之ヲ提出ス三月二十四日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨
辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)平川松太郎君外三名提出震災復興促進ニ關スル建議案委員ニ併

セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ同日報告書ヲ議長ニ提出セリ
即日議事日程ニ追加シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一四)參看)採用ノ結果委員長
ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

二一九 大子棚倉間鐵道速成ニ關スル建議案

水郡鐵道線棚倉ヨリ大子ニ至ル線路ハ二十哩ニシテ棚倉ニハ東北本線白河ヨリ達スル白棚鐵道
アリテ同線ヨリ本線ニ連絡シ東海岸ニ達スルヲ得ヘキノミナラス各方面ニ向ヒ旅客荷物ノ交通
輸送ニ甚大ノ便利ヲ得ヘキハ何人モ認ムル所ナリ其ノ距離僅ニ二十哩ニ過キス政府ハ速ニ起工
セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十四年三月十二日河野正義君外二名之ヲ提出ス三月二十三日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨
辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)清水留三郎君外四名提出大間々長野原間鐵道建設ニ關スル建議
案(一八)外三十九件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三
月二十五日報告書ヲ議長ニ提出セリ

即日議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一九三)參看)採用ノ結果委員長
ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

二二〇 鹽專賣法撤廢ニ關スル建議案

我カ政府ハ日露戰爭當時非常財政政策ノ一トシテ鹽專賣法ヲ實施シ以テ今日ニ及ヒタリト雖近時
物價及勞銀ノ昂騰ニ依リ動モスレハ其ノ收支相償ハサルノ状態ニ在リテ立法當時ノ精神ト相反
スルコト遠シ加之該法ノ存立ハ要鹽業ノ發達ヲ阻害シ國民生活上ノ負擔ヲ重カラシムルモノア
リ政府ハ速ニ善後ノ方法ヲ講シテ之ヲ撤廢スルノ舉ニ出テラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十四年三月十二日加藤知正君外一名之ヲ提出ス三月二十三日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨
辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)土井權大君外一名提出鹽ノ賠償價格均衡ニ關スル建議案(二六)
外二件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ニ著手シタルモ報告ヲ爲スニ至ラザリキ

二二一 裏九戸鐵道建設ニ關スル建議案

政府ハ速ニ八戸久慈間鐵道中野驛ヲ起點トシテ岩手縣大野輕米ヲ經テ東北本線北福岡驛ニ至ル
間ノ鐵道ヲ建設シ以テ運輸交通ノ發達ヲ促進セラレムコトヲ望ム
右建議ス

右ハ十四年三月十二日柏田忠一君之ヲ提出ス三月二十三日日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明ヲ
省略シ(本項(一四〇)參看)清水留三郎君外四名提出大間々長野原間鐵道建設ニ關スル建議案(一
八)外四十件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ニ著手シタルモ報告ヲ爲スニ至ラサリキ

二二三 奥羽線福島米澤間電化速成ニ關スル建議案

政府ハ速ニ奥羽線福島驛ヨリ米澤驛ニ通スル板谷隧道ノ電化計畫ヲ樹テ之カ實現ヲ期セムコト
ヲ望ム

右建議ス

右ハ十四年三月十二日佐々木春作君外二名之ヲ提出ス三月二十三日日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣
旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)清水留三郎君外四名提出大間々長野原間鐵道建設ニ關スル建

議案(一八)外四十一件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ニ著手シタルモ報告ヲ爲スニ至ラ
サリキ

二二三 鐵道敷設法中改正ニ關スル建議案

鐵道敷設法第一條ノ別表中北海道ノ部第三百二十九ノ次ニ左ノ通追加セラレムコトヲ望ム

一 石狩國江別ヨリ當別ヲ經テ石狩ニ至ル鐵道

一 石狩國岩見澤ヨリ北村月形ヲ經テ厚田ニ至ル鐵道

一 石狩國瀧川ヨリ新十津川ヲ經テ濱益ニ至ル鐵道

右建議ス

右ハ十四年三月十二日小池仁郎君外六名之ヲ提出ス三月二十三日小池仁郎君外六名提出帶廣廣尾
間鐵道速成ニ關スル建議案(二二七)ト一括シテ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一四
〇)參看)清水留三郎君外四名提出大間々長野原間鐵道建設ニ關スル建議案(一八)外四十二件委員
ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十五日報告書ヲ議長
ニ提出セリ

即日議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一九三)參看)採用ノ結果委員長ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ
○石狩川架橋ニ關スル建議案
北海道石狩國空知郡沼貝村字美唄ヨリ月形村及浦臼村ニ通スル晚生内道路石狩川渡船場ニ橋梁ヲ架設セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十四年三月十二日神部爲藏君外四名之ヲ提出ス三月二十三日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)神部爲藏君提出石狩川本支流治水工事速進ニ關スル建議案(六二)外一件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十五日報告書ヲ議長ニ提出セリ
即日議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一九三)參看)採用ノ結果委員長ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

二二五 舞鶴港開港ニ關スル建議案

政府ハ舞鶴要港部中第三區ニ屬スル舞鶴港ヲ速ニ開港スヘシ
右建議ス

右ハ十四年三月十二日長田桃藏君外一名之ヲ提出ス三月二十三日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)寺島權藏君外二名提出北陸ニ國立倉庫設置ニ關スル建議案(一九四)外三件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ニ著手シタルモ報告ヲ爲スニ至ラザリキ

二二六 沖繩縣救濟ニ關スル建議案

沖繩縣ハ由來絶海ノ孤島ニシテ交通不便加フルニ暴風雨多クシテ天然ノ資源亦豊富ナラス近年政府ノ租稅漸ク加ハルニ從ヒ民力ハ次第ニ遞下シ殊ニ戰後財界ノ不況ニ遭遇シ產業萎靡金融梗塞租稅滯納等ノ爲縣ノ上下ヲ通シ困憊其ノ極ニ達シ置縣以來未曾有ノ危機ニ際會セリ若現狀ノ儘ニ之ヲ放任スルコトアラムカ縣ノ財政經濟ハ混亂シテ遂ニ收拾スヘカラサルニ至ラムコトヲ虞ル政府ハ宜シク沖繩縣ニ特例ヲ啓キ以テ根本的救濟策ヲ講セラレムコトヲ望ム
右建議ス

右ハ十四年二月二十六日安達謙藏君外四名之ヲ提出ス三月二十三日日本案ヲ院議ニ付ン提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)岸本賀昌君外三名提出沖繩縣財政經濟ノ救濟助長ニ關スル建議案(一五五)委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十四日報告書ヲ議長ニ提出セリ

即日議事日程ニ追加シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一一四)參看)採用ノ結果委員長ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

二二七 帶廣廣尾間鐵道速成ニ關スル建議案

十勝國帶廣ヨリ廣尾ニ至ル鐵道ヲ速成セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十四年三月十三日小池仁郎君外六名之ヲ提出ス三月二十三日小池仁郎君外六名提出鐵道敷設法中改正ニ關スル建議案(二二三)ト一括シテ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)清水留三郎君外四名提出大間々長野原間鐵道建設ニ關スル建議案(一八)外四十二件委員

ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十五日報告書ヲ議長ニ提出セリ

即日議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一九三)參看)採用ノ結果委員長ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

二二八 農村產業技術員設置獎勵ニ關スル建議案

農村ノ振興ハ政府カ其ノ根本策ヲ確立スルト共ニ農村自體ノ活動ニ俟ツヘキモノ多シ然ルニ農村ノ疲弊ハ其ノ活動ノ要素タル產業技術員ニ關スル經費ヲ負擔スルニ苦シムノ状態ニアリ仍テ政府ハ速ニ之カ設置ヲ獎勵シ農業補習學校教員ヲ兼務セシメ其ノ經費ニ對シ相當ノ補助金ヲ交付シ以テ農村ノ進展ヲ計ルト共ニ農家負擔輕減ノ途ヲ講セラレタシ

右建議ス

右ハ十四年三月十三日山本勝次君之ヲ提出ス三月二十三日日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)荒川五郎君外十五名提出農村振興ニ關スル建議案(七六)外六件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十四日報告書ヲ議長ニ

提出セリ

即日議事日程ニ追加シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一一四)參看)採用ノ結果委員長ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

二二九 日本綠茶海外販路擴張ニ關スル建議案

日本綠茶ノ輸出ハ近時「インド」「セイロン」「ジャバ」茶ノ長足ナル進歩發展ノ影響ヲ受ケ著シク減退ノ狀況ニ陥レリ故ニ宜シク政府ハ海外販路擴張及生産費減少ノ兩方面ヨリ日本綠茶ノ進展ヲ計リ以テ農村振興ニ資セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十四年三月十三日三橋四郎次君之ヲ提出ス三月二十三日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)荒川五郎君外十五名提出農村振興ニ關スル建議案(七六)外七件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十四日報告書ヲ議長ニ提出セリ

即日議事日程ニ追加シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一一四)參看)採用ノ結果委員長

ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

二三〇 日足鐵道速成ニ關スル建議案

栃木縣日光驛(日光線)ヨリ足尾驛(足尾線)ニ達スル十五哩ノ連絡線即チ日足鐵道ハ既ニ政府提出ノ鐵道敷設法別表中ニ編入セラレ居ルノミナラス利源開發産業交通上殊ニ日光國立公園計畫調査地域内ニ在ル頗ル重要ナル線路ナルヲ以テ政府ハ速ニ敷設セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十四年三月十四日高橋元四郎君之ヲ提出ス三月二十三日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)清水留三郎君外四名提出大間々長野原間鐵道建設ニ關スル建議案(一八)外四十四件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十五日報告書ヲ議長ニ提出セリ

即日議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一九三)參看)採用ノ結果委員長ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

二三一 宗谷線恩根内、咲來間ニ停車場設置ニ關スル建議案

政府ハ宗谷線恩根内、咲來間ニ停車場ヲ設置セラレムコトヲ望ム
右建議ス

右ハ十四年三月十四日淺川浩君外七名之ヲ提出ス三月二十三日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)清水留三郎君外四名提出大間々長野原間鐵道建設ニ關スル建議案(一八)外四十五件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十五日報告書ヲ議長ニ提出セリ

即日議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一九三)參看)採用ノ結果委員長ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

二三二 徳山港ヲ第二種港編入ニ關スル建議案

山口縣徳山港ヲ第二種港ニ編入セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十四年三月十四日横山金太郎君外一名之ヲ提出ス三月二十四日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)寺島權藏君外二名提出北陸ニ國立倉庫設置ニ關スル建議案(一九四)外七件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ翌二十五日報告書ヲ議長ニ提出セリ

即日議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一九三)參看)採用ノ結果委員長ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

二三三 移住組合法制定ニ關スル建議案

移住政策ノ確立實行ハ現下我カ國內ニ横ハル各種ノ社會問題ヲ解決スル根本要件ノ一ナルニ拘ラス未タ之カ施設ノ觀ルヘキモノナキヲ遺憾トス政府ハ此ノ際移住ヲ必要トスル地方ニ於テ組合ヲ組織セシメ相互扶助ノ精神ニ基キ組合員相提携シテ移住資金ノ調達移住土地ノ購入渡航ノ周旋等ノ事業ニ當ラシメ以テ移住政策ノ實行ヲ期セシムカ爲ニ移住組合法ヲ制定セラレムコトヲ望ム
右建議ス

右ハ十四年三月十四日津崎尙武君外一名之ヲ提出ス三月二十三日日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)議長指名(九名)ノ委員ニ付託スルニ決シ即日議長之ヲ指名ス委員ハ翌二十四日委員會ヲ開キ委員長及理事ノ互選ヲ行ヒ審査ノ末後ニ併セ付託セラレタル荒川五郎君外二名提出移住組合法制定ニ關スル建議案(二三四)ト併合シ表題ヲ「移住組合法制定ニ關スル建議」トシ修正スヘキモノト決シ同日報告書ヲ議長ニ提出セリ
(委員會報告書)

移住組合法制定ニ關スル建議

移住政策ノ確立實行ハ現下我カ國內ニ横ハル各種ノ社會問題ヲ解決スル根本要件ノ一ナルニ拘ラス未タ之カ施設ノ觀ルヘキモノナキヲ遺憾トス政府ハ此ノ際移住ヲ必要トスル地方ニ於テ組合ヲ組織セシメ相互扶助ノ精神ニ基キ組合員相提携シテ移住資金ノ調達移住土地ノ購入渡航ノ周旋等ノ事業ニ當ラシメ以テ移住政策ノ實行ヲ期セシメムカ爲ニ移住組合法ヲ制定セラレムコトヲ望ム

右建議ス

即日議事日程ニ追加シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一一四)參看)採用ノ結果委員長

ノ報告ヲ省略シテ委員會報告ノ通修正議決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

二三四 移住組合法制定ニ關スル建議案

移住政策ノ確立實行ハ現下我カ國內ニ横ハル各種ノ社會問題ヲ解決スル根本要件ノ一ナルニ拘ラス未タ之カ施設ノ觀ルヘキモノナキヲ遺憾トス政府ハ此ノ際移住ヲ必要トスル地方ニ於テ組合ヲ組織セシメ相互扶助ノ精神ニ基キ組合員相提携シテ移住資金ノ調達移住土地ノ購入渡航ノ周旋等ノ事業ニ當ラシメ以テ移住政策ノ實行ヲ期セシメムカ爲ニ移住組合法ヲ制定セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十四年三月十四日荒川五郎君外二名之ヲ提出ス三月二十三日日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)津崎尙武君外一名提出移住組合法制定ニ關スル建議案(二三三)委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末(二三三)案ト併合シ修正スヘキモノト決シ同日報告書ヲ議長ニ提出セリ(本項(二三三)參看)
即日本案ヲ院議ニ付ス

(委員會竝議事ノ經過及結果ハ(本項(二三三)參看)

二三五 長崎五島佐世保間命令航路ノ完備ニ關スル建議案

政府ハ長崎五島佐世保間ノ命令航路ニ對シテ使用船舶ノ完備ヲ圖リ交通ノ安全ヲ期セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十四年三月十六日牧山耕藏君外十二名之ヲ提出ス三月二十三日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)清水留三郎君外四名提出大間々長野原間鐵道建設ニ關スル建議案(一八)外四十六件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末後ニ併セ付託セラレタル橋本喜造君外二名提出長崎五島佐世保間命令航路ノ改善ニ關スル建議案(二六三)ト併合シ表題ヲ「長崎五島佐世保間命令航路ノ改善ニ關スル建議」ニ改メ修正スヘキモノト決シ三月二十五日報告書ヲ議長ニ提出セリ

(委員會報告書)

長崎五島佐世保間命令航路ノ改善ニ關スル建議

政府ハ長崎五島佐世保間命令航路ノ改善ヲ圖リ交通運輸ノ便ヲ期セラレムコトヲ望ム

右建議ス

即日議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一九三)參看)採用ノ結果委員長ノ報告ヲ省略シテ委員會報告ノ通修正議決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

二三六 漆樹栽培獎勵ニ關スル建議案

政府ハ漆樹栽培獎勵ノ爲ニ左記事項ヲ實行セラレムコトヲ望ム

一 主務省ニ於テ實行セラレツアル漆樹栽培獎勵法ヲ改新シ一層之ニ適切ナル方法ヲ講スル

コト

明治三十三年同四十年主務省ハ漆樹栽培ノ急務ナルヲ令達サレタルモ其ノ趣旨未タ徹底セズ依テ此ノ際各府縣ニ先チ公有林其ノ他農家ノ副業トシ漆樹栽培獎勵ヲ有利ニ勸誘セラレタシ

二 公共團體ノ基本財産トシテ栽植スルモノニ對シテハ國有林野及縣道里道ノ沿線地ヲ相當期間無料貸付セラレタキコト

第二章 議事

第四節 議案

第二款 議案ノ討議

第五項

上奏案及建議案

本樹ノ栽培ニハ多額ノ搔取費其ノ他ノ經費ヲ要ス故ニ之ヲ獎勵スル爲ニハ前記ノ如ク之ヲ補助スルノ必要アリ

三 主務省ニ專任係員ヲ置キ專ラ之カ獎勵ニ努力シ一面巡回教師ヲ聘シテ漆液搔取法ヲ漆樹植立人ニ傳習セシムルコト

從來漆搔取人ハ多クノ場合植立人ト搔取人ノ分業ニ依リ生産シ來リシモ搔取人ノ多クハ植樹地ノ居住者ニ非スシテ他府縣ヨリ特ニ雇傭スル習慣ナルモ漆樹ノ所有者又ハ其ノ部落居住者ノ或部分ニ傳習セシメ其ノ者ノ中ヨリ搔取人ヲ選定シ直接生産ニ從事セシムルトキハ中間勞賃ハ其ノ部落ノ收入トナリ農家所得ノ増加スルコトニ依テ獎勵上良策ナルヘシ

右建議ス

右ハ十四年三月十七日寺島權藏君外一名之ヲ提出ス三月二十三日日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)寺島權藏君外二名提出北陸ニ國立倉庫設置ニ關スル建議案(一九四)外四件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十五日報告書ヲ議長ニ提出セリ

即日議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一九三)參看)採用ノ結果委員長

ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

二二七 名古屋港ニ自由港設置ニ關スル建議案

我カ國保護貿易ノ政策ヲ採リ來リテヨリ年久シ今ヤ既ニ自由貿易主義ヲ採ルヘキノ秋ニ際會ス我カ國ノ産業狀態ハ保護政策ヲ必要トスル程幼稚ナルモノニ非ス輸入品ニ關稅ヲ撤去シ輸出品ニ免稅ナカラシムル爲ニ我カ産業ハ外國品ニ依リテ壓倒セラレ萎縮スル程不完全ナルモノニ非ス否生産者ヲシテ獨立ノ氣力ヲ起サシメ以テ産業ヲ振興シ國力ヲ外ニ發展セシムムニハ自由貿易ニ依ルノ外ナシ且夫レ一般國民ハ今ヤ物價ノ騰貴ニ苦シミ生活難ニ脅サル此ノ機ニ當リ物價ヲ低落セシメ以テ國民ノ生活ヲ安定ナラシメ進ムテ産業ヲ敏活ナラシムルノ道一ニ自由貿易政策アルノミ自由貿易主義カ保護貿易主義カ今ハ議論ノトキニ非ス斷乎トシテ自由貿易主義ニ據ルヘキノ秋ナリ

名古屋港ハ本州中部ニ於ケル貨物集散上最樞要ノ地點ヲ占ム大正十二年ニ於ケル内國貿易額ハ一億六千六百萬圓ニ及ヒ外國貿易額ハ六千六百萬圓ニ上ル目下港ハ六千噸級ノ船舶ノ出入ヲ許スニ過キサレトモ一萬噸級ノ船舶ヲ標準ニ銳意擴張工事ノ進行中ニシテ殆ト成レリ其ノ完成ノ曉ニ於テハ貿易ノ額更ニ多キニ上ルヘシ仍テ我カ國カ自由貿易政策ヲ採リ自由貿易港ヲ設置ス

ル際先ツ第一ニ名古屋港ヲ自由港ニ指定セラレムコトヲ望ム
右建議ス

右ハ十四年三月十七日服部英明君外二名之ヲ提出ス三月二十三日日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨
辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)寺島權藏君外二名提出北陸ニ國立倉庫設置ニ關スル建議案(一
九四)外五件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十
五日報告書ヲ議長ニ提出セリ

即日議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一九三)參看)採用ノ結果委員長
ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

二三八 岡崎市ニ高等師範學校設置ニ關スル建議案

愛知縣岡崎市ニ高等師範學校ヲ設置セラレムコトヲ望ム
右建議ス

右ハ十四年三月十七日近藤重三郎君之ヲ提出ス三月二十三日日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明

ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)佐々木春作君外三名提出高等師範學校設置ニ關スル建議案(八〇)外
七件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ翌二十四日報告書
ヲ議長ニ提出セリ

即日議事日程ニ追加シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一一四)參看)採用ノ結果委員長
ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

二三九 堺郵便局移管ニ關スル建議案

大阪府接續ノ堺郵便局ヲ大阪中央郵便局ニ移管シ大阪中央郵便局堺支局ト改稱セラレムコトヲ
望ム
右建議ス

右ハ十四年三月十七日中林友信君名之ヲ提出ス三月二十三日日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明
ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)坂東幸太郎君提出食糧政策確立ニ關スル建議案(一一)外六件委員ニ
併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ニ著手シタルモ報告ヲ爲スニ至ラザリキ

二四〇 福島縣立蠶業學校昇格ニ關スル建議案

福島縣立蠶業學校ヲ文部省ニ移管シ高等蠶絲專門學校ニ昇格セラレムコトヲ望ム
右建議ス

右ハ十四年三月十八日中野寅吉君外七名之ヲ提出ス三月二十三日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨
辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)武藤金吉君外六名提出蠶絲局設置ニ關スル建議案(一〇八)外六
件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ翌二十四日報告書ヲ
議長ニ提出セリ

即日議事日程ニ追加シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一一四)參看)採用ノ結果委員長
ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

二四一 日本國際聯盟協會ニ下付金交付ニ關スル建議案

日本國際聯盟協會ニ對シ政府ヨリ一定ノ下付金ヲ交付セムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十四年三月十八日中野正剛君外五名之ヲ提出ス三月二十三日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨
辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)山柝儀重君外二名提出教育ノ機會均等ニ關スル建議案(一一)外
二十件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十五日報
告書ヲ議長ニ提出セリ

即日議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一九三)參看)採用ノ結果委員長
ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

二四二 京都龜岡間鐵道線路變更ニ關スル建議案

政府ハ國防並交通ノ必要ニ鑑ミ山陰本線京都龜岡間ノ鐵道線路ヲ京都驛ヨリ分岐シ山陰街道ニ
沿ヒ老ノ坂ヲ經テ龜岡ニ接續スルコトニ變更シ速ニ工事ヲ行フヘシ
右建議ス

右ハ十四年三月十八日川崎安之助君外五名之ヲ提出ス三月二十三日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣
旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)清水留三郎君外四名提出大間々長野原間鐵道建設ニ關スル建
議案(一一八)外四十七件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ

三月二十五日報告書ヲ議長ニ提出セリ
即日議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一九三)參看)採用ノ結果委員長
ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

二四三 溫泉財團法規制定ニ關スル建議案

我カ邦ニ於テ現ニ湧出セル溫泉ヲ土地ト分離シテ一種ノ財產權ト認メ之ヲ處分若ハ擔保ト爲ス
ノ法規存在セサルカ爲ニ溫泉業者ノ保護發達ヲ阻害スルモノナリ故ニ政府ハ適當ノ法規ヲ制定
セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十四年三月十八日平川松太郎君外三名之ヲ提出ス三月二十三日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣
旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)千葉宮次郎君外三名提出警察費國庫下渡金連帶支辨ニ關スル
建議案(七九)外四件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ翌
二十四日報告書ヲ議長ニ提出セリ

翌二十五日本案ヲ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一六四)參看)採用ノ結果委員長ノ報告

ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

二四四 建築士法制定ニ關スル建議案

各個民人及一般社會ノ安寧健康秩序乃至品位ニ對シ建築ノ重大ナル機能ヲ有スルハ多言ヲ待タ
ス歐米ニ於テハ夙ニ建築士法ヲ制定シテ建築設計並監督ノ職務ニ從事スル者ノ資格ヲ定メ其ノ
自重ヲ促シ以テ個人利益ノ保護ト社會福祉ノ增進ヲ期シツアリ然ルニ過去數十年ニ互リテ急
激ナル發達ヲ續ケ來レル帝國ニ在リテハ職業トシ新シキ建築ノ設計並監督ニ關スル事態ノ極メ
テ混沌タルヲ免レス一般社會モ亦未タ是カ職務ニ關スル正當ノ理解ヲ有セサルヲ以テ建築士法
ノ必要ナキニ似タリト雖其ノ實ハ決シテ然ラス社會ノ進歩ニ伴テ今ヤ物心ノ兩方面ヨリ是ヲ要
求スル時機ノ到來セルヲ認ム即チ現ニ帝都復興ノ大業ヲ背景トシテ內國的並國際的ニ重大ナル
時機ニ際會ス此ノ際ニ於ケル諸般建築ノ施設及經營ノ良否ハ個人ノ生活ヨリ都市ノ施設ニ互リ
テ頗ル重大ナル關係アリ國民生活ノ改善ニ立脚シテ社會行政ニ著眼スレハ深甚ナル注意考慮ヲ
拂ハサルヲ得ス専門ノ教育及訓練ヲ經タル適當ノ技術者ヲシテ能ク職責ノ重大ナルヲ自覺シ其
ノ技能ヲ社會公衆ノ爲ニ傾注セシムルヲ要ス建築士法ヲ制定シ是ニ依テ建築士登錄ノ途ヲ開ク
ハ如上ノ必要ニ順應シ且其ノ目的ヲ達成スル方法トシテ刻下ノ急務ト謂ハサルヘカラス此ノ故

ニ政府ハ速ニ建築士法ヲ制定シ建築士ノ資格及職責ヲ明ニシ且其ノ登録ノ途ヲ啓カレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十四年三月十八日小西和君外二名之ヲ提出ス三月二十三日日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)千葉宮次郎君外三名提出警察費國庫下渡金連帶支辨ニ關スル建議案(七九)外五件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ翌二十四日報告書ヲ議長ニ提出セリ

翌二十五日本案ヲ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一六四)參看)採用ノ結果委員長ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

二四五 岡崎大井間岡崎多治見間鐵道建設ニ關スル建議案

岡崎大井線ハ東海道線岡崎驛ヲ起點トシ矢作川ヲ遡行シ舉母ヲ經由シテ小渡ニ至リ北行岐阜縣明知岩村ヲ經テ中央線大井驛ニ通スル東海道線中央線ノ連絡鐵道ナリ又岡崎多治見線ハ舉母ヨリ分岐シテ直行瀬戸ヲ經テ中央線多治見驛ニ通スル同シク東海道線中央線ノ連絡鐵道ナリ兩線

ハ地方、文化、交通政策上緊要ナルノミナラス沿線ハ有名ナル陶磁器及之カ原料タル陶土ノ産地タリ宜シク邦家ノ爲政府ハ速ニ鐵道網ニ編入シ速ニ敷設セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十四年三月十八日近藤重三郎君之ヲ提出ス三月二十三日日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)清水留三郎君外四名提出大間々長野原間鐵道建設ニ關スル建議案(一八)外四十八件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十五日報告書ヲ議長ニ提出セリ

即日議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一九三)參看)採用ノ結果委員長ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

二四六 金澤市ニ鐵道局設置ニ關スル建議案

近時鐵道ノ敷設盛ニシテ哩數ノ延長甚シキモノアルニ拘ラス之カ管理ノ任ニ當ルヘキ鐵道局ノ設置ハ未タ之ニ伴ハサルモノアルヲ遺憾トス殊ニ北陸地方ニ於テ其ノ然ルモノアルヲ認ム故ニ同地方ニ鐵道局ノ新設ヲ必要トスル所以ナリ抑北陸地方ハ裏日本運輸交通ノ要路ニ當リ而モ金

澤市ハ北陸地方ニ於テハ勿論裏日本ニ於ケル首都ナルノミナラス敦鶴線ノ開通ニ依リ大阪山陰地方ト北陸地方トノ聯絡ハ便益ヲ來シ村上線及山陰本線モ亦開通ヲ見タルヲ以テ茲ニ裏日本貫通鐵道ノ完成ヲ告ケ其ノ結果北海道並青森方面ト關西並九州地方トノ交通ハ北陸線ヲ利用スルニ至リ加フルニ金澤ヲ起點トスル七尾線ハ私設能登鐵道ノ開通ニ依リ愈交通運輸上ニ至便ヲ與ヘ更ニ能登内浦鐵道敷設セラレムカ能登半島ノ貨物ハ金澤ニ集中セラルルニ至ルヘク其ノ他八尾線並金名線ノ兩豫定線ヲ有スルニ止マラス金澤市ニハ第九師團ノ設置アリテ軍事上ヨリスルモ鐵道トハ極メテ重大ナル關係ヲ有シ且鐵道關係ノ機關トシテハ既ニ運輸保線兩事務所鐵道郵便局鐵道工場等ノ設置アルヲ見テモ如何ニ金澤市カ其管掌聯絡ノ首位地ニアルカヲ知リ得ヘク殊ニ浦潮及北陸地方トハ海上ニ於ケル交通貿易上最密接ヲ極メ現ニ同地方ニハ七尾港ヨリ定期航路ヲ有シツツアリ對露貿易交通ハ我カ國現在及將來ニ於テ最善ノ努力ヲ爲スヘキ今日此ノ要港ヲ控ヘル金澤市ノ重要地タルハ勿論北海道樺太其ノ他ニモ定期航路ヲ有シ文物ノ發達上並經濟ノ中核地タル點ヨリ謂フモ人口ノ多數ヨリスルモ將又諸機關ノ整備ヨリスルモ裏日本ニ其ノ比アル都市ヲ見ス特ニ北陸沿線ハ冬期降雪甚シク恆ニ交通運輸上ニ支障ヲ來シ應急施設ノ如キ大ナル不便ヲ來シ爲ニ被害頻出ノ實狀ヲ示シツツアリ現狀既ニ斯ノ如ク海陸ノ交通運輸共ニ統轄的機關ノ必要ヲ痛感スルニ當リ其ノ鐵道局ヲ設置セラルルニ付最好適地タル金澤市ニ之ヲ設

ケ以テ一切ノ障害ヲ除キ管理ノ完備ヲ圖ラレムコトヲ望ム
右建議ス

右ハ十四年三月十八日佐藤實君外五名之ヲ提出ス三月二十三日日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)寺島權藏君外二名提出北陸ニ國立倉庫設置ニ關スル建議案(一九四)外六件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十五日報告書ヲ議長ニ提出セリ
即日議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一九三)參看)採用ノ結果委員長ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

二四七 獵虎臘肭獸獵禁ニ關スル建議案

獵虎臘肭獸ハ北太平洋ニ於ケル特産動物ニシテ我カ邦遠洋漁業中最有益ナル事業ニ屬ス明治四十四年禁獵以來種族ノ蕃殖ハ實ニ著大ナルモノアリ政府ハ現今財界不況ノ季ニ當リ之カ解禁ヲ斷行シ以テ國利民福ヲ増進セシメラレムコトヲ望ム
右建議ス

右ハ十四年三月十八日横山勝太郎君外一名之ヲ提出ス三月二十三日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)黒住成章君外三名提出北海道拓殖促進ニ關スル建議案(一七〇)外七件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十五日報告書ヲ議長ニ提出セリ
即日議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一九三)參看)採用ノ結果委員長ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

二四八 室蘭港海陸聯絡施設速成ニ關スル建議案

室蘭港海陸ノ聯絡施設ヲ速ニ完成セラレムコトヲ望ム
右建議ス

右ハ十四年三月十九日手代木隆吉君外六名之ヲ提出ス三月二十四日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)小池仁郎君外十名提出北海道甜菜糖業補助法制定ニ關スル建議案(一九三)外一件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ翌

二十五日報告書ヲ議長ニ提出セリ

即日議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一九三)參看)採用ノ結果委員長ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

二四九 鯖大鐵道建設速成ニ關スル建議案

本鐵道ハ北陸線鯖江驛ヨリ岐阜縣大河原(本巢郡根尾村)ニ至リ金澤大垣間豫定線ニ接續スル本國中央部ニ於テ表裏日本ヲ貫通スル最捷路ナル鐵道ナレハ旅客ハ勿論裏日本ニ於ケル海產物工產物竝其ノ沿道無盡ノ林產物鑛產物ノ搬出ニ至便ナラシムルハ國富開發上ヨリスルモ亦軍事上ヨリスルモ最必要ナルモノナリト信ス依テ政府ハ之カ建設ヲ速カナラシメムコトヲ望ム
右建議ス

右ハ十四年三月十九日土生彰君外五名之ヲ提出ス三月二十四日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)多木久米次郎君外一名提出二見港三田間鐵道速成ニ關スル建議案(三九)外二十四件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ翌二十五日報告書ヲ議長ニ提出セリ

即日議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一九三)參看)採用ノ結果委員長ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

二五〇 足尾銅山煙毒除害水源涵養ニ關スル建議案

栃木縣上都賀郡足尾銅山附近ヲ水源トスル渡良瀨川ハ近年頻ニ其ノ水量ヲ減退シ之カ流域ニ位スル群馬縣新田山田邑樂三郡ハ爲ニ灌漑用水ニ不足ヲ來シ水論各所ニ勃發シ特ニ大正十三年大旱魃ニ際シテハ將ニ一大騷擾ヲ惹起セムトセリ之ニ反シテ若夫レ一度大雨至ラムカ忽チニシテ大洪水トナル今ヤ實ニ渡良瀨流域ノ農民ハ或ハ渴水ニ惱マサレ或ハ洪水ニ惱マサレサナキタニ不安ナル農家經濟ハ愈其ノ獨立ヲ失ハムトシ小作爭議ハ騷然トシテ逐年其ノ煩ヲ増加シ三郡農民ノ人心恟々タルモノアリ抑之カ原因ハ一ニ渡良瀨川水源地足尾銅山煙毒除害設備ノ不完全ナルニ基因ス實ニ銅山製鍊ニ依リ噴出スル毒煙ハ氣流ノマニマニ水源一帯ヲ掩ヒ殆ト草木ノ繁茂ヲ許サス兀山蜿蜒トシテ遠ク連リ土砂崩壞シテ溪谷ヲ埋メ山骨露レテ水脈ノ保有ヲ不可能ナラシム今ニシテ之カ方策ヲ講スルニ非スムハ其ノ惡化スル所往年ノ鑛毒問題ノ比ニ非サルヘシ況ヤ近年農民思想ノ一大變調ヲ來セルモノアルニ於テオヤ政府ハ速ニ之カ慘害ノ實地調査ヲ行ヒ煙毒除害設備ノ完成ト實行トヲ期スルノミナラス渡良瀨川沿岸砂防工事ヲ實施シ荒廢セル山林

ノ復舊保護ヲ圖リ以テ水源涵養ノ實現ヲ望ム

右建議ス

右ハ十四年三月十九日折原已一郎君外一名之ヲ提出ス三月二十四日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)武藤金吉君外三名提出煙毒除外水源涵養ニ關スル建議案(一六三)委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末(一六三)案ト併合シテ修正スヘキモノト決シ(本項(一六三)參看)翌二十五日報告書ヲ議長ニ提出セリ(本項(一六三)參看)

即日議事日程ヲ變更シテ院議ニ付ス(本項(一九三)參看)
(委員會並議事ノ經過及結果ハ本項(一六三)參看)

二五一 三新鐵道敷設速成ニ關スル建議案

岡山縣新見ヨリ廣島縣東城ヲ經テ三次ニ達スル鐵道ヲ先ツ新見ヨリ起工ニ著手シ速ニ敷設セラレムコトヲ望ム

右建議ス

二五二 豊後徳山間聯絡航路鐵道省經營ニ關スル建議案

大分縣大分山口縣徳山間ノ聯絡航路ヲ開始シ之ヲ鐵道省ニ於テ經營セラレムコトヲ望ム
右建議ス

右ハ執レモ十四年三月十九日第一案ハ横山金太郎君外八名、第二案ハ、横山金太郎君外一名之ヲ提出ス三月二十四日兩案ヲ一括シテ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)兩案ハ之ヲ一括シテ多木久米次郎君外一名提出二見港三田間鐵道速成ニ關スル建議案(三九)外二十五件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ翌二十五日報告書ヲ議長ニ提出セリ

即日議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一九三)參看)採用ノ結果委員長ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

二五三 泉崎岩沼間改良工事速成並宇都宮福島間複線工事速成ニ關スル建議案

政府ハ東北本線泉崎驛ヨリ岩沼驛ニ至ル線路ノ改良ヲ速成シ並宇都宮驛ヨリ福島驛ニ至ル複線工事ヲ速ニ達成セラレムコトヲ望ム

右建議ス

二五四 川俣浪江間鐵道建設速成ニ關スル建議案

政府ハ東北本線福島縣松川驛ヨリ分岐シ川俣ヲ經テ浪江驛(海岸線)ニ至ル鐵道ノ建設ヲ速成セラレムコトヲ望ム

右建議ス

二五五 國立倉庫設立ニ關スル建議案

政府ハ福島市ニ國立倉庫一箇所ヲ設立セラレムコトヲ望ム
右建議ス

右三案ハ執レモ十四年三月二十日第一案ハ大島要三君外十名、第二及第三案ハ執レモ大島要三君外六名之ヲ提出ス三月二十五日三案ヲ一括シテ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)第一及第二案ハ多木久米次郎君外一名提出二見港三田間鐵道速成ニ關スル建議案(三九)外二十七件委員ニ、第三案ハ寺島權藏君外二名提出北陸ニ國立倉庫設置ニ關スル建議案(一九四)

外八件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末各原案ヲ可決スヘキモノト決シ翌二十五日報告ヲ議長ニ提出セリ

即日議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一九三)參看)採用ノ結果委員長ノ報告ヲ省略シテ各原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

二五六 水産試験場統一ニ關スル建議案

現今各縣ニ於テ設置セル水産試験場ヲ統一綜合シ漁場及魚族等ノ相同シキ方面ニ各一試験場ヲ設置シ以テ試験ノ完全ヲ期シ併セテ經費ノ節減ヲ圖ラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十四年三月二十日村上紋四郎君外二名之ヲ提出ス三月二十四日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一〇四)參看)高草美代藏君提出漁村振興ニ關スル建議案(一六四)委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ翌二十五日報告書ヲ議長ニ提出セリ

即日議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一九三)參看)採用ノ結果委員長

ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

二五七 東北帝國大學ニ臨時經濟研究所設置ニ關スル建議案

政府ハ東北六縣ノ經濟事情ヲ組織的ニ調査シ其ノ開發ニ關スル内外經濟資料ヲ蒐集シ根本的ニ其ノ研究ヲ行フ爲東北帝國大學ニ臨時經濟研究所ヲ設置セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十四年三月二十日伊澤平左衛門君外四名之ヲ提出ス三月二十四日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)菊池謙二郎君提出男子用通常禮服ニ關スル建議案(二三)外十一件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ翌二十五日報告書ヲ議長ニ提出セリ

即日議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一九三)參看)採用ノ結果委員長ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

二五八 廢兵優遇ニ關スル建議案

廢兵待遇ノ如何ハ將來士氣ニ影響スル所多大ナリ政府ハ宜シク之カ優遇方法ニ關シ案ヲ具シテ之カ實現ニ努ムヘシ

右建議ス

右ハ十四年三月二十日三橋四郎次君外六名之ヲ提出ス三月二十四日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)中林友信君外十名提出金鵝勳章年金改正ニ關スル建議案(一)外五件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ翌二十五日報告書ヲ議長ニ提出セリ

即日議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一九三)參看)採用ノ結果委員長ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

二五九 國有林野不要存置林處分ニ關スル建議案

政府カ現在國有林野ヲ處分シツツアル實蹟ヲ徵證スルニ要存置林野ハ是ヲ別トシ不要存置林野ヲ賣拂フニ當リ特賣ニ係ル林野ニシテ其ノ價格ノ不同ナルノミナラス反金高價ニ過キ此ノ處分ニ應スル地元民ノ苦痛甚シキヲ認ム斯テハ政府ノ對策タル農村振興ニ至大ナル關係アルヲ以テ

特賣方法ニ根本改善ヲ加ヘ價格ノ統一低廉ヲ圖リ穩便ナル處置ニ出テラレムコトヲ望ム
右建議ス

右ハ十四年三月二十日菅村太事君外六名之ヲ提出ス三月二十四日本案ヲ院議ニ附シ提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)八田宗吉君提出馬政振興ニ關スル建議案(一四七)外一件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ翌二十五日報告書ヲ議長ニ提出セリ

即日議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一九三)參看)採用ノ結果委員長ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

二六〇 樺太ニ常備兵設置ニ關スル建議案

南樺太カ帝國ノ版圖ニ入りテヨリ正ニ二十年此ノ間官民ノ努力ニ依リ相當ノ進歩發展ヲ見シト雖島民永住ノ心未タ鞏カラス殖産興業ノ實尙十分ナラサルモノアリ然ルニ同地ハ北樺太ニ隣接シ一衣帶水ヲ隔テテ西伯利ト呼應シ誠ニ以テ帝國ノ北方ニ於ケル善隣竝發展ノ爲ニ重要ナル土地ナリトス依テ政府ニ對シ速ニ同島拓殖ノ實ヲ完ウセラルルコトヲ望ムト共ニ今般北樺太ヨリ

撤退スル諸兵並軍用器材ヲ豊原ニ移シ以テ民心ノ安堵文化ノ發展ニ資セラレムコトヲ望ム
右建議ス

右ハ十四年三月二十三日森田茂君外九名之ヲ提出ス三月二十四日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨
辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)議長指名(九名)ノ委員ニ付託スルニ決シ即日議長之ヲ指名ス委
員ハ翌二十五日委員會ヲ開キ委員長及理事ノ互選ヲ行ヒ審査ノ末原案ヲ修正スヘキモノト決シ即
日報告書ヲ議長ニ提出セリ
(委員會報告書)

樺太ニ常備兵設置ニ關スル建議

南樺太カ帝國ノ版圖ニ入りテヨリ正ニ二十年此ノ間官民ノ努力ニ依リ相當ノ進歩發展ヲ見シト
雖島民永住ノ心未タ鞏カラス殖産興業ノ實尙十分ナラサルモノアリ然ルニ同地ハ北樺太ニ膚接
シ一衣帶水ヲ隔テテ西伯利ト呼應シ誠ニ以テ帝國ノ北方ニ於ケル善隣竝發展ノ爲ニ重要ナル土地
ナリトス然ルニ日露修交ニ伴ヒ薩哈噠守備隊撤去ト同時ニ南樺太ニ一兵ヲ駐メサルノ結果ハ一
朝事アル場合ニ於テ同地ノ防禦ヲ缺クカ爲住民一同不安ヲ感スルコト尠カラサルモノト認ム依
テ政府ハ南樺太ニ相當ノ守備隊ヲ存置セシメ在住民ヲシテ安ンシテ生業ニ從事セシメ同地拓殖

ノ實ヲ完ウセラレムコトヲ望ム

右建議ス

即日議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一九三)參看)採用ノ結果委員長
ノ報告ヲ省略シテ委員會報告ノ通修正議決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

二六一 地方鐵道買收法制定ニ關スル建議案

地方鐵道買收ニ關シテハ現行地方鐵道法第三十條乃至第三十五條ノ規定アリト雖頗ル簡略不備
ニシテ之ヲ往年西園寺内閣カ鐵道國有ヲ斷行シタル際ノ實蹟ニ比シ被買收鐵道ノ不利著シキモ
ノアリ爲ニ買收ノ實行ニ當リ紛議百出容易ニ解決ヲ見ル能ハス斯ノ如キハ既設地方鐵道業者ノ不
安尠カラサルノミナラス將來鐵道民設ノ氣運ヲ阻碍スルノ虞アリ故ヲ以テ本院ハ曩ニ第四十五
回議會ニ於テ速ニ完全ナル地方鐵道買收法ヲ制定セラレムコトヲ建議シ政府亦之ヲ容レ第四十
六回議會ニ際シ地方鐵道法改正案ヲ起テ法制局ニ於テ審査中偶々會期切迫ノ爲ニ議會ニ提出ニ
至ラス爾後二、三回ノ議會ハ解散其ノ他ノ事由ニ因リ此等重要問題ヲ議スルニ便ナラス本議會
ニ於テハ必ラスヤ之カ提出ヲ見ムコトヲ期待シタルニ拘ラス今日ニ至ルモ此ノ事ナキハ某等ノ

頗ル遺憾ト爲ス所ナリ政府ハ既往ノ事歴ニ鑑ミ將來鐵道政策ノ必要ヲ慮リ宜シク速ニ適當ノ改正案ヲ建テ議會ニ提出セラレムコトヲ望ム
右建議ス

右ハ十四年三月二十三日野村嘉六君外三名之ヲ提出ス三月二十四日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)多木久次郎君外一名提出二見港三田間鐵道速成ニ關スル建議案(三九)外二十九件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ翌二十五日報告書ヲ議長ニ提出セリ
即日議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一九三)參看)採用ノ結果委員長ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

二六二 長岡市ニ鐵道局設置ニ關スル建議案

羽越線ノ開通ハ日本海ニ面スル北日本縱斷幹線ノ完成トナリ關西地方ト東北及北海道トノ交通ヲ極メテ密接至便ト爲セリ而シテ近ク上越線ノ開通ハ茲ニ又關東地方トノ距離ヲ著シク短縮シ愈其ノ運輸連絡ヲ一新スヘキヲ信ス

政府ハ此ノ幹線ノ中央ニシテ上越線ノ起點タル長岡市ニ鐵道局ヲ設置シ其ノ運輸交通ノ統一圓滑ヲ期セラレムコトヲ望ム
右建議ス

右ハ十四年三月二十三日山田又司君外六名之ヲ提出ス三月二十三日日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)寺島權藏君外二名提出北陸ニ國立倉庫設置ニ關スル建議案(一九四)外九件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ翌二十五日報告書ヲ議長ニ提出セリ
即日議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一九三)參看)採用ノ結果委員長ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

二六三 長崎五島佐世保間命令航路ノ改善ニ關スル建議案

政府ハ長崎五島佐世保間命令航路ノ改善ヲ圖リ交通運輸ノ便ヲ期セラレムコトヲ望ム
右建議ス

右ハ十四年三月二十三日橋本喜造君外二名之ヲ提出ス三月二十四日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)多木久米次郎君外一名提出二見港三田間鐵道速成ニ關スル建議案(三九)外三十件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末(二三五)案ト併合シテ修正スヘキモノト決シ翌二十五日報告書ヲ議長ニ提出セリ(本項(二三五)參看)

即日議事日程ヲ變更シテ院議ニ付ス

(委員會並議事ノ經過及結果ハ本項(二三五)參看)

二六四 北川改修速成ニ關スル建議案

北川ハ京都府及滋賀縣ノ國境山脈ヨリ發シ若狹國小濱町ニ至リ日本海ニ流出スル河川ナルカ一朝豪雨ノトキハ直ニ大洪水トナリ増水ニ達シ小濱町ハ勿論雲濱今富國富ノ各村及其ノ沿川ノ土地一面ノ湖水ト化シ生命財產ニ危害ヲ受クル慘狀實ニ名狀スヘカラサル狀勢ニテ近年其ノ慘狀ノ度酷シク然レトモ福井縣ニハ越前地方ニ九頭龍川ノ改修アリ爲ニ北川改修ハ若干遲延ノ狀勢ニアルモ九頭龍川改修ハ完了シタレハ此ノ際該川ノ改修ヲ速ナラシメムコトヲ望ム
右建議ス

右ハ十四年三月二十三日谷口宇右衛門君之ヲ提出ス三月二十四日本案ヲ院議ニ付シ提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ(本項(一四〇)參看)寺島權藏君外二名提出北陸ニ國立倉庫設置ニ關スル建議案(一九四)外十件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ翌二十五日報告書ヲ議長ニ提出セリ

即日議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ作間耕逸君提出ノ動議(本項(一九三)參看)採用ノ結果委員長ノ報告ヲ省略シテ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

第六項 決議案

一 決議案(鐵道ノ既定計畫遂行ノ件)

政府ハ鐵道建設既定計畫ヲ遂行スヘシ

右決議ス

右ハ十四年一月十九日元田肇君外十六名之ヲ提出ス二月七日本案ヲ院議ニ付シ提出者(木下謙次郎君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

現政府ハ行政財政整理ノ名ノ下ニ、鐵道既定計畫ヲ破壞セントスルモノガアリマスノデ、是ニハ本員等ハ贊成スルコトハ出來ナイ次第デアリマス爲ニ、茲ニ本決議案ヲ提出スルノ已ムヲ得ザル次第ニ相成ツタノデアリマス、鐵道ノ既定計畫ト申シマスコトハ、加藤友三郎内閣時代ニ立案セラレマシテ、一定年度ニ於ケル鐵道ノ建設ヲ主ト致シテ居ル方針デアツテ、清浦内閣ノ實行豫算トシテ數字ノ上ニ現レマシタル大正十四年度ノ割當ハ、建設費ニ於テ七千三百萬圓、改良費ニ於テ一億三千萬圓デアアルノデアリマスガ、併シ我國ノ鐵道計畫ハ、單純ナル金額竝ニ年度ノミノ數字以外ニ、特別ナル意味ヲ持ツテ居ルト云フ點ニ付テ、私ハ一言ノ説明ヲ費スコトノ御許シヲ願ヒタイト考ヘルノデアリマス、諸君、我國鐵道ノ始メハ皆様御承知ノ通り京濱間ノ鐵道ノ開通、明治五年ニ於ケル其開通式ノ執行ヲ以テ始メノモノト致シテ居リマスコトハ御承知ノ通りデアリマスガ、其際ニ當ツテ 明治天皇陛下ハ親臨サレマシテ、茲ニ開通ノ式ヲ擧ゲサセラレ、其當時賜タル詔勅ニ、庶民ノ便利幸福ノ爲ニ帝國全土ニ鐵道ヲ蔓布敷設スルト云フ詔勅ヲ賜ッタノデアリマス、而モ此詔勅ハ炳トシテ日星ノ如ク我が帝國鐵道ノ五十年間ノ歴史ヲ照シテ居ルノデアリマス、而シテ此大御心ノ趣旨ガ明治二十五年ニ於ケル鐵道ノ敷設法トナリ、又明治四十年ニ於ケル帝國鐵道ノ國有法案ト相成リ、降ツテ大正九年、十年ニ於ケル敷設法ノ改正、竝ニ我が帝國鐵道網ノ成立ト相成ツタルモノデアアルノデアリマス、而シテ此鐵道網ナルモノ、目的トスル所ハ、全國ニ六千三百哩ノ新ナル線路ヲ選定シ、之ヲ法律ニ依テ決定シ、鐵道網成立當時ヨリ向フ二十年間ヲ以テ此事業ヲ完成スルト云フコトガ目標ニ相成ツテ居ッタノデアリマスガ、其當時此鐵道網ニ付テモ種々ノ反對論ガアツタ、或ハ無謀ノ計畫デアルトカ、或ハ餘リニ突飛ナ計畫デアルトカ云フヤナ反對論ガアツタノデアリマスガ、併シ我が帝國ノ鐵道ノ狀況ト、歐羅巴先進國ニ於ケル鐵道ノ狀況トヲ比較スレバ、甚ダ烏滸ガマシイコトヲ申上ゲマスルガ、統計ヲ引用スルコトヲ暫ク御許シテ願ヒタイト思フノハ、英國ハ人口一萬ニ付テ鐵道ノ敷設ハ五哩二分ノ割合ニ相成ツテ居リ、獨逸ハ英國ヨリモ少シ多イ統計ニ相成ツテ居ル、佛蘭西ハ人口一萬ニ付テ八哩ノ割合ニ相成ツテ居リ、亞米利加ニ至ツテハ人口一萬ニ對シテ二十四哩ノ割合ニ相成ツテ居ル、先進國ノ

中ニ於テ鐵道ガ最モ低級デアアルモノハ伊太利デアリマスルガ、其伊太利ニ於テモ人口一萬ニ對シテ三哩二分ノ割合ニナツテ居リマスガ、帝國ノ狀況ハドウデアアルカト云フニ、人口一萬ニ對シ僅ニ一哩半、伊太利ノ半バニモ及バヌト云フ程ノ狀況デアアルノデアリマス、是ニ至ツテ鐵道網ノ目的トスル如ク六千三百哩新線路ヲ完成シ、之ニ其當時マデ完成致シテ居リマスル所ノ一萬四千哩ノ既成鐵道ヲ加ヘ、日本全國初メテ茲ニ二萬哩ノ鐵道ガ蔓布サレル譯ニナルノデアリマスカラ、日本ノ全土ノ二萬哩ノ鐵道ヲ以テ日本ノ人口ニ割當テ、見レバ、如何ニモ人口一萬ニ對シテ三哩半ト云フ數字ヲ示スノデアリマスカラ、今後二十年間經ツテ初メテ伊太利ノ鐵道ト同ジ度合マデ進ミ得ルト云フコトガ、此鐵道網ノ目的デアリマスカラ、此鐵道網ノ目的ニ對シ、或ハ過大ニ失スルトカ、或ハ突飛ニ失スルトカ云フ如キハ、洵ニ取ルニ足ラザル議論デアツテ、實際ノ狀況ヨリ云ヘバ、此鐵道網ハ極メテ貧弱ナル計畫デアルト謂ハナケレバナラヌト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、併ナガラ吾々ハ國力ノ狀況、國ノ財政ノ狀況ニ考慮ヲシナケレバナラヌノデアリマシムカラ甚ダ不満足デアリマスルガ、此貧弱ナル計畫ノ下ニ官民共同一致シテ此事業ノ遂行ニ努メ來ツタコトハ諸君御承知ノ通りデアアル、而モ帝國今日ノ文化竝ニ國運ノ伸張ガ、此鐵道ノ進歩ニ負フ所少カラザルモノアルコトハ諸君ノ認識サレテ居ル通りデアリマス、隨テ今日議題ニナツテ居リマスル所ノ鐵道ノ既定計畫ハ、單純ナル金額ト數字ノ問題ニアラズシテ、或ル意味カラ云ヘバ維新以來ノ皇謨ヲ受ケタル所ノ我が帝國ノ國是ト言フテ宜シイモノデアルト私ハ信ズルノデアリマス、果シテ鐵道ノ此計畫ガ我帝國ノ國策國是デアラナラバ、區々タル財政整理ノ名義ニ於テ此基礎ヲ動カス如キハ、吾々ハ斷ジテ贊成スルコトノ出來ナイ所デアリマス、既ニ前申上ゲマシタ如ク鐵道ノ計畫ガ帝國ノ國是デアリ、且又是ガ生産事業トシテ我が帝國ノ發展ガ此事業ノ成否ニ俟ツモノアルヲ知ル以上ハ、吾々ハ此事業ノ財源ハ公債ニ求メテモ少シモ差支ハナイト云フ考ヲ持ツテ居ル者デアリマス、現政府ハ公債非募集主義ト云フコトヲ唱ヘテ居ラレマシタガ、仙石鐵道大臣ハ曾テ建設費ノ三千三百萬圓ヲ發表シ、與黨諸君ノ強要ニ依テ他愛ナク四千六百萬圓

ニ更ヘタノミナラズ其内ノ千五百萬圓ト云フモノハ公債ヨリ募集シテ、財源ヲ取ツテ居ルト云フコトヲ聞イテ居ルノデアリマスカラ、現内閣ノ公債非募集主義ナルモノハ、既ニ破レテ居ルト言ウテ宜シイノデアアル、公債非募集主義ガ既ニ破レテ居ル以上ハ千五百萬圓ヲ公債ニ取ルトスルナラバ、百尺竿頭一步ヲ進メテ二千萬圓、三千萬圓ノ財源ヲ公債ニ取ツテ、此事業ノ遂行ニ努メルト云フコトハ、少シモ差支ノナイコトデアラウト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、併ナガラ若シ政府ガ何等カノ御都合ニ依テ公債ニ財源ヲ求メルコトガ絕對ニ御困リニナルト云フ事情ガアルナラバ、必シモ公債ニ財源ヲ求メナイデモ既定計畫ノ遂行ニハ財源ヲ得ルコトハ格別困難ナ事ハナイト私ハ考ヘテ居ル、何ニ由テ此財源ヲ得ルカト云フニ、本年ノ鐵道省ノ豫算ニ現レタル改良建設ノ偏重偏輕ノ豫算ノ根本ヲ立直シテ、改良費ニ多分ヲ取ツテ居ル、或ル言葉ヲ以テスレバ無益ナル費用ヲ取ツテ居ルモノヲ以テ建設ニ差向クレバ、建設ノ目的ヲ達シ、本案ノ趣意ヲ貫徹スルコトハ、甚ダ容易デアリト云フコトヲ私ハ考ヘテ居ル、本年ノ豫算ノ建設費ガ四千六百萬圓、改良費ガ一億四千七百萬圓トナツテ居リマスルガ、清浦内閣ノ實行豫算トシテ曩ニ私ガ諸君ニ申上ゲマシタ數字ニ比較スレバ、建設費ニ於テ約二千七百萬圓ヲ減ジテ居ル、此費用ヲ減ジタ爲、四十四線ノ中二十九線ト云フ鐵道ノ線路ヲ犧牲ニ致シテ居ルノデアリマス、然ラバ改良費ハドウデアアルカト云フニ、建設費ハ二千七百萬圓ヲ減ジテ居ル所ニ、改良費ハ却テ千七百萬圓ヲ増額ヲ致シテ居ルノデアリマス、而モ改良費ハ千七百萬圓ヲ増額シテ居ルノミナラズ、豫算ヲ見ルニ二十年度マデニ六千二百萬圓増加スルコトノ豫算ノ立テ方ニ相成ツテ居ルノデアリマス、斯ノ如キ多額ノ金額ガ改良費ニ加ハルノミナラズ、鐵道省ノ鐵道會計ニ依テ見マスルニ、鐵道省ガ毎年使ヒマスル所ノ營業費ハ四億圓デアリマス、其四億圓ノ四分ノ一、一億萬圓ト云フモノハ、是ハ事業費ト云フ名目ノ下ニ改良費ノ中ニ使ハレテ居ルノデアリマス、事業費ノ一億圓ハ改良費ニ使ハレテ居ルノミナラズ、鐵道會計ヲ見レバ、其外ニ補充費ト云フ費目ガアリマスガ、此費目ハ年々九百萬圓カラ一千萬圓ヲ支出シテ居ルノデアリマスガ、之ヲ鐵道省内デハ小改良費ト稱シテ居ル、是モ同ジク改良費ニ使ハレテ居ルノデアリマスカラ、總テ是等ノ數字ヲ積算スレバ、改良費ト云

フモノハ洵ニ莫大ナル金額ニ上ルコトヲ私ハ申上ゲテ置キタイノデアリマス、本來既定計畫遂行ノ精神ヨリ云ヘバ、吾々今日ノ帝國ノ事情ヨリ顧ミテ、建設ヲ主ニシテ改良ハ從タルモノデナクテハナラヌト考ヘテ居ルノデアリマスガ、今此豫算ノ立テ方ニ依レバ、改良ガ主デアツテ建設ハ從デアアル、改良ヲ主ニシテ建設ヲ從ニスルト云フコトハ、洵ニ鐵道ノ政策ノ上カラ云ヘバ、本末輕重ヲ誤ツテ居ルモノト私ハ斷言致スニ憚ラヌノデアリマス、斯ノ如ク改良費ニ主力ヲ注イデ、改良費ニ豫算ノ多額ノ金ヲ取リマス爲ニ、仙石鐵道大臣ハ有ユル機會ニ於テ、改良ニ多額ノ金ヲ使ハナケレバ帝國ノ鐵道ハ危險デアルト云フコトヲ唱ヘテ居ル、豫算委員會ニ於テモ無遠慮ニ此言葉ヲ放言シテ居ルノデアリマスガ成程脱線或ハ衝突ニ依テ人命ヲ落ス者ガ年々少カラヌノデアリマスガ、其原因ヲ調べテ見レバ、多クハ從業員ノ怠慢ノ結果デアツテ、改良費ノ不足ノ結果斯ノ如キ災難ヲ招イタト云フ場合ハ殆ド無イノデアリマス、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ、此損害ハ鐵道大臣ノ監督不行届ノ責任デアツテ、何モ改良費ノ不足ニ關係シタ事ハ無イト考ヘル、斯ノ如キ事ヲ當局大臣タル者ガ濫リニ放言シテ憚ラザルモノハ、私ハ甚ダ無禮ナ言葉カハ存ジマセヌガ、改良費ヲ澤山取ル爲ニ國民ヲ啗喝シテ居ルモノト考ヘルノデアリマス、斯ノ如キコトハ當局大臣ノ言トシテ甚ダ不穩當ト考ヘマス、且ツ仙石鐵道大臣ノ豫算ノ編成方法ヲ見レバ、前ニ申上ゲマシタ如ク多額ノ改良費ヲ取リナガラ、而モ危險防止ト名ヅケラル、方面ノ金ノ支出ハ、前年度ヨリ少クナツテ居ルノデアリマス、斯ノ如キ方面ハ前年度ヨリ少クナツテ居ルコトハ、茲ニ仙石鐵道大臣ノ誠意ノ缺ケテ居ルト云フ半面ヲ明ニ曝ケ出シナガラ、一面多額ノ改良費ハ主ニ何ニ使ハレテ居ルカト云ヘバ、先ヅ改良費ノ使ハレテ居ル主ナル部分ハ、複線ガ甚ダ多イ、其次ニハ洵ニ無益贅澤ナ事ニ費用ヲ澤山使ツテ居ル、其次ニハ「ステーション」ノ改築ガ多イ、無益ノ改築ガ多イ、或ハ「ステーション」ノ移轉ガ多イ、現ニ一例デアリマスルガ、横濱ノ「ステーション」ノ如キハ諸君御承知デアリマスルガ、嘗テ横濱ハ都合ガ悪イカラト云フノデ、一度平沼ニ移シタコトガアリマス、年ナラズシテ平沼デハマダ都合ガ悪イカラト云ツテ現在ノ横濱ニ引戻シテアルノ

デアリマスガ、仙石鐵道大臣ハ又横濱デハ氣ニ喰ハナイカラト云フノデ、今度ハ平沼ト反對ノ方角ノ東神奈川方面ニ此「ステーション」ヲ移サウト云フ計畫ヲ致シテ居ルノデアリマスルガ、「ステーション」ヲ移轉ト人命ノ危險ト何所ニ關係ガアリマスカ、斯様ナ無益ナ事ニ金ヲ使フトスルナラバ、假令何億圓ノ金ヲ議會ガ承認スルトスルモ、此金ハ總テ死金デアリマス、私ハ斯ノ如キ無用贅澤ナル金ヲ取ツテ、ドウカ國家ノ爲ニ之ヲ建設ノ費用ニ充テタイト云フコトガ私ノ希望ノ一點デアリマス、尙ホ是レ以上ニ驚クベキ事ハ、豫算ニ増額サレテ居ル六千二百萬圓ト云フ數字ヲ示ス金額デアリマスルガ、其内容ヲ調べ見レバ、主トシテ電氣ニ關スル費用、其次ハ信濃川ノ鐵道省直營ノ工事ヲ中止シタル爲メ、其代用トシテ、新ニ東京附近ニ火力ノ發電所ヲ起ス工事ノ費用デアアルノデアリマス、此數字ハ六千二百萬圓ト云フ數字ニ上ツテ居ルノデアリマス、諸君、先般來新聞ニハ鐵道省ガ電力ノ購入ニ態々値上ヲスルト云フ記事ガアル、或ハ信濃川ノ發電所ノ工事ノ中止ハ、仙石鐵道大臣ト特別ナル關係ノアル某私立會社ノ利益ヲ圖ツテ居ルモノデアルト云フ世上ノ風説モアル、私ハ總テ之ヲ信ズル者デアリマセヌガ、茲ニ突如トシテ六千二百萬圓ト云フ數字ガ豫算ニ現レマシタ以上ハ、世間ガ之ヲ疑惑ノ中心トシテ眺メルコトハ無理カラヌコトデアリマス、私ハ昨日ノ豫算委員分科會ニ傍聽ヲ致シマシタガ、我黨ノ委員井出繁三郎君ニ依テ、信濃川ノ發電工事中止ノ理由ヲ質問ヲ致サレマシタ、其仙石鐵道大臣ノ答辯ヲ茲ニ御紹介シヤウト思フノデアリマスルガ、鐵道大臣ハドウ云フ答辯ヲシタカト云ハ、實ニ私ノ驚入ッタクコトハ、水力電氣ハ其效用ニ付テ自分ハ信用シナイ、是ガ中止ノ理由デアアル、殊ニ送電線ノ如キハ甚ダ危險ノ意味ヲ含シテ居ルノデアアルカラ、容易ニ水力電氣ノ如キ工事を進行スル譯ニハ行カヌ、自分ハ其ノ效用ニ付テ信用シナイ、實ニ驚イタ、仙石君ハ鐵道大臣ニ就任スル以前ハ、猪苗代ノ水力電氣ノ社長デアアル、其經營者デアアル、而モ猪苗代カラ東京マデ遠距離ノ送電線ニ成功シタト云フコトデ、仙石君ハ水力電氣界ノ「オーソリティー」トナツテ居ルノデアリマス、甚ダ失禮デアアルカハ知レヌガ、電氣ノ經營者トシテハ日本ニ有數ナ成功者デアアル、又鐵道大臣就任前マデハ水力電氣ノ有數ナル信者デアッタノデアリマスルガ、一タビ鐵道大臣ニナツテ、今度ハ、水力

電氣ハ甚ダ危險デ不信用デアルト云フ言葉ハ、如何ニモ君子豹變ノ手際ノ餘リ立派ナコトニ私ハ甚ダ驚クノデアリマス、ソコデ井出君ヨリ段々追詰メラレタ結果ハドウデアアルカト云フニ、實ニ益大臣ノ答辯ハ驚クベキコトニナツタ、ドウ云フコトヲ言フカト云フニ、イヤ信濃川ノ發電工事はヤリタイノデアアルガ、今日日本デ之ヲ擔當シテ成功サセ得ル技師ガ居ナイノダ、學術ノ上ニ於テモ經驗ノ上ニ於テモ、日本ニハ斯様ナ技師ガ無イノデアアルカラ、當分是ハ延期スルヨリ外仕方ガナイト斯ウ云フ、仙石君ハ猪苗代ノ水力電氣デアアノ通り成功シテ居ルデハナイカ、アレニ比ベテ見レバ信濃川ノ發電工事中止ハ何デモナイコトデアアル、ノミナラズ信越電力ナル一私立會社ハ同一地點ニ於テ、同一ナル工事を依テ工事を進メテ居ルデハナイカ、一私立會社ガ優ニ成シ遂ゲツ、アルモノヲ、政府ノ力ヲ以テ之ヲ成シ遂ゲルコトガ出來ヌト云フヤウナ話ハ、誰ガ其答辯ニ誠意ヲ置ク者ガアルデアリマセウカ、茲ニ至ツテ井出君ノ追窮ニ依テ、議論ハ益シドロモドロニナラザルヲ得ナイ結果ニ相成ツテ、究極ノ答辯ハドウナツタカト云ハ、結局ハ信濃川モ之ヲ拋棄スルノデアリナク、結局ハヤル積リデアアル、ソコデ井出君ハ結局ヤル積リデアアルナラバ火力ノ發電所ハ要ラヌノデアリナイカ、信濃川ノ工事を急イダラ宜イデアリナイカ、火力ノ發電所ハ二重ニナルデハナイカ、仙石大臣ハ答ヘテ曰ク、イヤ火力ハ信濃川ノ補充機關ニ使フ爲ニ折角設計ヲ致シテ居ル、斯ウ言フ、諸君、主力ノ機關ヲ中止シテ、後廻シニシテ、補充機關ヲ先ニ著手スルト云フヤウナコトガ世ノ中ニアルノデアリマセウカ、實ニ昨日ノ豫算委員會ニ於ケル狀況ヲ見レバ、私ハ仙石君ガ誠意ヲ以テ眞面目ニ答辯ノ任ニ當ツテ居ルカドウカト云フコトニ、深イ疑ヲ持ツテ居ル次第デアアルノデアリマスルガ、サリナガラ私ハ仙石君ガ斯ノ如キシドロモドロノ答辯ヲシタニモ拘ラズ、私ハ仙石君ノ頭ノ惡イ結果斯ウシドロモドロニナツタモノトハ考ヘテ居ラナイ、何等カ内部ニ言フベカラザル事情ガ伏在致シテ居ル爲ニ、斯ノ如キ現象ヲ呈シタノデアリナイカト考ヘテ居ルノデアリマス、吾々ノ見ル所デハ、斯ノ如キ無益贅澤ナ費用ニ貴重ノ金ヲ使フヨリモ、寧ロ國民ノ熱望致シテ居リマスル建設方面ニ此金ヲ使用スルコトニシタナラバ、國家ノ進運ヲ助ケルト同時ニ、仙石君ノ身邊ニ絡ツテ居ル其浮雲ノ疑惑モ一掃ガ出來ルダラウト思フカラ、

ドウカ仙石君ハ反省セラレテ、此費用ダケデモ鐵道建設ノ方ニ是非御廻シアランコトヲ切望スル次第デアリマス、最後ニ一言附加ヘテ置キマスル事ハ、鐵道ガ國家ノ文化ノ先驅デアリ、又國運ノ伸張ガ鐵道事業ノ進行ニ深イ關係ヲ持ツモノデアルコトハ、是ハ皆サン御承知ノ通りデアッテ、私ヨリ改メテ申上ゲル迄モナイコトデアリマスルガ、歐羅巴ノ事ヲ持出シテ御叱リニ相成ルカモ知レマセヌガ、結論デアリマスカラ御許ヲ願ヒマス、近來歐羅巴ノ識者ノ間ニ於テ、社會ノ最モ要務トスベキ當面ノ急務ハ有ユルモノヲ棄テ、モ農村ヲ都會化シ、農村ノ生活ヲ都會ノ生活ト變リナキ便宜ヲ與ヘルマデニ引上ゲルコトガ、社會ノ急務中ノ急務デアルト云フ議論ガ甚ダヤカマシイノデアリマス、而シテ農村ヲ都會化シ、都會ノ文化ヲ村落ニ移スト云フコトハ、如何ニスルモ鐵道建設ノ力ニ俟タナケレバナラヌト云フコトヲ歐羅巴ノ識者ガ折角言ウテ居ルデアリマス、歐羅巴ノ今日ノ狀況ハ前ニモ申上ゲマシタ如ク、實ハ鐵道ガ行渡リ過ギテ居ッテ、其爲ニ鐵道自身ノ經濟ガ甚ダ付キ惡イ位ナ狀況ニ相成ッテ居ル、鐵道學者ハ歐羅巴ハ餘リニ鐵道ヲ濫費シ過ギタ結果デアルト言ウテ居ルノデアリマス、ソレニモ拘ラズ斯ノ如キ議論ガ行ハレルト云フコトハ、農村ヲ都會化スルト云フコトノ目的ニ向ッテ、歐洲ノ識者ガ如何ニ心ヲ勞シテ居ルカト云フコトハ、一ツノ證據デアルト私ハ考ヘマスルガ、我ガ帝國ハ歐洲ト事情ヲ異ニ致シテ居リマシテ、マダ鐵道ガ中ニ普及致シテ居ラス、鐵道普及ハ今日ノ急務デアルノミナラズ、農村ノ疲弊ハ當今其極ニ達シ、農村振興ノ聲ハ國論ト相成ッテ居ルノデアリマスカラ、鐵道ヲ建設シテ農村振興ノ意味ヲ緩和スルコトモ、是モ或ル意味ニ於テハ此鐵道ノ既成計畫ヲ遂行スル上ニ於テ、大ナル異議ノアルコトデハナイト私ハ確信ヲ致シテ居リマス、三派ノ諸君ニ於テハ、無論鐵道ノ計畫ノ遂行ニ御異議ガ無イコトハ嘗テ仙石大臣ガ三千三百萬圓說ヲ發表致シタ時分ニ、三派ノ諸君ガ之ヲ四千六百萬圓ニ變更サシタ、其諸君ノ御働ハ私ハ多シトシテ感謝スル所デアリマスガ、併シ四千六百萬圓ニナツタ事ヲ諸君ガ満足ヲ致シテ居ル譯デハナイノデアリマス、特別ノ事情ノ爲ニ唯我慢ヲ爲サレテ居ルノミデアッテ、實ハ御満足ノ結果デハナイノデアリマスカラ、私ハ茲ニ本決議案ヲ提出致シマシテ、ドウカ皆様方ガ黨派ニ關係ナク超越シテ、我ガ國力ノ

發展、文化ノ先驅ノ爲ニ此決議案ヲ滿場ノ御同意ヲ得テ、滿場一致此議場ヲ通過致シマスルヤウニ諸君ノ御反省ヲ御願ヒスル次第デアリマス

右ニ關シ田淵豊吉君ハ政府ニ對シ質疑ヲ爲シ仙石鐵道大臣之ニ應答ス

田淵豊吉君ノ質疑

諸君私ハ餘リ鐵道ノコトハ知ラヌノデス、極ク素人デアリマスガ、ドウカ相當ニ重大ナル問題デスカラ暫クノ間御清聽ヲ願ヒタイ、是マデハ封建時代デアッタ日本ガ統一サレテ、ソレカラ世界的ニナツテ來タ、此ニツヲ見ナケレバナラス、所ガ國際會議ガ起ッテ居リマス所ガ日本ダケデモ分リハシナイ、統一ガナイ、ソレデ國際會議ニ出テモ何ニナル、サウ云フノガ多イ、内閣デモサウダ、皆チリ、バラ、デアル、少シモ統一ガナイ、元田君デモ大木君デモ、經濟ノコトハ能ク知ラス、元田君ハ法律家デ經濟ノコトハ知ラス、仙石サンデモサウデアリマス、鐵道ノ大工ノコトハ知ッテ居ルガ、經濟ト云フ大キナ頭ガナイカライカヌ、政友會デモサウデセウ、政友會デモ教育ノコトハ人ヲ造ル、交通ハ物資ノナニガヤル、物資ヲ交換シテ自由自在ニヤルト云フコトニナツテ居ル、ソレデ日本ハ段々是ハ改良ト云フコトニモ關係ガアリマスガ、世界道ト云フモノヲ造ラナケレバナラス、世界ノ日本デアリマスカラ、世界ト云フモノト日本トノ間ノ交渉點ヲ取ラナケレバナラス、詰リ經濟ノ根本ト申シマセウカ、何ト申シマセウカ、今日ニ於テハ交通運輸通信ト云フコトハ經濟ノ殆ド中樞ヲ成シテ居ルノデアル、支那ガ金貨本位ヲ採用出來マセヌノハ民度ノ低イノト、鐵道ガ完成シテ居ナイカラ金貨ノ輸送ニ於テモ困ル、ソレデ金貨本位ヲ採用スルコトガ出來ナイ、日本デモ都會ト田舎ト金利關係ガ違フト云フ、總テノ點ニ於テ私ハ經濟ニ大ナル關係ガアルト思フ、ソレカラ總テノ統合シタ頭ヲ大臣ガ持ッテ居ナイ、今回デモサウデス、局長アタリハ建設ヲヤリタイガ、仙石サン一人デ改良シヤウト云フ、仙石サン一人ガ政黨ヲ引廻シテ、局長ナドヲ引廻シテ、一人ノ頭デヤッテ居ル、又此處ニ座ッテ居ル人、濱口サンハ頭ガ堅イカラ金ヲ出サヌ、仙石サンモ

困ッテ居ッタ、是ハ仙石サン一ツノ頭デ拵ヘタ案ナノダ、外ノ者ハ知ラナイ、是ハ餘談デハナイケ
 レドモ、重要ナコトデスケレドモ、又本問題トハ關係ガアルケレドモ、比較的薄イカモ知レヌ、併
 シ相當ニアルト思フ、私ノ言ント欲スル所、政府ニ聽カント欲スル所ハ、此經濟ト云フモノハ御
 存知ノ通り、生産ト云フモノト此分配論ガ世界ノ大問題ニナッテ居ル、生産論ハ幾何カ閑却サレ
 テ、分配論ガ世界ノ大問題トナッテ居ル、サウシテ生産論ニ於テハ生産ノ「オルガニゼーション」、
 生産ノ機關ノ改造ト云フモノガ生産論ニ於テ最モ重大ナル關係ヲ持ッテ來テ居ルノデアリマス、
 サウシテ最モ必要ナル分配論、或ハ社會政策ト云ヒ、或ハ社會主義ト云ヒ、共產主義ト云ヒ、此世
 界ノ大勢ハ則チ生産ノ方法、及ビ殊ニ分配ノ點ニ於テ、非常ニ唯物觀ヲ主張スル「マルクス」ノ影
 響ヲ受ケテ、ソレニ非常ニ集中シテ居ルト云フ状態、由來人間ハ物質的ノ事ガ多イ、故ニ人權ノ
 發達交通ノ發達ト共ニ、益ヒドクナルト思フ、然ルニ現内閣ノ状態ヲ見マスト、現内閣ノ加藤
 高明君トカ、仙石君ハ元ハ鐵道ノ私營主義ヲ唱ヘタ人達デアアル、營利主義デアアル、成ベク鐵道カ
 ラ金ヲ多ク取ラウト云フ營利主義デアアル、此營利主義ガ今日モ拔ケナイデ——西園寺サンカ知
 ラヌガ、政友會ノ連中ガ國營主義デナケレバナラヌト云フ、故ニ私營主義ノ憲政會ト國營主義ノ
 政友會ト云フモノハ、兩々相容レナイ所ノ主張ヲ持ッテ居ルコトハ固ヨリ明デアアル、然ルニ今ノ仙
 石君アタリガ矢張今回ヤッテ居ルノハ、中央集權的デアアル、保守的デアアル、商工的デアアッテ、地方的
 デナク、農村的デナイト云フノデアリマス、是ガ重大ナル所ノ岐レ目ニナッテ居ル、私營主義デア
 リマス、改良ト雖モ「インテンシブエキステンション」トモ云ハレマセウ、即チ集約的ノ建設デア
 リマシテ、即チ一ツノ「エキステンション」デアアル、即チ一種ノ建設延長デアアル、ケレドモ都市ニ集
 中シテ居ルノデアリマス、或ハ車輛ノ改良トカ、或ハ電化政策トカ、或ハ鐵道ノ「レール」ヲ複線
 ニスルトカ、或ハ停車場ヲ直ストカ、橋ヲ直ストカ、名古屋アタリノ人ハ怒ラル、カモ知レナイ
 ガ、名古屋邊リデハ若シ鐵道停車場ヲ旨クシテ吳レナケレバ、脱黨シテモ名古屋ノ改築ヲヤラウ
 ト言ッタコトヲ聞イテ居ル、大阪モサウデアアル、大阪ノ新聞デ提燈ヲ持ッ、東京モ金ヲ取ッテ居ル、
 殆ド震災後燒太リスルヤウニナルマデ取ッテ居ル、都市ハ皆非常ニ良イ、都市集中主義カラ割出

シテ東京、名古屋、大阪ノミナラズ全國ニ既成線ナドニモ及ンデ居ル、之ヲ或ル點カラ言ヘバ集
 中主義、營利主義、「コムビネーション」デアリマス、又一方政友會ハ黨勢擴張ノ爲ニ成ベク地方
 ニ鐵道ヲ架ケルト云フコトヲヤッタデハナイカ、所ガ憲政會ハドウカト云フト、矢張都市ノ議員
 ガ多イカラ、議員ノ取レナイ所ノ何所ニ持ッテ行ッテモ政友會ニ取ラレテシマフカラ、小サク固マッ
 タ所、黨勢ノ擴張ヲヤラウト云フノガ憲政會ノ肚デアラウト思フ、此集中主義的營利主義ト國
 營主義トハ違ッテ來ルコトハ、政友會ノ諸君ニ明瞭ニ分ッテ居ル、私ハ斯ウ云フヤウニ思フノデゴ
 ザイマス、鐵道ト云フモノハ、國ガ立法權、司法權、行政權ヲ持ッテ居ッテ、統治權ノ大ナルモノガ
 アル以上ハ、司法ノ上ニ於テモ、通信ノ上ニ於テモ、郵便物ヲ送ッタリスルモノ、又軍備ノ上ニ於
 テモ、或ハ經濟ノ上ニ於テモ、教育ノ上ニ於テモ、此日本帝國ト云フモノハ一ツノ統一シタ所ノ
 有機體ノヤウナモノデナケレバナラヌ、故ニ各地方ニ向ッテモ矢張鐵道ヲ架ケテ、サウシテ是等
 ノ行政機關ノ活動、司法機關ノ活動、軍備機關ノ活動ヲシテ完全ニセシメナケレバイカヌト思フ
 ノデアリマス、是ハ小サイ問題デナイト私ハ固ク信ズル、ノミナラズ此大ナル所ノ經濟網ト云フ
 モノヲ張ッテ、成ベク安ク、成ベク早く其物ヲ連絡スルト云フコトニナルト、或ハ魚デモ、或ハ材
 木デモ、或ハ肥料デモ其他諸々ノ物資ヲ運搬スルニ付テ非常ニ安イ、又金利モ安クナルト云フ状
 態デアリマス、今日總テノモノヲ都會ニ集中シテ、都會ガ段々集中シテ、其弊ニ堪エナイト云フ
 山集ッテ來テ、社會政策ト云フコトデ金ガ要ルト云フコトニナル、農村振興ニ付テモ農務局ナド
 ハ與リ知ラヌ、鐵道ノ改良ト建設ガ如何ナル關係ガアルカラ知ラナイ、唯仙石サンハ大工サンノ
 ヤウニ鐵道ヲ知ッテ經濟ヲ知ラヌ、經濟ヲ知ッテ財政及日本ノ生命ヲ知ラナイ人ガヤッテ居ルカ
 ラ、其人ノ拵ヘタ案ハ見ナクテモ分ッテ居ル位ノモノデアアル、彼ノ露國鐵道ハ極東ノ大政策ヲヤ
 ル爲ニ西伯利マデ佛蘭西ノ金ヲ借ッテ來テハ佛蘭西ハ後デ困ッタガ、非常ナル所ノ大計畫ヲヤッタ
 故ニ鐵道ノ政策ヲヤル上ニ於テ私ハ非常ニ今ノ内閣ハ間違ッテ居ルト思フガ、間違ッテ居ナイカ
 ドウカ、私カラ言ヘバ改良費ト云フノハ、即チ既ニ敷イタ所ニ以テ行ッテ、又鐵道ヲ架ケルト云フ

コトハ、百圓ヤッタ人ニハ百圓ヤルガ、マダ約束シテ居ルガ百圓ヤラナイ人ニハ百圓ヤラナイ
 デ、延バシテ置クト云フヤウナ案デア、是ハ先ニ言ウタ所ノ分配論ノ上カラ非常ナ所ノ不公平
 ヲ來ス、サウシテ全身ノ大ナル活動ガ出來ナイノハドウデア、其一例ニ小サイ例ヲ引クト
 「バス」ノ問題即チ無賃乗車券問題ガサウデア、
 「バス」ハ前鐵道大臣トカ、或ハ新聞記者アタリ
 ニハ社ヘ二三枚ヅ、配ッテ居ルラシ、然ルニ警察トカ國家ノ活動ノ源泉機關デア、立法部ノ議
 員ニ與ヘヌト云フコトハドウデア、取上ゲルト云フコトハドウデア、諸君實ニ怪シカラ
 ヌ、是ハ先ニ言ウタ營利主義カラ來テ居ル、個人主義的カラ來テ居ル、諸君鐵道從業員ハドウ
 アルカ、從業員ノ家族ハ能ク知リマセヌガ、約十六萬人アルト云フ、十六萬人ノ人ニ一人ノ從業
 員ニ付キ二人ヲ限リ十五日分ニ回與ヘテ居ル、即チ年ニ一人ニ付キ九十人分與ヘテ居ルカラ、之
 ニ十六萬ヲ乗ケレバ非常ナ多數ノ人ニ、鐵道ハ年ニ二等ヤ三等ヲ與ヘテ居ルノデア、是ハ寧
 是等ノ人ニハ金ヲ與ヘテ少シデモ給與ヲ増シテヤル「バス」ヲ與ヘテ必要ノナイ所ヲ見物スルヨ
 リハ給料ヲ増スノ方ガ宜イト思フ、然ルニ從業員ハ兎モ角其家族ニ與ヘテ居ル、是ハ本當デア
 カ、若シ本當デアレバ斯様ナ人ニ與ヘルヨリハ寧ロ國家ノ現業員デア、警察官或ハ立法部ニ向ッ
 テ、之ヲ與ヘテ自由自在ニ政府ヲ監督スルニ便ニスルガ宜イ、サウシテ遺利ヲ開發スルニ便宜ヲ
 與ヘルガ宜イ、然ルニ政府ハ成ベク監督サレタクナイ、ソレデ鐵道從業員家族ニハ與ヘテ、サウ
 云ウコトヲシテ居ルノハ如何ニモ鐵道自身ガ何ヲヤラウトモ外ノ者ハ黙ッテ居ルト云フ主義デ
 アツテ、盲目ナル人ニハ出來ルカ知ランケレドモ、明晰ナル所ノ國家的觀念ヲ有ッテ居ル人ニハ到
 底斯ウ云フ大臣デハ、却テ鐵道ハ敷カレヌト云フコトハ分ッテ居ル、故ニ「バス」ヲ出スナラバ宜
 イ、若シ出サネバ吾々ハ法律案トシテ取ッテ見セルツモリデア、英國デモ二三年前デシタカ議
 員ニ鐵道乘車賃ヲ與ヘルヤウニナッテ居ル、獨逸デモ聞ク所ニ依ルト新憲法ニ於テ議員ニ「バス」
 ヲ與ヘテ居ルト云フコトデア、故ニ斯ウ云フ點ニ於テモ若シ從業員ガ金ガ要レバ從業員ニ幾
 分金ヲ増シテヤレバ宜イ、サウ云フ餘計ナコトヲシテ本末輕重ヲ誤ッテ居ル、小サイ事柄ガ即チ
 鐵道計畫ニ現ハレテ來テ居ルト云フコトヲ、私固ク信ジテ疑ハナイノデア、リマス、第二點トシテ

聽キタイノハ法律デ、地方民ガモウ既ニ架ルモノト思ッテ居ッテ、待チニ待ッテ居ルモノヲ、又延バ
 スト言フコトハ、其地方ノ人ミガ思ッテ居ル所ノ商賣ノ思惑トカ其他色々ノ點ニ於テ齟齬ヲ來シ
 テ居ルモノガアル、心ノ痛ミヲ感ジテ居ル、色々ノ請願人ガ請願シテ來ルノニ隨分金ガ要ッテ居
 ル、私共ノ所デモ或ル町ナドハ請願ノ爲ニ金ガ入り過ギテ困ッテ居ル所ガアル、是ハ政友會ノ諸
 君ノ罪ノ一斑デア、サウ云フヤウナコトヲシテ鐵道計畫ヲヤルガ爲ニ地方民ガ迷惑ヲ蒙ッテ居
 ル、一旦國家ガ法律デヤルト云フコトヲ定メタ以上ハ萬難ヲ排シテヤッタラドウカト思フノデア
 ル、然ルニ諸君一方ニ於テハ此改良費ノ總額ニ於テ六億一千六百萬圓ノモノガ、七億二千四百萬
 圓、約一億八百萬圓ヲ増シテ居ル、建設費デハ五億三千六百萬圓ヲ五億五千五百萬圓ニシテ、約
 一千九百萬圓シカ増シテ居ラヌ、一方ニ於テハ一億八百萬圓ヲ増シ、一方ハ千九百萬圓シカ増シ
 テ居ラヌ奇現象ヲ呈シテ居ル、是ハ何故デア、色々ノ關係モアリマセウガ、斯ウ云フヤウナ
 偏頗ナル所ノ政策ヲヤレバ、吾々ハ思想ノ惡化ヲ來スト固ク信ジテ居ルノデア、既ニ來シテ居
 ル——事實デア、次ニ私ハ此改良ガ必シモ改良ニ據ラナケレバ、先ノ人ガ言フタヤウニ今直グ
 人ガ落ツコチテ死ヌト云フ譯ノモノデナイ、故ニ地方ノ鐵道ヲ敷イテ後ニ、廣軌ナリ何ナリヤ
 ルト云フコトヲヤッテモ宜イト云フ議論モ附クノデ、是ハ大分極端デア、ケレドモ、サウ云フ議
 論モ附キマセウ、仙石サンガサウ云フ所ニ掛ッテ來ルト斯ウ云フ議論モ附ク、故ニ必シモ鐵道ノ
 改良ヲシナケレバ日本ガ引線リ返ル譯デナイ、故ニ此點ハ非常ニ考慮シナケレバナラヌ、仙石サ
 ンノ頭デハドウシテモ斯ウ云フヤウニセンケレバ營利主義ニ行カヌト云フ考カラヤラレタノデ
 アラウガ、少シヤリ過ギデハナイカト思フ、十四年度ニシマシテモ、片ッ方ノ改良費ハ引カナイ
 デ、片ッ方ノ建設ハ九千萬圓ノヲ四千六百萬圓ニ殆ト半額ニマデ減ジテ居ル、ソナナ馬鹿ナ話ハ
 ナイ、出來ナケレバ兩方デ減シタラ宜イデヤナイカ、私ハ公債政策デ公債ヲ募ッテヤレト云フ岩
 崎勳君ハ、七千萬圓ハ取ッテ見セルト言ッタガ、ヨウ取ラヌデヤナイカ、四千六百萬圓シカ取ラヌ、
 併シ政友會ハ仙石サンヲ虐メテ居ル、非募債政策デア、カラ困ル、幾分金デモ借リテ吳レタラ宜
 カラウ、サウシテヤリタイト云フ憲政會ノ非募債政策ノ後ロニ乗ッタカラ、仙石ガ行キツ戻リツ

シテ居ル、ソレデ仙石サンハ大藏省へ行キマスト言ッテ、大藏省へ行ッテモ最初僅ニ八百萬圓シカ借リテ來ナイ、サウ云フヤウナ問題デ非常ニ此改良偏重ノ嫌ガアルト云フコトハ私ハ宜クナイト思フ、第三ニ今度出シタ所ノ改訂ノ案ガ二十四年度ニナッテ完成サレルト言ウテ居リマスガ、私ハ鐵道ノ事ハ能ク知ラヌケレドモ、恐クハ二十四年度ニハ完成スマイト云フコトヲ、是ハ私ノ最モ強イ議論、此點ニ付テ的確ナル所ノ御答辯ヲ願ヒタイ、ソレハドウ云フ譯デアアルカト云フト此處ニモアリマスガ、各目ノ點ニ付テ言ヒマスト大分同ジヤウナモノガアル、曩ノ計畫ト今ノ計畫トハ大分違ッテ少シバカリ増シテ居ルト云フ點ハアリマス、ソレカラ此新見三次間ノ鐵道ハ私ガ間違カ知リマセヌガ、一千三百萬圓ヲ曩ニ計上シテ居ルノヲ今回ハ九百萬圓デアアル、約四百萬圓減ジテ居ル、即チ三割方減ジテ居ルト云フコトデアアル、是ハ果シテ其線ノ測量ガ間違ッテ居ッタカ、外ノ點ニ於テ違フカ知レマセヌガ、物價ハ一緒デアアルノニ何故此線ダケ三割引イテ居ルカ、又サウシテ盛岡、山田線等ハ千九百八十萬圓ノモノガ、千八百八十萬圓ニナッテ五分ノ割引ヲシテ居ル状態デアアル、更ニ私等ノ選舉區デアアルカラ能ク知ッテ居リマスガ、此紀勢線ハ二十四年度ノ完成ニナッテ居ルケレドモ、約三割減ニナッテ居ル、外ノモノハ長岡、高崎間ハドウ云フ譯カ知リマセヌガ二百五十萬圓ト云フモノヲ八百萬圓増シテ千二百萬圓ニシテ居ル、此數字ハ間違デナイカ知ラヌト思フガ、是ニハ何カ重大ナコトガアルノデアアリマセウ、其他ノ點ニ付テ池田山田間ノモノハ矢張少シ増シテ居ルト云フヤウナコトニナッテ居ル、サウシテ伯備線此線ハ四百四十萬圓ガ八百十萬圓、約二倍ニナッテ居リマス、片方ハ少シ増シテ居ルガ、片方ノモノハ少シ減ッテ居ルト云フコトデ、總額ニ於テハ少シシカ違ハヌト云フコトデアアル、試ニ私ガ聞イタ所ニ依リマスルト、私ハ能ク知ッテ居ルガ、私等ノ紀州ヲ貫通シテ居ル所ノ二百四哩ノ此鐵道ハドレダケ金ヲ投ジテ居ルカト云ウト、大正十三年度ノ十月マデニ九百萬圓出シテ居ル、ソレカラ後約三千二百萬圓、合計四千萬圓デ、ドウシテ諸君出來マセウカ、必ズヤ是ハ一哩平均三十萬圓掛ッテ、少クトモ六千萬圓ハ掛ル筈デアラウト思フ、物價ノ高低モアラウケレドモ、大體今日ハサウ見ラレルト思フノデアリマス、果シテ是ガ四千萬圓デ出來ルカドウカト云フコトヲ仙石サンニ御尋シ

タイ、是ハ一體仙石君ノミナラズ、總テノ人ガ嘘ツバチヲ書イタモノデハナイカト思フ、今八田君ニ聞クト曩ノ原案ト云フモノハ大正八年ノ時ノ物價デアッテ、約二割方其時ノ方ガ高クテ、今ノ方ガ安クナッテ居ル、故ニ安イノハ當リ前デアリマスガ、今日勸業銀行カラ指數ヲ取寄セテ調べタガ、其指數ダケデハ分ラヌカ知ラヌガ、八年ト今トハ一割二步五厘下ッテ居ルノデアリマス、併シ又三土農商務次官ハ議會デ八年ト今日トハ一圓何十錢ノ勞銀ガ二圓何十錢ニ變ッテ居ルト言ッテ居ッタト人カラ聞イタ、大體カラ言ヘバ安クナッテ居ナイ、寧ロ私ハ其時モ更ニ他ノコトヲ見積ッテヤラナケレバナラヌ、此「ライン」デアアル、然ルニ其額ヨリモ更ニ尙ホ三割モ少ナイト云フ今ノ物價モ安クナイノデアリマス、其安クナイ物價デ三割ト云フモノヲ減ジテ、果シテ出來マセウカドウデアリマセウカ、私ハ他ノ線ハ能ク知リマセヌガ、此他ノ線モ是デ果シテ出來マセウカ、又全國ノ線ガ果シテ是デ出來マセウカドウカト云フコトヲ御尋シタイノデアリマス、其證據ト云ッテハヲカシイガ、私ハ岐阜建設事務所ニ行キマシタ、サウシテ其處ノ相當ノ役人ニ會ッタノデアリマス、サウシタラ年々二百萬圓宛兩方カラ出シテ、即チ四百萬圓位出シテヤレバ、十三年度ノ春ノ計算ニ於キマシテハ大正二十八年度ニ完成スル見込デアアルト云フコトヲ言ッテ、詰リ岐阜建設事務所ノ役人ガ誤リデアルヤ如何、仙石サンガ遠クニ居ッテ知ッテ居ラヌノカドウカト云フコトヲ聞キタイ、現ニサウ言ッテ居ルノデアアル、又或ル有力ナ者モ紀勢鐵道ハ二十四年度迄ニハ出來マイト言ッテ居ル、コンナ小サイ金デドウシテ出來マセウカ、四千萬圓ト云フモノハ大キイ方デ——年度割ヲ見ルト三千九百萬圓ト云フノハ大キイ額ニナッテ居ッテ、十四年度ニ於テハ百三十萬圓十五年度二百二十萬圓、十六年度百八十萬圓、十七年度二百六十萬圓、コンナ小サイ金デドウシテ出來マセウカ、斯ウ云フ出來ナイ所ノ案ヲ出シテ諸君ヲ欺イテ居ルモノデアアルト云フコトヲ私ハ固ク信ズルノデアアル、諸君、是ハ重大ナル所ノ問題デアアル、政府ハ斯ノ如キ不眞面目ナル案ヲ出シテ、此位ノ金デ地方民ヲ釣ル爲ニ此原案ヲ拵ヘタモノデハナイカ、是ハ提出者ノ人ニモ聞キタイ、諸君ハ果シテ此原案ニ依テ出來ルモノデアルト信ジテ居ラレルカ、ソレヲ聽キタイ、今ノ内閣ヤ之ヲ支ヘル所ノ人ニ明ニ是ガ出來ルカ出來マイカト言フコトヲ十分ニ踏査シタ

ノデハナイト思フ、吾々ハ金モナケレバ書記モナイ、何モ十分ニ調ベルコトハ出来ナイガ、併ナ
 ガラ吾々ノ見解デハ到底出来ナイデアラウト云フコトヲ信ズル、況ヤ諸君ハチャランボランナ
 モノヲ以テ遅イトカ早イトカ云フコトヲ言フノハ、是ハ殆ド「ノンセンス」デアルト云ヘル、此中
 ニハ出来ルモノモアリマセウケレドモ、出来ヌモノモ多イ、元田君モ鐵道ハ一年ヤ二年ハ既定ヨ
 リハ大抵後レルト云ハレタ事ガアリマシタ、是迄政友會ハ地方民ヲ釣ツテ居ッタノデアラカラ、嘘
 バカリ言ツテ黨勢擴張ヲヤツテ居ッタノデアアル、斯ウ云フ状態デハ日本ノ人民ハ惡化スルバカリデ
 アル、モウ少シ正確ナ綿密ナ案ヲ出シテ貰ヒタイ、十分ニ調査モセズシテ斯ウ云フ案ヲ出シタト
 云フコトハ、私ハ間違デアルト思ヒマスガ、不幸ニシテ後ニ私ノ言ガ當ルノデハナイカ知ラヌト
 云フコトヲ虞レルノデアリマス、故ニ諸君ハ此既定ノ計畫ヲ一日モ早クスルナラバ、公債ニ依ル
 カ何トカシテ既定ノ地方鐵道ヲ完成シナケレバナラヌ、私ハ二十四年ニ完成スル案ニハ反對デ
 アル、モット早イ案ニ賛成デアリマス、併シ此原案モ怪シイ、況ヤ二十四年ノ此案ニ於テハウント
 減ジテ居ルカラ出来ナイト思フガ、ソレヲ仙石君ニ聽キタイ、又青木次官ニモ聽キタイ、目ト
 云フモノハ此方ノ都合デ何方ニデモ延ベ繰リガ出来ルト云フヤウナ事ヲ言ハレルノハ、三文政
 治家ノ言フ事デアアル、本當ノ官吏、本當ノ政治家ノ言フコトデハナイ、款項ノ流用ハ容サヌケレ
 ドモ、目ノ流用ヲ容シテ居ルト云フノハ、其工事が出来ナイ場合ニ後ノ年ニ其ノ金額ヲ戻ス必要
 ガアルノデ、勝手ニ目ノ金ヲ減ズルノハ不可デアアル、此神聖ナル議場ニ於テ目ヲ出シ、金額ヲ明
 示スル必要ハナイ、既ニ其年度割ヲ出シタ以上ハ、之ヲ十分確實ニシテ置クト云フコトハ人心ヲ
 安ンジ、經濟ヲ安ズルト云フコトハ、是ハ大ナル目的デハナイカト思フ、此點モ大ニ注意シナ
 ケレバナラヌ、ソレヲ仙石君ガ一人デ切廻スト云フコトハイケナイト思フ、ソレカラ是ハ毒舌ニ
 ナルカ知レマセヌガ、本黨ノ提案者ニ對シテモ政府ノ計畫ノ二十四年デ果シテ出来ルト思フテ、
 斯ウ云フ事ヲ御出シニナッタノデアルカ聽キタイ、何故ナレバ現政府ト諸君ノ議論ノ根柢ヲ明
 カニシテ置キタイト云フコトガ一ツト、一ツハ若モ清浦内閣ガ潰レナシタラ清浦君ノ案デ
 モ大體同ジデアリマスガ、紀勢鐵道ノ如キ三年繰延ノ此案ニ諸君ハ賛成シタノデハナツカタク

カ、如何ニト云フニ政友會ハ憲政會ニヒコ摺ラレテ居ルデハナイカ、若シ清浦内閣ガ續イテ居
 タナラバ、此案ヲ出シテモブウトヤカマシク言ハナシタト思フ、若シ諸君ガ合同サレテ内閣ヲ
 組織シタナラバ、合同ハ宜イガ片方ハ公債ニ依ル、片方ハ公債ニ依ラヌト云フコトニナレバ大
 問題ガ起ツテ來ヤシナイカ、貴族院ノ改革ト云ヒ、普選ト云ヒ、兩々相對シテ主義ニ向ツテ違フ
 ケレドモ、政策ハ一致シテ居ルト云ヒナガラ政策モ異ルト云フ現象ヲ呈スルカラ、ソコニ於テ諸
 君ハ大ニ考ヘナケレバナラヌ、是ハ要ラヌヤウナ事デアリマスケレドモ、政治上ノ重大問題デア
 リマスカラ、一寸聽イタノデアリマス、大分多岐ニ互リマシタケレドモ、出来ルダケノ答辯ヲ政
 府ニ煩シ、又提案者ニモ幾分カ答辯ヲ望ムノデアリマス

仙石鐵道大臣ノ應答

只今田淵君ノ御質問ニ對シテ御答致シマスガ、多クハ御議論デアリマシテ、私ガ答辯スル程ナ要
 領ハナイト思ヒマスガ、併シ茲ニ三點アル、一ツハ今日ノ鐵道ヲ經營スルニ經濟的方針ヲ以テヤッ
 テ居ルヤ否ヤト云フコトガ第一點、是ハ勿論ノ事デ、國有鐵道ハ單ニ經濟バカリデハイカヌ、他
 ニ種々ノ方面ニ於テ考慮スル事ガアリマスルガ、主トシテ經濟ハ尊重スル、不經濟ノ線路ハ成ベ
 ク後廻シニスル、經濟ニ役立つカ竝ニ又便宜——一概ニ收入ハ擧ラナイデモ非常ナ便宜ヲ致
 ス線路ガアル、サウ云フノハ矢張ヤルノデアリマス、故ニ單ニ收入バカリデナシニ、地方ノ便宜
 モ圖ツテ之ヲ考慮シテ居ルノデアリマス、是ガ即チ今日鐵道ヲ選定スル方針デアリマス、次ニ「バ
 ス」ノ問題、是ハ社會ノ人ニモ相當ノ満足ヲ與ヘル爲ニ、或ル方面ニハ與ヘテ居リマス、是モ事實
 デゴザイマス、又第三ニ諸種ノ計算ガ色々ニナツテ居ルガ、是デハ出来ナイデアラウト云フ御質
 問デアリマスガ、是ハ前豫算ト現今ノ豫算トハ多少違ツテ居リマス、何故違フト云フト、物價騰貴
 ノ時代ノ豫算ト、今日ノ豫算トハ大ニ違フ所モアル、又多少ノ流用モシテ居リマシタノデ、色々
 各線ニ就テノ不十分ナル點ガアリマシテ、今回更ニ十分ナル調査ヲ致シマシテ、相當ナル金額ニ
 積ツテ居リマスカラ、是ハ確ニ出来ルト云フト云フコトヲ私ハ斷言致シマス

次テ討論ニ入り山道襄一君、前田米藏君、板野友造君ハ反對、大石大君、藏園三四郎君及大園榮三郎君ハ贊成ノ演說ヲ爲ス
山道襄一君ノ反對演說

私ハ只今議題ニナツテ居リマスル決議案ニ對シテ、反對ノ意思表示ヲ致シタイノデアリマス、此提案ヲ最初拜見致シマシタトキニ、其趣意書ノ中ニ記サレテアリマスル文句中ニ、現内閣ノ鐵道計畫ハ、改良ニ偏重シ、建設ニ偏輕シ、我ガ鐵道計畫ヲ根本ヨリ破壊スルモノニ外ナラズト云フ一句ガアツタノデアリマス、洵ニ國家ノ大政策ニ屬シマスル交通政策ノ根幹トモ申スベキ所ノ鐵道政策ノ根本ヲ破壊致スト云フコトニナリマスレバ、由々敷一大事デアルコトハ何人モ其耳朶ニ觸ル、言デアラウト思ヒマス、今日定メシ鐵道ニ對シマシテハ、最モ多クノ經驗ヲ有シテ居ラレル方ミノ御集リニナツテ居リマスル此政友本黨ノ御方ミデアリマスルカラ、定メシ根本計畫ノ破壊ト云フ重大問題ニ付テハ、十分ナル御意見ヲ御聞セ下サル事デアラウト、今日ハ謹ンデ御待シテ居ツタノデアリマス、先刻木下サンノ御演說ヲ拜聽スルニ當リマシテ、洵ニ申シ難イ言葉デゴザイマスルガ、多大ノ失望ヲ禁ジ得ナカッタノデアリマス、木下サンノ御演說要旨ハ、何レニ在ルカト申シマスレバ、世界ニ於ケル所ノ列國ノ例ヲ御引キニナリマシテ、是等ヨリ鐵道ノ敷設ノ哩數ガ少イトカ殊ニ特別ニ伊太利ノ例ヲ御引キニナリマシテ、此國ニマデ劣ッテ居ルト云フ御議論カラ、更ニ進ミマシテハ、建設論ヲ盛ニ高調ナサレタケレドモ、一向ニ改良ノ問題ニ對シテ、特別ニ鐵道ト致シマシテハ、重大ナル使命ヲ帶ビテ居リマスル此改良ノ問題ニ對シテハ、何等ノ御言及ナカリシ事ヲ私ハ遺憾トスルノデアリマス、殊ニ建主改從ナルモノハ、鐵道政策ノ根本主義デアルト云フコトヲ御斷定ナサルニ至ツテハ如何ニモ鐵道ニ對スル御造詣ノ深キ木下氏ノ言葉トシテハ、私ハ受取ルコトハ出來ナカッタノデアリマス、或ハ進ンデ停車場ノ擴張問題ニ論及セラレマシタガ、唯一部ニ局限セラレタル問題デアツテ、殊ニ最後ニ於テハ、最モ力ヲ籠メテ御話ニナリマシタノハ、信濃川ノ水力電氣問題ニ止ツタノデアリマス、洵ニ此一事ニ依テ、鐵道計畫ノ根本ガ

破壊セララル、ト云フガ如キ御議論ヲ御立テニナルト云フコトハ、如何ニモ私ハ其御心持ニ對シテ何ダカ慊ラヌ所ノ感ヲ起スノデアリマス、若シ私ヲシテ非常ナ皮肉ナ言葉、變ナ言葉ヲ以テ木下サンノ御話ノ言葉ヲ拜借シテ申スナラバ、此問題ヲ言ヒタイガ爲ニ、實ハ鐵道ノ根本ヲ破壊スルト云フコトヲ仰ツシヤタノデハナイカト思フノデアリマス、今之ニ對シテ、私ハ一々其箇條箇條ニ辯明ヲ致シマスル事ヨリ、先ヅ大體ノ議論ヲ致シタイノデアリマスルカラ、其大體ノ議論ノ中ニ含メマシテ、以上ノ御議論ニ對シテ私ノ所見ヲ申述ベテ見タイト思ヒマス、凡ソ事業ヲ國有ト致シ官營ト致シマスニ當ツテハ、言ウマデモナク公益ヲ目的トシテ居ルコトハ、私ガ茲ニ喋々スルマデモナイノデアリマス、其公益ト一口ニ申シマスルガ、公益ナルモノニ行政上ノ目的ニ出デマスル公益ガアリ、財政經濟ニ基ク公益ガアリ、更ニ國防ニ基ク所ノ公益ガアルノデアリマス、言フマデモナク一般ノ文化ノ普及ヲ圖リ、政治上ノ施設ヲシテ全國ニ普ネカラシムルト云フヤウナコトハ、是ハ行政上必要ナル公益デアリマス、又獨占事業ノ如キモノニ對シテ、其特種ノ國民ガ有利ナル事業ノ利益ヲ壟斷致スト云フガ如キコトノ弊ヲ防ギ、是等ノ間ニ於テ國民ノ負擔致シマス租税ノ均衡ヲ保チ、負擔ノ均衡ヲ保チ、負擔ノ公平ヲ保タシムルト云フコトハ、是亦必要ナ事柄デアアル、是ガ即チ財政經濟上ノ見地ヨリ來ル公益デアリマス、更ニ國防ノ如キモノハ、秘密ヲ尊ビ、統一ヲ尊ビ、迅速ヲ要スルト云フヤウナコトニ依テ、事業ヲ國營ニ移シ官營ニ移ス、即チ帝國ノ鐵道ガ國有ニセラレタ精神ハ、是等幾多ノ公益ノ理由ニ基イテ鐵道國有ガ起リ來ツタコトハ、茲ニ私ガ重ネテ申ス迄モナイコトデアリマス、而モ之ニ對シテ世ノ中ニハ甚ダ誤解ヲ致サレ、此中ノ唯一ノ公益ヲ以テ全部ノ公益デアアル如ク誤解サレテ居ル方ガ時々アル、現ニ鐵道ノ如キニ對シテ、鐵道國有ノ根本精神ガ公益ニ在ルト云フ所以ヲ以テ、唯鐵道路線ヲ全國ニ普及セシメルト云フ、所謂建設ノミガ唯一ノ公益デアツテ、既成ノ線路ニ對シテ、所謂輸送ニ對スル保安、輸送ニ對スル安全、斯ノ如キコトノ圓滑ヲ圖ルト云フ如キコトハ、何等公益ニアラズシテ、唯鐵道ノ建設ノミガ公安、公益ガアルト云フ如キ誤ツタル見解ヲ持ツテ居ル人ガ澤山アルノデアリマス、或ハ今日仰セラレマシタ鐵道ノ根本方針ハ建主改從デナケレバナラヌト云フ御議論ハ、詰リ斯様